OUR RUGBY

2019.3　　第30号

徳島県ラグビーフットボール協会

「徳島ラグビー宣言」

平成24年4月22日制定

徳島県ラグビーフットボール協会は、
「徳島ラグビー宣言」を掲げます。

1. 徳島県のラグビー関係者は、たとえルールで禁じられていないことでも、「フェアプレイの精神」で自らを律してラグビーに関わります。

※徳島県のラグビー関係者とは、監督・選手・レフリー・観客等のことである。

2. レフリーの存在意義を正しく理解し、心から尊重します。意見があるときは必ずキャプテンを通します。

3. ノーサイドの精神を具体的行動に移し、相手への敬意を示します。

そして、生涯、これらの精神を遵守します。

目　次

登録チームと人数…… 1
会長挨拶…… 2
理事長挨拶…… 3
徳島県体育協会体育功労者表彰　吉田靖氏…… 5
徳島県体育協会スポーツ特別優秀者表彰　秋山大地選手
歴代の徳島県体育協会表彰者…… 6
平成30年度主要行事…… 7
平成30年度競技記録
　一般の部…… 8
　大学の部……12
　高専の部……13
　高校の部……14
　高校の部付記決勝記録……23
　中学生の部……28
　スクールの部……31
　タグの部……35
　女子の部……39
委員会だより……42
　レフリー委員会･普及育成委員会・夢未来育成委員会・強化委員会・安全対策委員会
　高専委員会・高校委員会･中学生委員会・広報委員会・規律委員会
ラグビースクールだより……57
　徳島ラグビースクール・鳴門ラグビースクール・脇町ラグビースクール
友惑クラブだより……62
タグラグビーだより……65
第1回U18全国女子ラグビー大会に参加して ……67
福井国体に出場して(女子)　山中みゆ ……68
福井国体に出場して(女子)　柴原慈 ……69
福井国体に出場して(女子)　松田愛理 ……70
第19回全国高校選抜大会に出場して(城東高校)　久次米航希 ……71
第5回全国高校7人制大会に出場して(城東高校)　遠藤岳歩 ……72
第98回全国高校ラグビーフットボール大会に出場して(城東高校)　伊東汰歩 ……73
第98回全国高校ラグビーフットボール大会に出場して(城東高校)　伊達圭太監督 ……74
ニュージーランドへ留学して(鳴門渦潮高校)　松井香保理 ……75
タグラグビー四国ブロック大会(高越小･北島南小･一宮小) ……77
徳島育ち普及育成事業……80
徳島育ちラグビーフェスティバル……81
徳島中・西部ラグビーフットボール協会だより……83
ウーマンズエッセイ(徳島県体育協会)　今川千晶 ……84
遠くでトーク(宗像サニックスブルース)　森林啓斗 ……85
日本協会公認レフリー……87
タッチラグビー2018……89
平成30年度優秀選手……91
平成31年度事業計画……92
平成30年度協会役員……95
平成30年度協会加盟チーム名簿……96
徳島県ラグビーフットボール協会規約…… 101
編集後記…… 104
平成31年度主要グラウンド利用日程…… 105

※表紙写真　第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会　1回戦　城東高校vs聖光学院高校

徳島県ラグビーフットボール協会
平成30年度　登録数一覧表

平成31年2月1日現在

	チーム登録番号	登録チーム名	男子	女子	人数
1	3702002	徳島ラグビースクール	105	1	106
2	3702003	鳴門ラグビースクール	46	5	51
3	3702004	脇町ラグビースクール	35	7	42
4	3703001	徳島市富田中学校	19	1	20
5	3704001	県立阿波高校	21	0	21
6	3704002	吉野川高校	12	0	12
7	3704003	徳島県立つるぎ高等学校	39	0	39
8	3704004	徳島県立城東高等学校	24	1	25
9	3704005	徳島県立城南高校	18	0	18
10	3704006	城ノ内高等学校	5	0	5
11	3704007	城北高校	25	1	26
12	3704009	徳島科学技術高等学校	29	0	29
13	3704010	徳島市立高校	25	0	25
14	3704011	鳴門高校	28	0	28
15	3704012	徳島県立脇町高等学校	27	0	27
16	3704013	徳島県立鳴門渦潮高校ラグビー部	6	20	26
17	3705001	阿南高専	6	0	6
18	3706001	徳島大学	26	0	26
19	3706002	鳴門教育大学ラグビー部	20	0	20
20	3706003	四国大学女子7人制ラグビー部	1	8	9
21	3711001	阿波クラブ	39	2	41
22	3711002	コスモスラグビーフットボールクラブ	39	0	39
23	3711003	徳島教育航空群	2	0	2
24	3711004	徳島友惑ラグビークラブ	62	0	62
25	3711006	バイソンラグビーフットボールクラブ	15	0	15
26	3711009	ダーチス徳島	39	0	39
27	3713001	徳島セブンフェアリーズ	2	6	8
		合　　計	713	46	759

ごあいさつ

会　長　佐野 義行

RWC（ラグビーワールドカップ）2019日本大会チケッティングサイトからのmailがスマホに届きました。その内容は、2019年1月15日（火）20：19 ～ 1月17日（木）23：59の間、過去にチケット販売に応募し、抽選に外れた落選者向けにチケットを特別販売（先着順）するというものでした。私は喜び勇んで20：19同時にログインしました。パスワードの入力に3秒ほどかかりましたが、1000番以内だろうと思いました。結果はなんと65,000人待ち、唖然としました。翌朝、10時頃にログイン可能な順番を告げるmailが到着、ログインしてお目当ての試合を検索するも当然ながらどの試合のチケットも売り切れでした。本人としては誠に残念ですが、RWC2019の人気のバロメーターだと考えると感動ものでした。RWC2019活況の証左だと思います。

さて、昨年のこの紙面で期待をしたジョージア代表の事前キャンプが徳島で実施される運びとなりました。RWCの参加チーム数は20チーム、世界ランキング13位のジョージアがよくぞ徳島を選んでくれたと思っています。事前キャンプ誘致に御尽力いただいた飯泉徳島県知事をはじめ林敏之氏、県民スポーツ課、県体育協会、県スポーツ振興財団の梶崎氏、JICAの清家氏その他関係者全ての皆様に心より御礼を申し上げます。ここでは誘致に至る過程は割愛させてもらいますが、様々な隘路があり、それを皆さんの力を結集することにより乗り越え、徳島でのジョージア代表事前キャンプを実現させることができました。

1月6日（日）には、リニューアルが完成した鳴門・大塚スポーツパーク球技場でキックオフイベントが盛大に開催されました。当日は知事がお越しになり、シニアから小学生までパスを繋ぎ、トライに結び付けるパフォーマンスに御参加いただきました。また、餅投げを開催し、多くの方々に楽しんでもらうことができました。ふわふわの天然芝はジョージア代表選手も満足してくれるものと確信しています。徳島の子供達にとって大きなレガシーになることでしょう。天然芝などグラウンドの整備に御努力いただいた徳島県スポーツ振興財団の河口正道理事長をはじめ関係の皆様に感謝を申し上げます。ジョージア代表チームの事前キャンプは2019年9月8日～ 16日に実施される予定となっています。多くの県民の皆様にジョージア代表選手との交流はもちろん応援と「お接待」もお願いしたいと思います。

ここで県内チームの話題を少し述べたいと思います。城東高校は第98回全国高校ラグビーフットボール大会に2年連続の出場を果たし、1回戦では聖光学院高校（福島県）に24-7で勝利し、2回戦では八幡工業高校（滋賀県）に14-24で惜敗をしました。また、鳴門渦潮高校女子ラグビー部は10月に熊谷ラグビー場で開催された全国U18女子セブンズラグビー大会に唯一公立単独チームとして出場し、見事7位の結果を残しました。四国大学女子ラグビー部は1年生8名のみの部員数ながら、女子7人制ラグビーの最高峰である太陽生命ウィメンズセブンズシリーズの入れ替え戦まで進みました。福井国体でも四国大学と渦潮高校のメンバーが徳島県代表として出場し、7位入賞の結果を残しました。確実に若い力が伸びており、今後の活躍が期待できるところです。これも日頃より徳島のラグビーを応援し、御支援をいただいている全ての方々の御声援あってのことと感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

結びになりましたが、いよいよ本年はRWC2019が開催されます。県民の皆さん全員で「感動の目撃者」になりましょう！

この１年のスポーツ界を振り返って

理事長　小林 信行

「これでもか。これでもか！」という位の不祥事オンパレード。マスコミもワイドショーも話題に事欠かない１年でした。読者の皆さんはどこまで覚えていますか？

私が思い浮かぶものだけでも(順序は適当ですが)

①女子レスリング 伊調パワハラ問題　→栄強化本部長辞任
②日大アメフト部 悪質タックル問題　→内田監督・井上コーチ 関東学連が除名
③日大チアリーディング部 パワハラ問題　→大野監督解雇
④ボクシング連盟 会長をめぐるたくさんの問題　→山根会長辞任
⑤日体大駅伝部 暴力パワハラ問題　→渡辺監督解任
⑥体操協会 暴力パワハラ問題　→速見コーチ登録抹消 塚原強化本部長夫妻はお咎なし
⑦相撲協会 貴ノ岩の弟弟子への暴力事件　→引退（ということで退職金満額？）

ざっとこれだけありました。多過ぎて忘れているものがあるかもしれません。悪しからずご容赦のほどを。①～⑦まで一応の処分は下っていますが、⑥⑦にはちょっと首を傾げますね。皆さんはどう思われますか？とにかく不祥事と云われるものは多かったのですが、こういうスキャンダルが目立ったお陰で、スポーツの本質に係わる重大な問題がなおざりにされています。

上の①～⑦は日本スポーツ界の構造上の問題が根底にあります。内閣府やスポーツ庁が構造改革、意識改革を進めれば(時間はかかるでしょうが)そのうち何とかなりそうな問題です。ですが、今から挙げる事柄は、スポーツの本質を問い直さざるを得ない、この1年で1番の大問題です。(前置きが長くなりました)

FIFAワールドカップ2018年6月28日の日本対ポーランド戦。

0－1で負けていた日本代表は、後半の後半、負けているのに、負けたまま試合を終わらせようと、自陣でパス回しを始めました。地元の観客のブーイングの中、恥知らずな集団は予定通り敗れましたが、「フェアプレーポイント」とかいう、何とも皮肉な大会規定で決勝トーナメントに進出しました。「フェアプレー」を言うなら、彼らがやったことはレッドカードよりひどい。もし小林が大会役員なら、日本チームを規律委員会にかけたうえで、大会からの追放を主張したはずです。スポーツマンシップに泥を塗り、世界のスポーツマンを貶めた行為を許してはいけません。

「スポーツマンシップ」とはスポーツの参加者としてふさわしい行為態度のことです。つまりⓐフェアプレー ⓑ礼儀 ©勝利をあきらめない敢闘精神 ⓓ負けた時の品の良さを言います。この4つはどれを欠いてもいけません。特に©は基本中の基本でしょう。

大会を終えた後、監督は辞任しましたが、スポーツ庁やメディアは謝罪会見を要求するどころか、スポーツを貶めた監督と、その命令に従順に従った集団を褒めたたえました。「決勝トーナメントに進むための戦術だ」「監督の指示に従った選手たちは悪くない」というのが大方のメディアの主張でした。「これもサッカーだ」と言う人もいました。しかしあえて言います。あれがサッカーならサッカーはスポーツではありません。

この国の悪いところです。(わざと)負けたので「勝てば官軍」とは言えませんが、マスメディアに持ち上げられたら「官軍」になれるのです。

例えば日大アメフト部の悪質タックル問題。内田監督も確かに悪いですが、タックルした選手が一番悪いことを認識しなければいけません。もしも関学の選手のけがが重篤で、後遺症が残ったり、あるいは死亡した場合、タックルした選手は「監督の指示ですから」で赦されますか？メディアはタックルした選手をかばうでしょうか？こういう行為を赦すということは、ライバル組織の幹部を殺めた反社会的勢力の鉄砲玉が「親分の指示ですから」ということで赦されるということと同じでしょう。

今の時代のスポーツは、マスメディアと共存しなければ成り立って行かないことは分かっているつもりです。ですが、「スポーツマンシップ」を逸脱する行為にはメディアに抗してでも、勇気を出して糾弾するべきだと思います。そのためにも我々スポーツ関係者が、メディアの皆さんにしっかりスポーツの本質を語り、大衆に迎合しない信念を持つことが必要です。皆さん一緒に頑張りましょう。

今年はいよいよラグビーワールドカップです。
日本で2018年6月28日のようなことが起こらないことを切に願っています。

平成30年度徳島県体育協会表彰

○平成30年度体育功労者表彰

受賞者　　吉田　靖　氏

吉田靖氏は、徳島県ラグビーフットボール協会の理事としてレフリー委員長、高校委員長等を歴任し、現在はレフリー委員会副委員長として後進の指導はもちろん、大会やイベントなどの運営にもご尽力されています。

また、平成5年に開催された東四国国体では成年男子決勝レフリーを務め、平成14年の高知国体でも成年男子決勝のレフリーを務められました。以後平成16年から関西ラグビーフットボール協会から附託されたB級ﾚﾌﾘｰ認定講習会の講師を務め、県内外の公式審判員の発掘・養成に中心的な立場で関わられています。今年度においては、吉田氏が指導してきた佐々木裕司氏(徳島県教員）が四国からは史上初の日本協会公認レフリーとなり、トップリーグや全国大学選手権などのレフリーとして活躍されています。

これらのご功績により､本年度体育功労者表彰を受賞されました。心よりお慶び申し上げます。

［ご経歴］　徳島県ラグビーフットボール協会
レフリー委員会副委員長（平成6年度～平成9年度）
理事レフリー委員会委員長（平成10年度～平成14年度）
レフリー委員会副委員長（平成15年度～現職）
関西ラグビーフットボール協会
レフリーコーチ（平成27年度～現職）

○平成30年度スポーツ特別優秀者表彰

受賞者　　秋山　大地　選手

秋山大地選手は、つるぎ高校卒業後は帝京大学へ進学され、1年時より公式戦に出場するなど着実に実績を重ねてきました。3年時には第54回全国大学選手権に優勝し、前人未到の9連覇に中心メンバーとして貢献するなど、目覚ましい活躍をされました。

これらのご活躍により、本年度スポーツ特別優秀者表彰を受賞されました。心よりお慶び申し上げます。

徳島県体育協会表彰者

徳島県体育協会表彰　体育功労者表彰

年度	氏名	年度	氏名	年度	氏名	年度	氏名
S32	野口　清	33	四宮　馨	34	松本　嘉雄	35	宮岡　常夫 斎田　忠夫
36	江西　利夫	37	筒井　敏英	38	加藤　計吉	39	松浦　道雄
40	山川　邦直	41	岸田　尚	42		43	
44	松村　憲次	45		46	板東　輝雄	47	
48	赤穂　博之	49	南　幸夫	50	石井　慶二	51	浜住　芳一
52	増谷　武士	53	岩田　忠男	54	笠井　聡	55	藤井　治
56	新居　徳一	57	原田　喬	58	津田　一弘	59	三木　庄吉
60	美馬　浩一	61	乾　格	62	宮谷　純弘	63	平尾　隆信
H 1	林　雄司	2	藤田憲治郎	3	駒井　三郎	4	川原　和敬
5	小南　充	6		7	水谷　重行	8	三木　俊治
9	和田　昇	10	祖父江忠廣	11	川崎　清夫	12	冨士　計
13	田中　弘之	14	佐野　義行	15	中田　寛志	16	藤川　雅弘
17	堂前　孝司	18	岩崎　修司	19	平尾　雅信	20	岡山　敬冶
21	一森　勇人	22	虎尾　百記	23	森本　誠治	24	成瀬　章
25	十川　一彦	26	藤本　哲男	27	北島　勝也	28	野田　雅資
29	加藤　陽	30	吉田　靖				

徳島県体育協会表彰　スポーツ指導者表彰

年度	氏名	所属	年度	氏名	所属	年度	氏名	所属
H23	川真田洋司	城 東 高	24			25	都築　吉則	貞光工高
26	日高　耕作	つるぎ高	27	真先　健	つるぎ高	28		
29			30					

徳島県体育協会表彰　スポーツ特別優秀者表彰

年度	氏名	所属	年度	氏名	所属	年度	氏名	所属
H23	柳川　大樹	リ コ ー	24			25	秋山　大地 柴田　和宏	貞光工高 リ コ ー
26	佐藤　羅雲	つるぎ高	27	秋山　大地	帝京大学	28	秋山　大地	帝京大学
29			30	秋山　大地	帝京大学			

平成30年度　主要行事

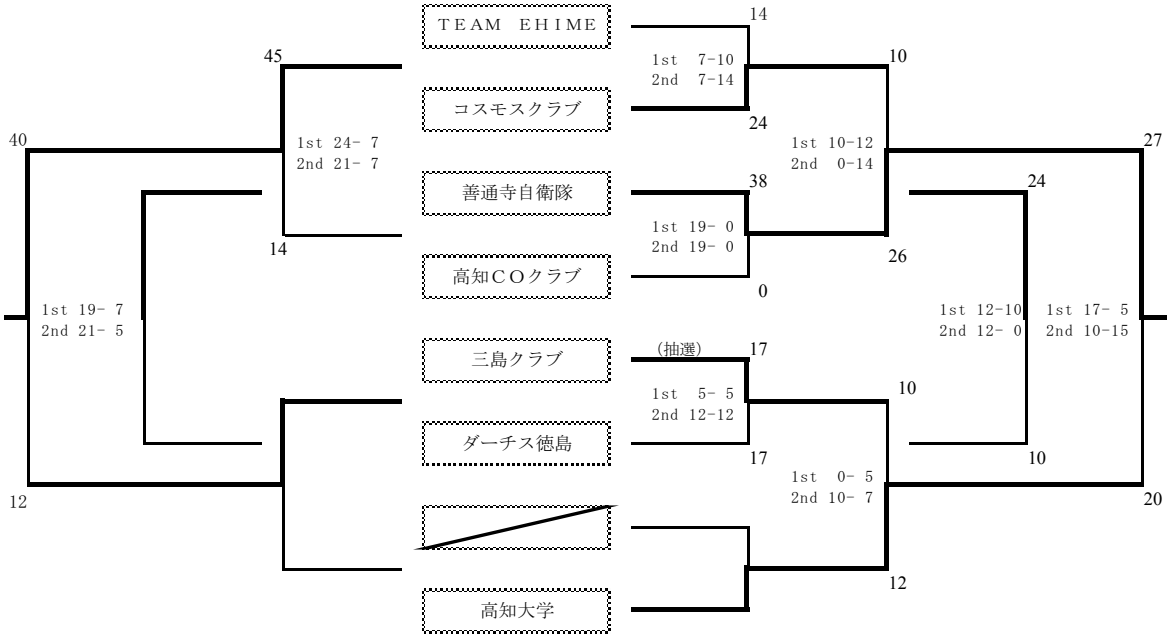
○安全推進講習会	4月15日（日）	四国大学
○定期会員総会	4月15日（日）	四国大学
○第21回架橋記念ラグビーフットボールカーニバル	5月 3日（木）～5日（土）	
		徳島市球技場
		徳島市立高校
		四国大学しらさぎ球技場
○第10回徳島育ちラグビーフェスティバル	1月 6日（日）	鳴門球技場

平成30年度競技記録（一般の部）

クラブ競技委員長　　樋口 英昭

◆第7回 四国セブンズラグビーフットボール大会

H30.3.11 於:愛媛県・スカイフィールド富郷



▽ 最終順位

優勝：	善通寺自衛隊	(香川1位)	5位：	ＴＥＡＭ　ＥＨＩＭＥ	(愛媛1位)
2位：	高知大学	(高知1位)	6位：	ダーチス徳島	(徳島1位)
3位：	コスモスクラブ	(徳島2位)	7位：	高知ＣＯクラブ	(高知2位)
4位：	三島クラブ	(愛媛2位)	8位：		( )

最優秀選手賞： 正田 惇矢　(三島クラブ)

敢　闘　賞： 徳田 冴希　(高知大学)

◆第66回 徳島県一般ラグビーフットボール選手権大会(兼 第42回四国クラブラグビーフットボール大会徳島県予選)

H29.12.10～H30.4.15 於:徳島科学技術高校第2グラウンド

リーグ戦

優勝：ダーチス徳島（５年連続５回目）

優勝：コスモスラグビーフットボールクラブ（６年ぶり１９回目）

▽最優秀選手賞

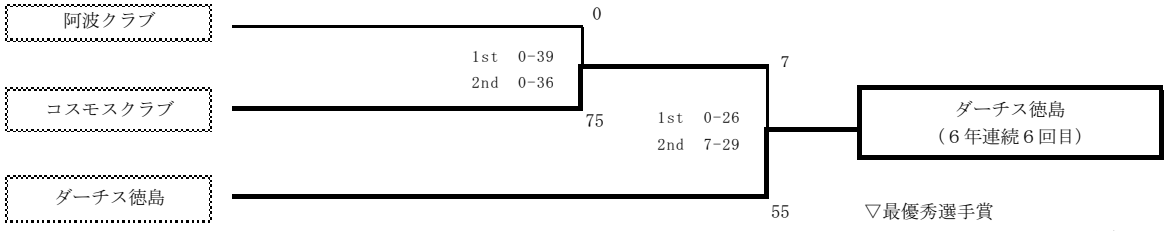
桑 原 大 輔　（ダーチス徳島）　　中田 雄一郎　（コスモスクラブ）

	ダーチス徳島	コスモスクラブ	阿波クラブ	得失点差	勝敗・順位
ダーチス徳島		12 { 0 － 12 / 12 － 0 } 12	81 { 45 － 0 / 36 － 0 } 0	81	１勝１分・１位
コスモスクラブ	△ 12－12		78 { 21 － 0 / 57 － 0 } 0	78	１勝１分・１位
阿波クラブ	● 0－81	● 0－78		-159	０勝２敗・３位

大会規定(得失点差)により，ダーチス徳島が第42回四国クラブ大会に進む

◆第66回 春季一般ラグビーフットボール選手権大会(兼 第30回関西クラブラグビーフットボール大会徳島県予選)

H30.4.29･5.27 於:徳島科学技術高校第２グラウンド



▽最優秀選手賞

阿 部 雄 也　（ダーチス徳島）

◆第9回 関西･一宮セブンズ大会

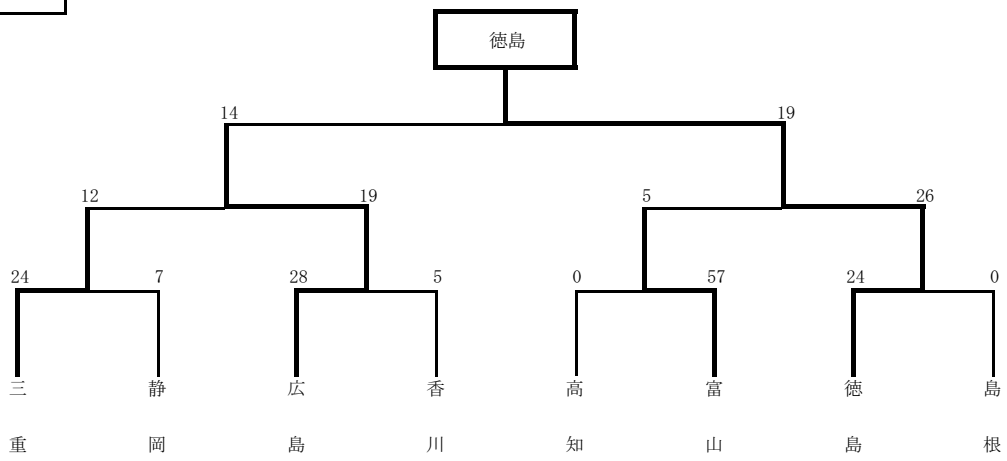
H30.5.12～5.13 於:愛知県一宮市･光明寺公園球技場

pool-G

pool-G	徳島(ALL徳島)	和歌山	岡　山	勝敗・順位
徳島(ALL徳島)		● 12－26	● 12－28	0勝2敗・3位
和歌山	○ 26－12		○ 22－19	2勝0敗・1位
岡　山	○ 28－12	● 19－22		1勝1敗・2位

徳島(オール徳島)は予選3位となり，Bowl Tournament(3位Group)に進む

Bowl Tournament



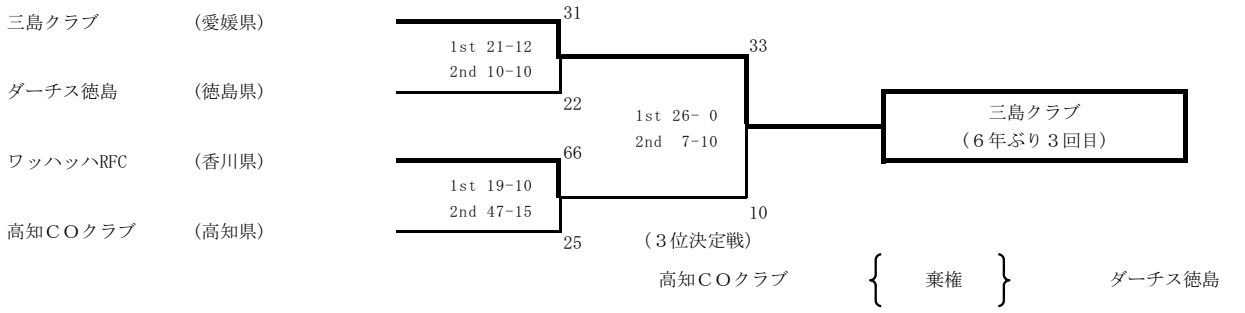
▽ 大会参加者

東條　淳・松原臣吾・角山祐樹・森　隆秀・古川 武・西條泰史・河野一馬（コスモス）

藤川卓也・桑原大輔・本田幸一・京野悠太（ダーチス徳島）　今川千晶（県体協）　齋浦邦樹（県協会）

◆第42回 四国クラブラグビーフットボール大会

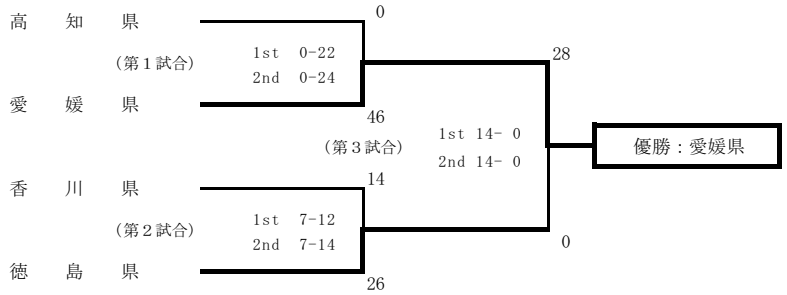
H30.5.20･6.10 於:愛媛県四国中央市･スカイフィールド富郷



※優勝の三島クラブは「第26回全国クラブラグビーフットボール大会予選 中国四国地区代表決定戦」に出場

◆第73回 国民体育大会（第39回）四国ブロック大会･成年の部

H30.8.26 於:高知県･春野総合運動公園球技場



▽ 出場メンバー

１回戦(vs.香川県)

辻　悠	FW	住友　裕哉	RS
中田雄一郎		米倉　陽平	
古川　武		井手　広大	
阿部　雄也		中嶋　宏彰	
森長　一樹	BK		
桑原　大輔			
宮前　壮志			

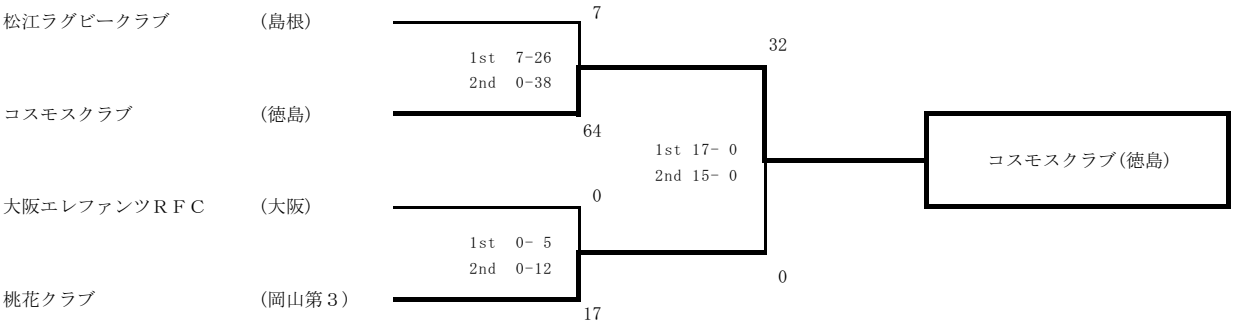
決　勝(vs.愛媛県)

辻　悠	FW	住友　裕哉	RS
中田雄一郎		米倉　陽平	
古川　武		井手　広大	
阿部　雄也		中嶋　宏彰	
森長　一樹	BK		
桑原　大輔			
宮前　壮志			

◆第30回 関西クラブラグビーフットボール大会

H30.9.8～9.9 於:岡山県美作ラグビー･サッカー場

ブロックＦ



▽１回戦　vs.松江ラグビークラブ

西條　祐司	FW	古川　武	HB	麻野　貴仁	RS	
坂本　晶人		東條　淳		豆成　博正		
和泉　元		松原　万里		折原　直希		
東　宙央		森　隆秀	TB	松原　臣吾		
近澤　隆啓		河野　一馬				
西條　泰史		住友　勝紀				
元木　開理		宮前　壮志	FB			
角山　祐樹						

▽決勝戦　vs.桃花クラブ

吉本龍之介	FW	古川　武	HB	豆成　博正	RS	
丸山　倫		東條　淳		麻野　貴仁		
西條　祐司		松原　万里		折原　直希		
東　宙央		森　隆秀	TB	近澤　隆啓		
和泉　元		河野　一馬		住友　勝紀		
西條　泰史		川崎　正洋		松原　臣吾		
元木　開理		宮前　壮志	FB			
角山　祐樹						

◆第26回 全国クラブラグビーフットボール大会予選 中国四国地区代表決定戦

H30.10.14 於:岡山県･倉敷市水島緑地福田運動公園球技場

三島クラブ(四国地区)　24　{ 14 － 5 / 10 － 17 }　22　岡山クラブ（中国地区）

三島クラブ

眞鍋　祐樹	FW	大西　辰弥	HB	近藤　和史	RS	
富家　恭蔵		前川　晃久				
吉岡　淳史		大西　芳季				
藤川　文耶		横内　祥太	TB	吉岡　佑		
高橋　一真		今村　優志		鶴井　昴汰		
加地　郡		三好　善晴				
中川　智史		伊藤　琢真	FB	宮崎　海		
友金　喜生						

岡山クラブ

渡辺　翼	FW	高月　勇	HB	光森　元浩	RS	
石原慎太郎		永木　正彦		友田　幸輝		
出口　匡		小寺　悠介		出渕　篤史		
綱嶋　義貴		岩本　健	TB	沼　正太		
西川　和満		吉田　憲治		大村　博司		
秋山　輝善		大川　直道		河田　大輔		
市岡　孝平		犬飼慎之介	FB	田渕　好貴		
小澤　壱磨				廣川　悟		

※三島クラブは「第26回全国クラブラグビーフットボール大会」に出場

◆第67回 徳島県一般ラグビーフットボール選手権大会(兼 第43回四国クラブラグビーフットボール大会徳島県予選)

H30.11.18～H31.2.3 於:徳島科学技術高校第2グラウンド

リーグ戦　優勝：コスモスラグビーフットボールクラブ（２年連続２０回目）

	ダーチス徳島	コスモスクラブ	阿波クラブ	勝敗・順位
ダーチス徳島		● 0-100	93 { 48 － 0 / 45 － 0 } 0	１勝1敗・2位
コスモスクラブ	100 { 50 － 0 / 50 － 0 } 0		100 { 50 － 0 / 50 － 0 } 0	2勝０敗・1位
阿波クラブ	● 0- 93	● 0-100		０勝２敗・３位

◆第10回 徳島育ちラガーマン交流フェスティバル2019

H31.1.6 於:鳴門・大塚スポーツパーク球技場

オール徳島	12	12 － 7 0 － 19		26	U22徳島育ち

※試合形式：7人制，7分×２本

※オール徳島：丸数字が出場選手

オール徳島		Ｕ２２徳島育ち		
氏名	所属	氏名	出身校	所属(学年)
東條　淳	コスモスクラブ	加藤　啓斗	城東高校	日本体育大学　(4)
森長　一樹①	ダーチス徳島	酒井　駿		日本大学　(2)
井手　広大⑨		山田俊太郎		福岡大学　(1)
米倉　陽平⑤		笠原　京介		関西学院大学　(1)
中田雄一郎②	コスモスクラブ	吉田　橋蔵	城北高校	日本大学　(3)
角山　祐樹		阿部　一貴	徳島市立高校	愛知学院大学　(2)
森　隆秀		山本　謙信	つるぎ高校	中部大学　(4)
古川　武④		清水　虎壱		徳山大学　(4)
和泉　元		木村　綾都		徳山大学　(4)
西條　祐司				
西條　泰史				
丸山　倫				
元木　開理③				
河野　一馬⑥				
坂東　永充	阿波クラブ			
栗飯原直人⑦				
福永　晃大⑧				
澤井　知紀				
山上　敬由				

◆第9回 徳島県一般7人制ラグビーフットボール大会

H31.1.13 於:徳島市球技場 第2競技場

	ダーチス徳島	コスモスクラブ	阿波クラブ	勝敗・順位
ダーチス徳島		○　52－ 0	○　57－ 0	2勝0敗・1位
コスモスクラブ	●　0－52		○　54－ 5	1勝1敗・2位
阿波クラブ	●　0－57	●　5－54		0勝2敗・3位

▽最優秀選手賞

大 岩　誠　　（ダーチス徳島）

▽敢闘賞

角 山 祐 樹　　（コスモスクラブ）

小 川 竜 介　　（阿 波 ク ラ ブ）

※ダーチス徳島が７年連続７回目の優勝

※上位２チームは，第８回四国セブンズラグビーフットボール大会(H31.3月)に出場

平成30年度競技記録（大学の部）

大学委員長　田中　弘之

◆第29回徳島県大学・高専ラグビーフットボールリーグ戦

平成30年

2月 4日（鳴門・大塚スポーツパーク球技場）　徳島大学医学部　17 － 7　鳴門教育大学

※徳島大学LT、阿南工業高等専門学校は不参加　※徳島大学医学部は2年連続5回目の優勝

◆第60回関西医歯薬系ラグビーフットボール大会

平成30年

4月29日（大阪医科大学） 1回戦　徳島大学医学部　7 － 28　神戸大学医学部

◆第69回四国地区大学総合体育大会ラグビーフットボール競技

平成30年

5月19日（屋島レグザムフィールド）　準決勝　鳴門教育大学　40 － 5　香川大学

6月16日（鉢伏ふれあい公園グラウンド）　決　勝　鳴門教育大学　28 － 24　松山大学

※徳島大学は不参加　※鳴門教育大学は21年ぶり2回目の優勝

◆第70回西日本医科学生総合体育大会ラグビーフットボール競技　（植村直己公園）

平成30年

8月10日　1回戦　徳島大学医学部　42 － 12　兵庫医科大学

8月13日　2回戦　徳島大学医学部　0 － 0　浜松医科大学　（※抽選勝）

8月15日　3回戦　徳島大学医学部　7 － 35　大阪医科大学

◆第69回全国地区対抗大学ラグビーフットボール選手権大会四国地区予選トーナメント

平成30年

10月 8日（春野総合運動公園多目的広場）準決勝　鳴門教育大学　38 － 7　高知大学

10月13日（久万高原町ラグビー場）　決　勝　鳴門教育大学　50 － 19　香川大学

※徳島大学は不参加　※鳴門教育大学は初優勝

◆第69回全国地区対抗大学ラグビーフットボール選手権大会中国四国地区予選トーナメント

平成30年

10月 28日（徳山大学グラウンド）準決勝　鳴門教育大学　21 － 42　徳山大学

平成30年度競技記録（高専の部）

高専委員長　一森　勇人

◆全国高専ラグビー大会　四国予選（四国地区高専総体）

平成30年　11月18日　阿南高専G

弓削商船35 － 0 阿南高専（前半15－0，後半20－0）

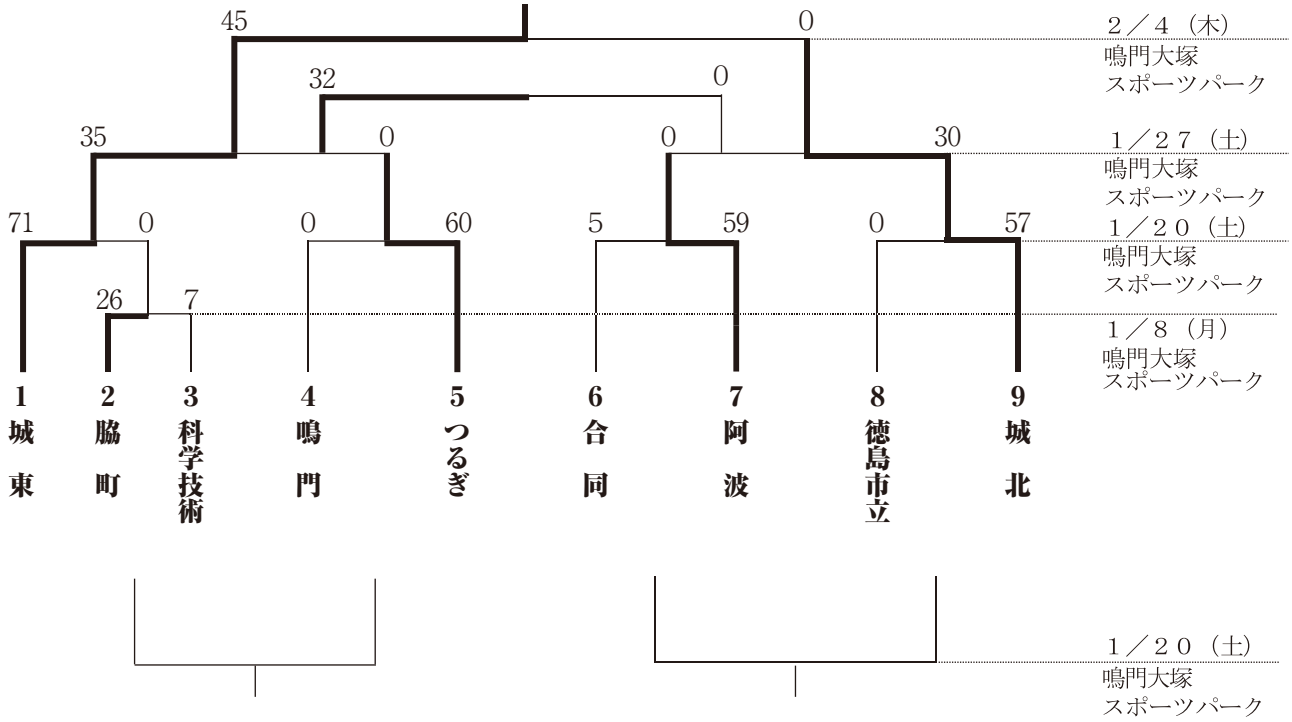
※13年連続19回目の優勝

平成30年度競技記録（高校の部）

高校委員長　天羽 誠二

◆第67回徳島県高等学校ラグビーフットボール選手権大会
第19回四国高等学校ラグビーフットボール新人大会徳島県予選

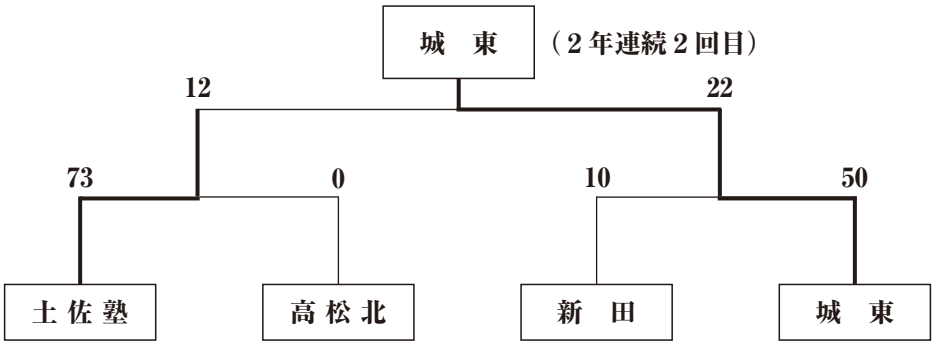
優勝　城東（２年連続13回目）



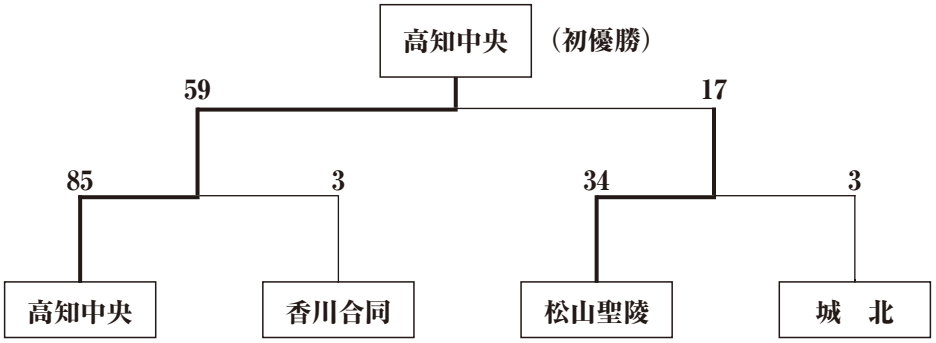
◆第19回四国高等学校ラグビーフットボール新人大会

平３０．２．１７・１８　　西条市東予運動公園球技場

第１ブロック



第２ブロック



◆第19回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会

平30・３・30～平30・４・８　　埼玉県熊谷ラグビー場

予選Dグループ

城東高校　5（０－１２／５－２１）３３　関商工

城東高校　7（０－４３／７－４０）８３　桐蔭学園

城東高校　１７（１０－１２／７－　７）１９　札幌山の手

◆平成29年度　四国地区高等学校10人制ラグビーフットボール交流大会

１　日　時　３月17日（土）・18日（日）
２　会　場　愛媛県　久万高原ラグビー場
３　結　果

観音寺総合	7	7- 0 / 0- 7	7	愛媛合同A	高知工業	17	12-17 / 5- 5	22	愛媛合同B
観音寺総合	43	17- 0 / 26- 0	0	高知合同	高知工業	32	22- 0 / 10-14	14	合同
観音寺総合	55	38- 0 / 17- 0	0	徳島合同	高知工業	17	5-12 / 12-14	26	愛媛合同C
愛媛合同A	29	17- 0 / 12- 0	0	徳島合同	愛媛合同C	31	26- 0 / 5- 5	5	合同
愛媛合同	29	12- 0 / 17-12	12	高知合同	愛媛合同B	7	0-21 / 7- 7	28	愛媛合同C
高知合同	5	0 -10 / 5 -22	32	徳島合同	合同	0	0-12 / 0-26	38	愛媛合同C

第１位　観音寺総合（香川）
第２位　愛媛合同A
第３位　徳島合同
第４位　高知合同

第１位　愛媛合同C
第２位　愛媛合同B
第３位　高知工業
第４位　合同

順位決定戦

Aブロック（4位）　　Bブロック（4位）

高知合同　12　0-17 / 12-0　17　合同

Aブロック（2位）　　Bブロック（2位）

愛媛合同A　5　5-19 / 0-17　36　愛媛合同B

Aブロック（3位）　　Bブロック（3位）

徳島合同　　高知工業

※徳島合同の棄権により高知工業の不戦勝

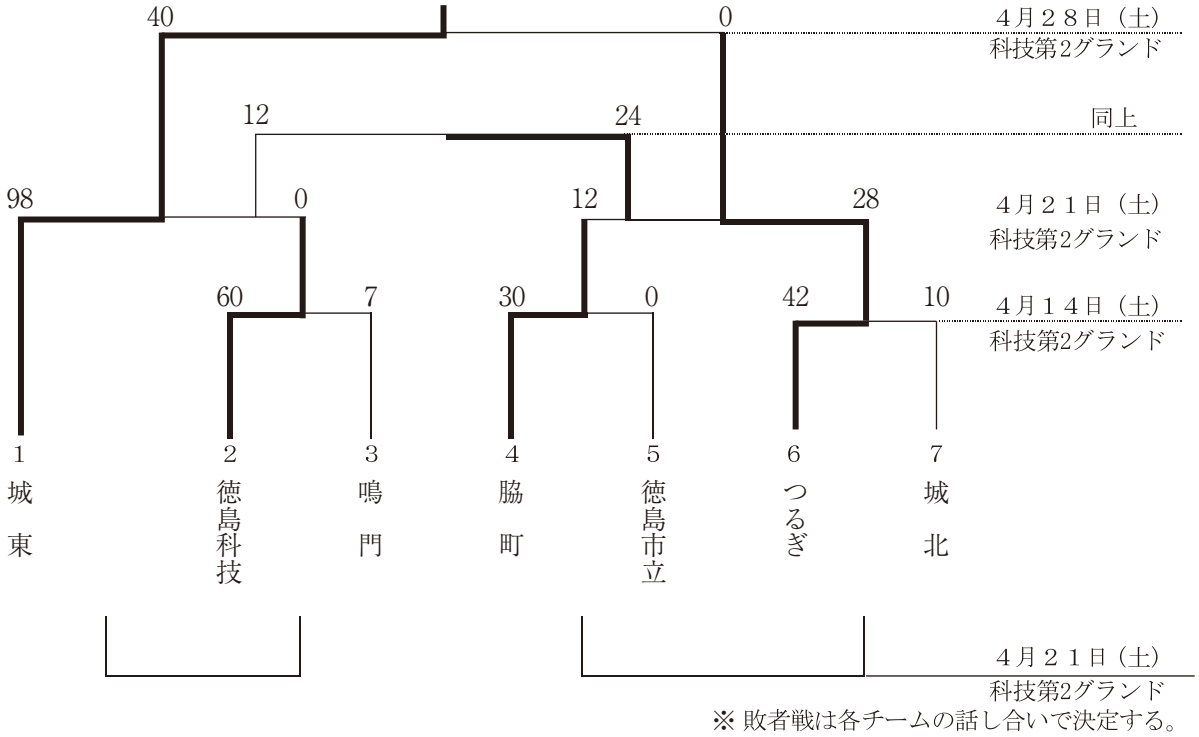
Aブロック（1位）　　Bブロック（1位）

観音寺総合　5　0-15 / 5-12　27　愛媛合同C

第１位　愛媛合同C
第２位　観音寺総合
第３位　愛媛合同B

◆平成30年度　第59回徳島県高等学校ラグビーフットボール春季大会
第66回四国高等学校ラグビーフットボール選手権大会徳島県予選

城東高校（８年ぶり５回目）



※ 敗者戦は各チームの話し合いで決定する。

◆平成30年度　第59回徳島県高等学校ラグビーフットボール 春季大会７人制

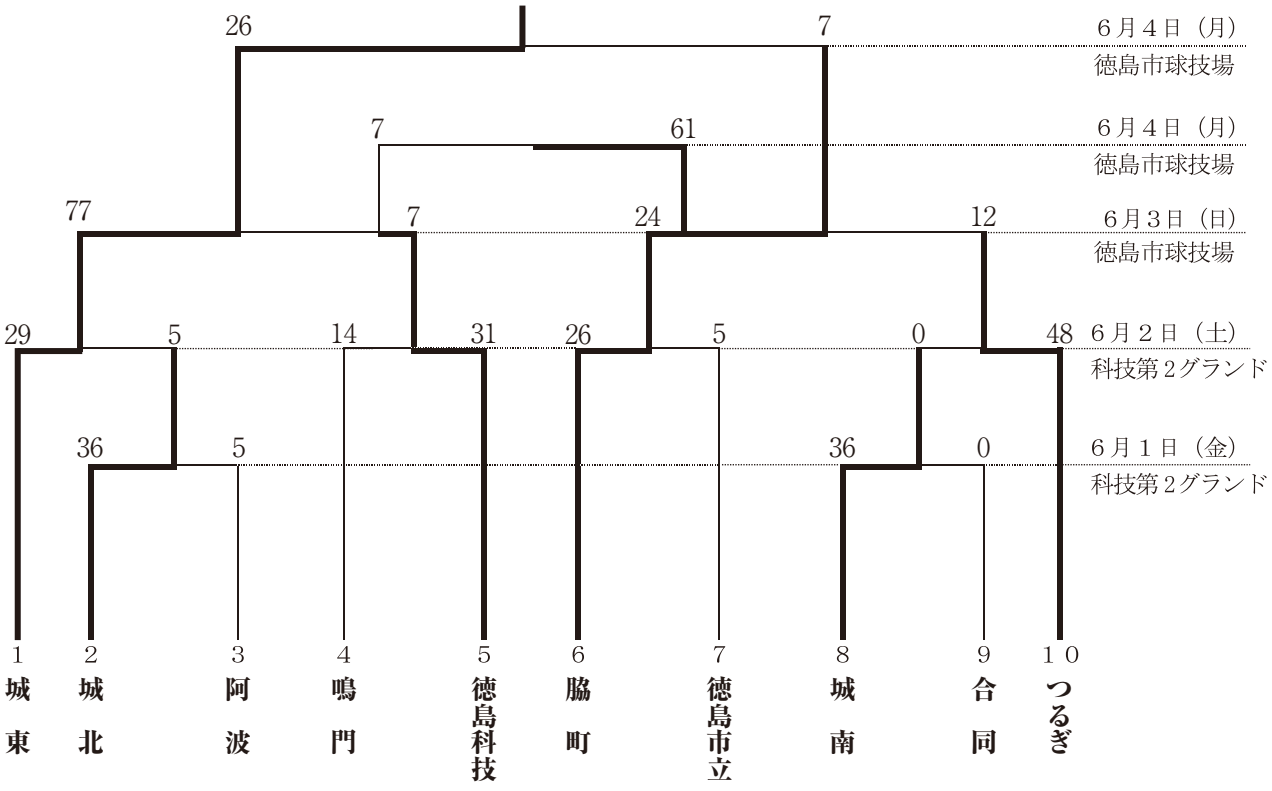
優勝　阿波高校

７人制	４／１４	城南	vs 合同	10:40	１９－１５
		阿波	vs 合同	11:20	３３－０
		阿波	vs 城南	12:00	３１－０
	４／２８	合同	vs 阿波	10:30	０－４７
		城南	vs 阿波	11:00	１４－２２
		城南	vs 合同	11:30	１９－１５

※合同（吉野川・城ノ内・鳴門渦潮）

◆平成30年度　第58回徳島県高等学校総合体育大会 ラグビーフットボール競技

優勝　城東高校　２年連続７回目
優秀選手　伊東　汰歩（城東高校）



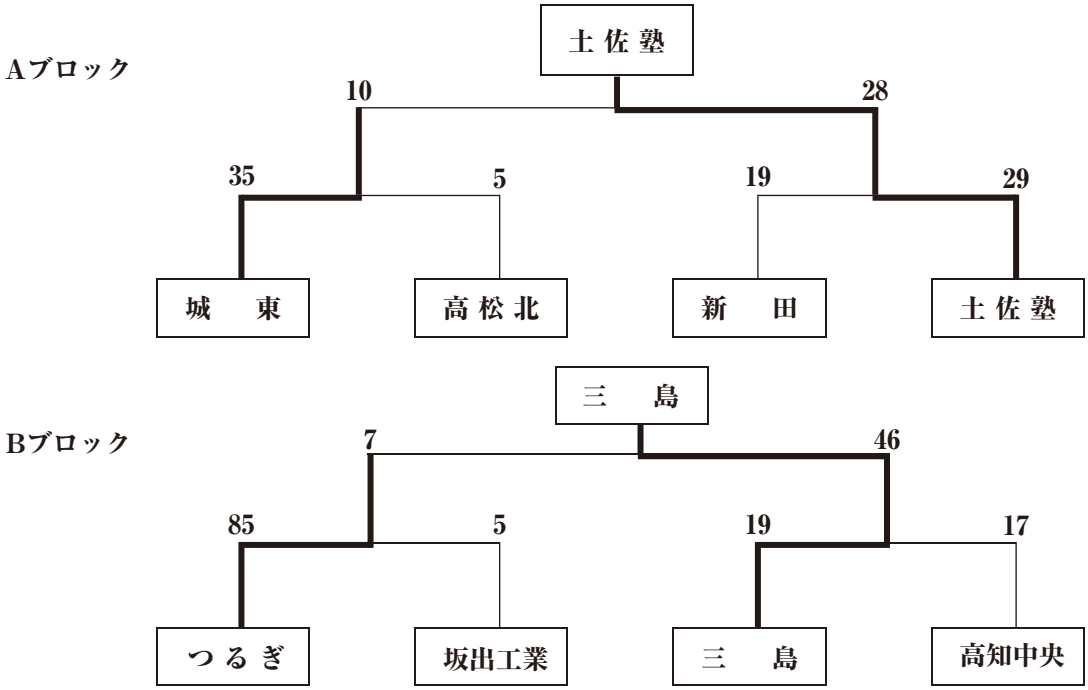
女子７人制

鳴門渦潮　２１　（２１－５／０－１４）　**１９　合同**

3年ぶり2回目の優勝

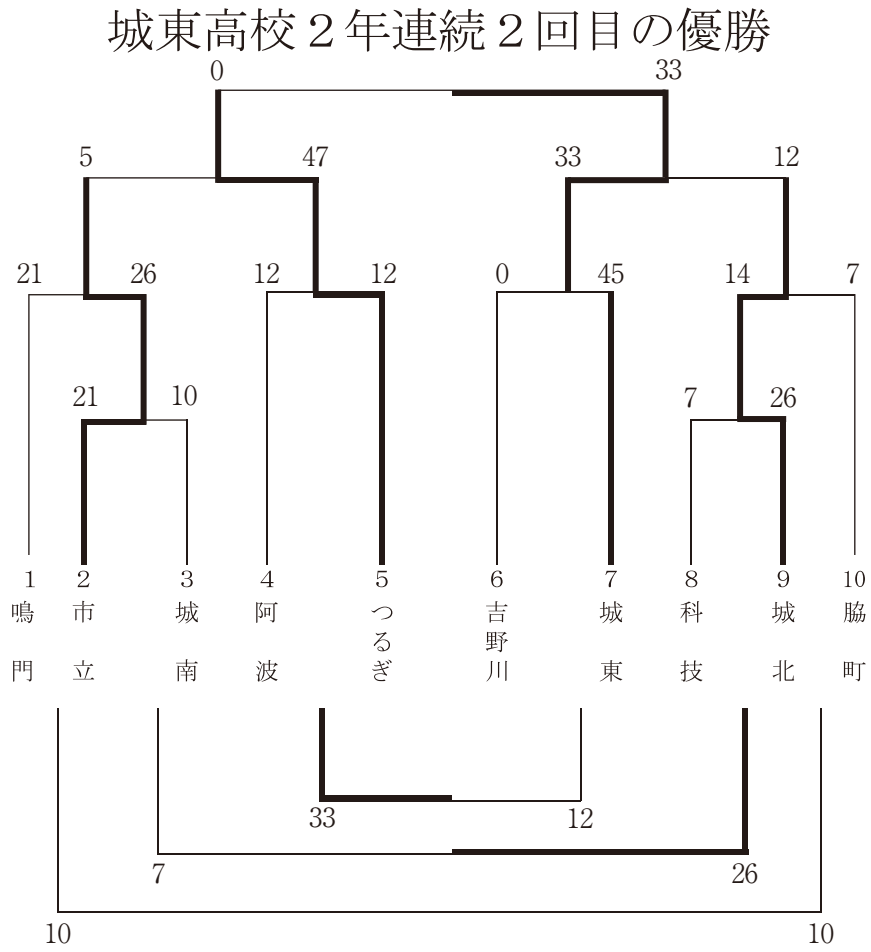
◆第66回四国高等学校ラグビーフットボール選手権大会

平３０．６．１５・１７　　徳島県徳島市球技場



◆第３回全国高等学校７人制ラグビーフットボール大会徳島県予選

１．日　時　：　平成30年５月26日（土）
２．会　場　：　徳島市球技場
３．組み合わせ



◆アシックスカップ2018第５回全国高等学校７人制ラグビーフットボール大会

平３０．７．２１～２３　　長野県菅平高原サニアパーク 他

・予選（Aプール）

	城東	西陵	國栃	勝ち	負け	引分	順位
城東		○32-14	● 7-33	1	1	0	**2**
西陵	●14-32		●10-33	0	2	0	3
國栃	○32-14	○33-10		2	0	0	1

・決勝トーナメント（プレートトーナメント）

１回戦

城東　１９－１２　大分東明

２回戦

城東　４９－　５　青森県立三本木農業

準決勝

城東　３３－　５　土佐塾

決勝

城東　１９－１９　石見智翠館　（両校優勝）

◆第14回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会

平３０．７．３１～８．２　　長野県菅平高原スポーツランドサニアパーク

試合結果

予選リーグU17　Ｂグループ

四国　１４－４３　関東

四国　１７－１９　東海

決勝リーグU17ボール

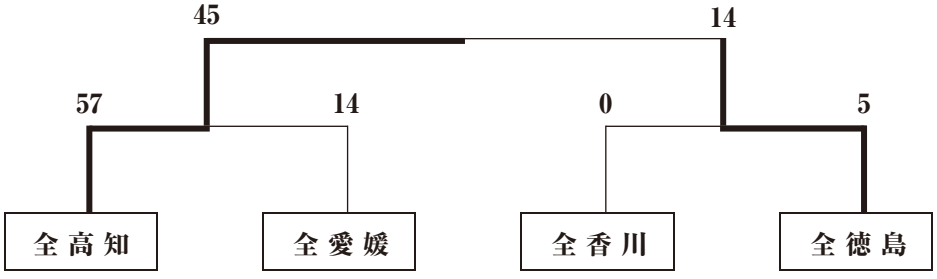
四国　３８－　５　北信越

四国　６３－　０　北海道

◆第72回国民体育大会（福井）予選　第38回四国ブロック大会

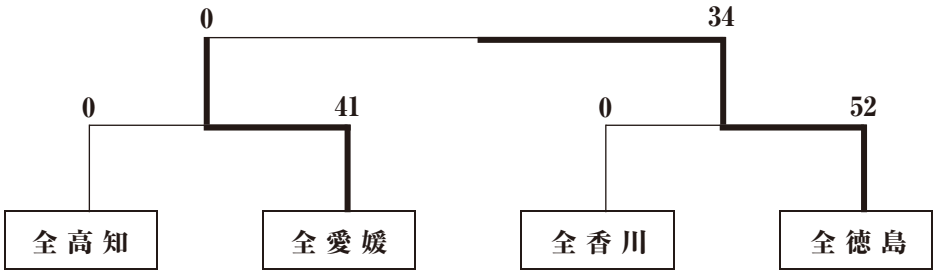
平３０．８．２６　　高知県　春野運動公園　球技場

（少年男子）



（女子）

平３０．８．２６　　高知県　春野運動公園　球技場



◆第５回全国高等学校選抜女子ラグビーフットボール大会四国ブロック予選

２月６日（土）

鳴門渦潮　２２－５　愛媛ラガールセブン

◆第１回全国U-18女子セブンズラグビーフットボール大会

１０月２７日㈯・２８日㈰　埼玉県営熊谷ラグビー場

・予選プールＢ

鳴門渦潮高校　０－２２　追手門学院大学高校

鳴門渦潮高校　２９－　５　長崎レディース

・プレートトーナメント 準決勝

鳴門渦潮高校　１２－３６　國學院栃木高校

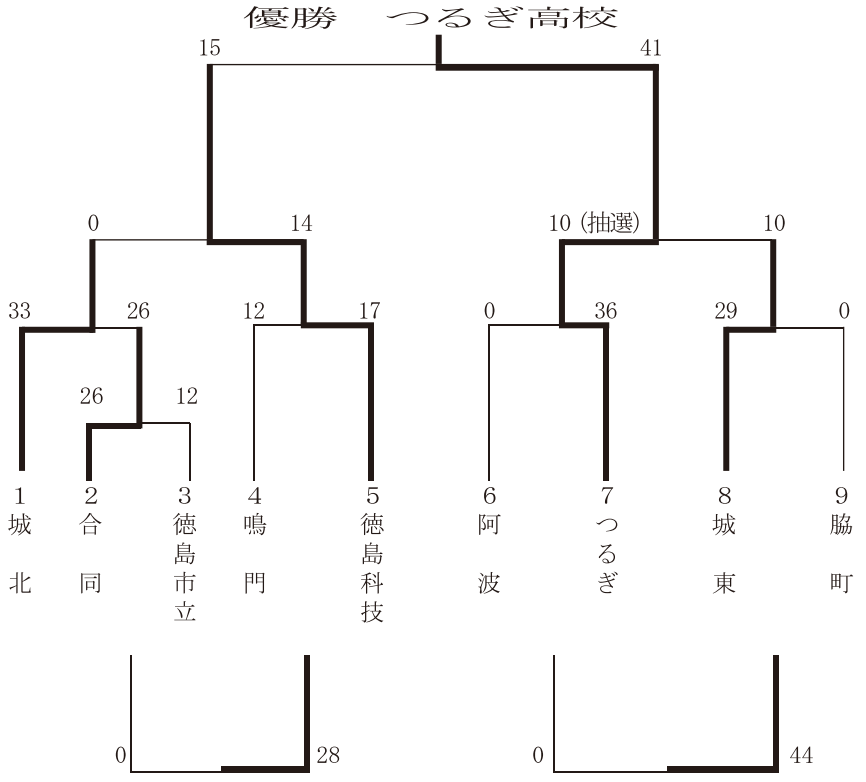
・プレートトーナメント 順位決定戦

鳴門渦潮高校　１７－１５　北海道・関東六浦

・総合成績・プレートトーナメント第３位　全国７位

◆第31回徳島県高等学校ラグビーフットボール1年生強化大会

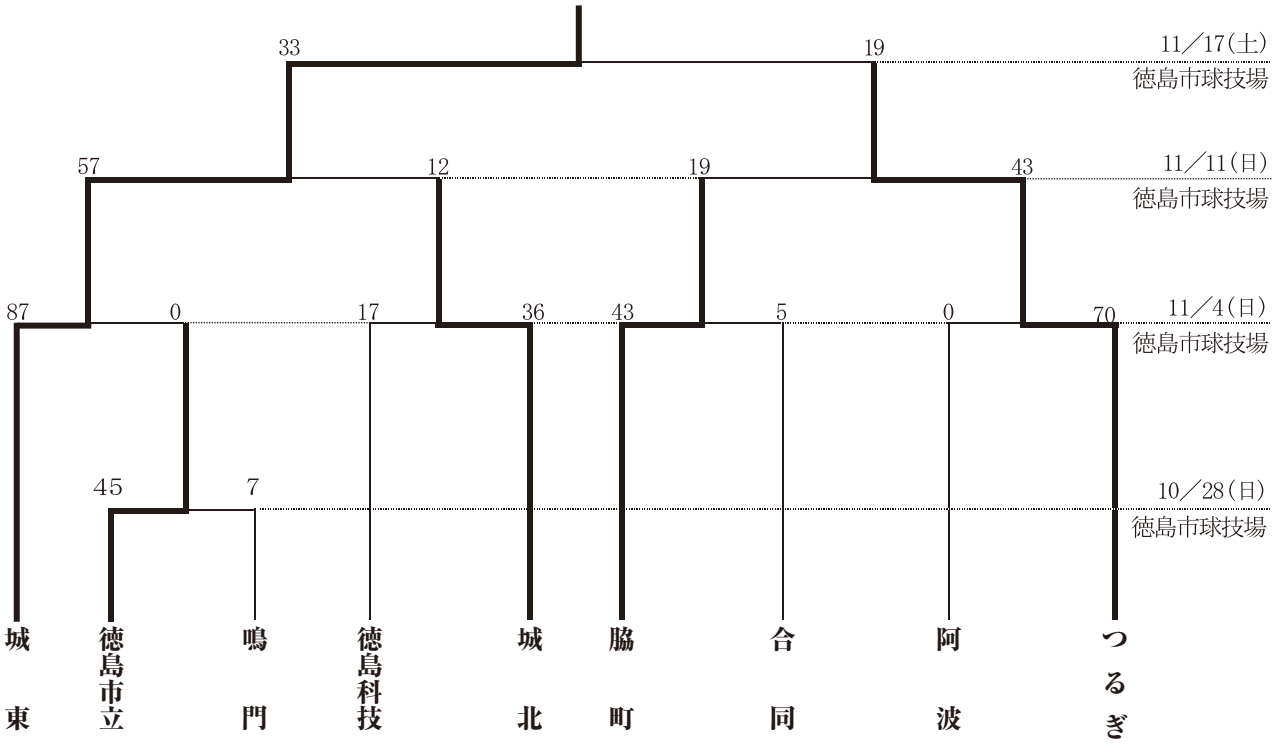
１，期　日　　平成３０年９月２２日（土）
２，場　所　　徳島科学技術高校第２１



◆全国高等学校総合体育大会
第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会徳島県大会

平３０．１０／２８，１１／４・１１・１７　　徳島市球技場

優勝　城東高校　２年連続１４回目（花園出場１２回目）



◆全国高等学校総合体育大会
第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会

平３０．１２．２７～２９．１．７　　近鉄花園ラグビー場

城東高校	２４－　７ （１９－０ 　５－７）	聖光学院高校（福島県）
城東高校	１４－２４ （　７－１０ 　７－１４）	八幡工業高校（滋賀県）

◆第21回　架橋記念ラグビーフットボールカーニバル

5月3日

【徳島市立高校グランド】

東大津	7−12	つるぎ
亀岡	0−14	県立芦屋
東大津	22−14	鳴門高校
亀岡	0−29	つるぎ
県立芦屋	12−14	城南・徳島市立
東大津	5−17	県立芦屋

亀岡B	7−12	鳴門高校
県立芦屋	7− 7	つるぎ
亀岡B	5− 5	城南・徳島市立
県立芦屋①	0−14	つるぎ①
亀岡・東大津①	10−10	鳴門･城南･徳島市立①

5月4日

【徳島市球技場（第１）】

県立芦屋①	7− 7	亀岡･城東･脇町①
星陵	7− 0	亀岡
県立芦屋	5− 5	亀岡
星陵	17− 5	脇町
つるぎ	5−10	亀岡
東大津	52− 0	亀岡
伊丹	7−14	つるぎ
県立芦屋B	14− 0	つるぎB
城東	17− 0	県立芦屋

【徳島市球技場（第２）】

伊丹①	5− 0	早稲田摂陵①
東大津	7−25	早稲田摂陵
早稲田摂陵	12− 5	つるぎ
伊丹	5− 0	東大津
早稲田摂陵	17− 0	県立芦屋
星陵	0− 7	城東
県立芦屋	5−17	脇町
脇町・城東①	5−17	早稲田摂陵①
伊丹①	0−41	つるぎ①
つるぎ	7−21	星陵

【徳島市立高校グランド】

神戸甲北①鳴門①	7−24	城南･市立･阿波･鳴門①
神戸甲北	5−25	高知工業
高知工業	0−12	鳴門高校
福山合同	22− 0	城南・徳島市立
福山合同B地区	33−12	鳴門高校

高知工業	24− 0	阿波高校
福山合同A地区	19−19	城南・徳島市立
阿波高校	17−14	福山選抜B
福山選抜A	24− 0	神戸甲北
高知工業	7−22	城南・徳島市立

5月5日

【徳島市球技場（第１）】

伊丹①	0− 5	早稲田摂陵①
つるぎ	7− 5	三島高校
神戸甲北	5−19	徳島科学技術
脇町	21−10	松山工業
福山合同A地区	0− 5	城北
伊丹	19− 0	阿波高校
福山合同A地区	0−26	三島高校
つるぎ	24− 0	松山工業
伊丹	8− 7	城北
城北・徳島科技	19− 0	松山工業
福山合同A地区	19− 0	徳島科学技術
城東	12− 5	三島

【徳島市球技場（第２）】

脇町①	0−10	城東①
市立①	0−15	城東①
脇町①	0− 0	市立①
福山合同地区	29− 0	高知工業
城東	0− 0	早稲田摂陵
福山合同B地区	0−24	城南・徳島市立
甲北①市立･城南①	7−24	早稲田摂陵①
つるぎ	0− 7	高知工業
神戸甲北	0−19	脇町
福山合同B地区	57− 0	高知工業
高知工業	5−17	城南・徳島市立
福山合同B地区	7−17	阿波高校
伊丹B	26− 0	つるぎB
つるぎ・脇町①	17− 0	城南･阿波･市立①

（付記１）徳島県高等学校ラグビーフットボール選手権大会（新人戦）

四国高等学校ラグビーフットボール新人大会（全国選抜大会四国予選）徳島県予選決勝戦記録

回数	年度	出場	決勝戦	回数	年度	出場	決勝戦
第１回	Ｓ27		鳴門ＯＢ　40－　0　城　　南	第39回	Ｈ元		脇　　町　6－　6　城　　北
2	〃		城　　北　12－　0　名　　西	40	2		貞光工　21－　0　脇　　町
3	28		城　　東　30－　0　川　　島	41	3		城　　北　20－10　徳島市立
4	29		城　南　Ｂ　18－　3　城　　東	42	4		徳島市立　19－14　城　　北
5	30		城　東　Ｂ　27－　0　川　　島	43	5		貞光工　12－　3　徳島市立
6	31		城　　東　27－　3　城　　南	44	6		城　　北　15－　8　徳島市立
7	32		城　東　Ｂ　6－　3　美馬商	45	7		城　　東　14－12　貞光工
8	33		城　東　Ｂ　0－　0　美馬商工	46	8		貞光工　44－40　城　　北
9	34		美馬商工Ａ32－　0　鴨島商	47	9		城　　北　12－　5　貞光工
10	35		城　　東　26－　3　鴨島商	48	10		貞光工　20－12　徳島市立
11	36		美馬商工優勝	49	11	★	脇　　町　10－　5　徳島市立
12	37		美馬商工　11－　0　城　　南	50	12	★	城　　東　⑫－12　貞光工
13	38		美馬商工　26－　0　板　　野	51	13	★	城　　東　7－　5　城　　南
14	39		美馬商工　19－　0　鴨島商	52	14	☆	貞光工　10－　7　徳島市立
15	40		美馬商工　29－　0　板　　野	53	15	☆	貞光工　22－　5　徳島市立
16	41		徳島市立　22－　8　徳島工	54	16	★	阿　　波　17－10　貞光工
17	42		鳴　　門　8－　6　鴨島商	55	17	★	貞光工　31－　5　鳴　　門
18	43		鴨島商　15－　3　貞光工	56	18	★	貞光工　35－12　阿　　波
19	44		貞光工　17－　0　鳴門市工	57	19	☆	貞光工　10－　8　城　　東
20	45		貞光工優勝	58	20	☆	貞光工　55－　7　脇　　町
21	46		貞光工　49－　0　徳島工	59	21	★	貞光工　10－　7　城　　東
22	47		城　　南　16－　0　鳴　　門	60	22	★	脇　　町　10－　5　貞光工
23	48		徳島工　4－　0　城　　南	61	23	☆	貞光工　38－12　徳島科技
24	49		貞光工　10－　6　城　　南	62	24	★	貞光工　22－　7　脇　　町
25	50		城　　南　4－　3　城　　北	63	25	☆	徳島科技　13－　5　貞光工業
26	51		城　　南　4－　3　川　　島	64	26	☆	つ　る　ぎ　34－17　徳島科技
27	52		脇　　町　24－　3　川　　島	65	27	★	つ　る　ぎ　26－　7　徳島市立
28	53		徳島市立　25－　0　城　　北	66	28	☆	城　　東　30－10　脇　　町
29	54		城　　南　13－　7　城　　北	67	29	☆	城　　東　45－　0　城　　北
30	55		城　　南　8－　4　脇　　町				
31	56		城　　北　3－　0　川　　島				
32	57		城　　北　21－　0　城　　南				
33	58		脇　　町　13－11　徳島市立				
34	59		城　　東　29－14　脇　　町				
35	60		脇　　町　8－　0　城　　南				
36	61		城　　南　9－　9　阿　　波				
37	62		城　　東　19－10　城　　北				
38	63		脇　　町　10－　4　城　　南				

(1)　☆は四国新人大会（全国選抜大会四国予選）で優勝し，全国選抜大会に出場。
　　★は予選敗退。

(2)　Ｓ33・61年度（Ｓ34・62），Ｈ元・12年度（Ｈ２・13）は，引き分け両校優勝。H12年度（H13）の○数字は，リーグ戦全試合の得失点差によって，全国選抜大会四国予選出場。

(3)　①Ｓ27年度（Ｓ28）は第１・２回大会開催。第１回大会は社会人・クラブ・大学・高校参加の大会。
　　②Ｓ30年度（Ｓ31）より新人戦（１・２年生チームによる大会）。
　　③H11年度（H12）より全国選抜大会四国予選の県予選を兼ねる。
　　④H10・12年度（H11・13）はリーグ戦で，優勝校・準優勝校の対戦スコア。
　　⑤H15年度（H16）より，全国選抜大会四国予選の県予選から四国新人大会県予選となる。
　　（全国選抜大会四国予選が四国新人大会へと大会名を変更したため）
　　⑥H19年度（H20）より隔年で四国より２チーム出場。

（付記２）

徳島県高等学校ラグビーフットボール春季大会

四国高等学校ラグビーフットボール選手権大会徳島県予選決勝戦記録

回数	年度	決勝戦	回数	年度	決勝戦
第１回	Ｓ34	城　東　14－ 3　美馬商工		Ｈ元	（大会中止）
2	35	美馬商工　23－ 0　城　北	31	2	脇　町　13－ 6　城　北
3	36	美馬商工　 5－ 3　鴨島商	32	3	貞光工　19－ 0　阿　波
4	37	美馬商工　23－ 0　城　北	33	4	徳島市立　18－ 7　城　北
5	38	美馬商工　23－ 0　城　北	34	5	城　北　19－15　徳島市立
6	39	美馬商工　12－ 5　城　東	35	6	貞光工　12－ 3　城　東
7	40	美馬商工　 5－ 0　板　野	36	7	城　北　12－ 5　徳島市立
8	41	徳島市立　 0－ 0　美馬商工	37	8	徳島市立　20－10　城　東
9	42	徳島工　10－ 9　貞光工	38	9	貞光工　24－21　徳島市立
10	43	貞光工　17－ 0　阿南工	39	10	徳島市立　26－17　貞光工
11	44	鴨島商　15－ 6　板　野	40	11	貞光工　25－25　徳島市立
12	45	貞光工　19－ 3　鳴門市工	41	12	徳島市立　28－14　脇　町
13	46	貞光工　19－ 5　徳島商	42	13	貞光工　19－12　城　東
14	47	貞光工　38－ 4　城　南	43	14	城　南　29－ 7　徳島市立
15	48	城　南　16－10　徳島工	44	15	鳴　門　22－18　徳島市立
16	49	徳島工　11－ 4　城　南	45	16	貞光工　17－ 0　阿　波
17	50	城　南　22－ 4　貞光工	46	17	阿　波　22－14　城　東
18	51	城　南　 8－ 8　城　北	47	18	城　東　43－17　貞光工
19	52	川　島　26－ 6　城　南	48	19	貞光工　17－14　城　東
20	53	脇　町　24－14　川　島	49	20	貞光工　39－14　城　東
21	54	徳島市立　36－ 7　城　南	50	21	貞光工　46－ 3　徳島市立
22	55	城　南　34－ 4　徳島市立	51	22	城　東　16－ 8　脇　町
23	56	城　南　14－ 6　脇　町	52	23	貞光工　24－12　脇　町
24	57	川　島　28－ 0　城　北	53	24	貞光工　38－17　徳島市立
25	58	城　南　19－10　徳島市立	54	25	貞光工　24－ 5　城　北
26	59	城　南　11－ 6　徳島市立	55	26	つるぎ　47－ 7　徳島科技
27	60	城　東　22－ 0　鳴　門	56	27	つるぎ　30－ 0　徳島科技
28	61	鳴　門　13－ 0　城　南	57	28	つるぎ　38－12　脇　町
29	62	脇　町　 8－ 6　城　南	58	29	つるぎ　28－14　城　北
30	63	脇　町　28－ 6　阿　波	59	30	城　東　40－ 0　つるぎ

(1) 第８・18・40回大会（Ｓ41・51，Ｈ11）は両校優勝

(2) ①第１・２回大会（Ｓ34・35）は産経杯。
③第13～23回大会（Ｓ46～56）は中島杯。
②第１～７回大会（Ｓ34～40），第32回大会～（Ｈ３～）は四国選手権大会県予選。
④平成元年度は中止。（北海道国体四国予選が６月開催のため）

（付記３）

徳島県高等学校総合体育大会

ラグビーフットボール競技決勝戦記録

回数	年度	決　勝　戦	回数	年度	決　勝　戦
第１回	Ｓ36	城　　東（優　勝）	41	13	貞 光 工　21－ 0　徳島市立
2	37	美馬商工（優　勝）	42	14	城　　東　28－12　貞 光 工
3	38	美馬商工（優　勝）	43	15	貞 光 工　21－ 7　鳴　　門
4	39	美馬商工　0－ 0　城　　東	44	16	脇　　町　12－10　貞 光 工
5	40	美馬商工　6－ 6　城　　東	45	17	城　　東　17－14　阿　　波
6	41	徳島市立　9－ 8　鴨 島 商	46	18	城　　東　19－14　貞 光 工
7	42	鴨 島 商　13－ 5　城　　北	47	19	貞 光 工　17－15　阿　　波
8	43	城　　北　11－ 8　鴨 島 商	48	20	貞 光 工　43－ 7　城　　北
9	44	貞 光 工　5－ 0　徳 島 工	49	21	貞 光 工　59－ 5　城　　東
10	45	貞 光 工　16－ 3　徳 島 工	50	22	脇　　町　22－ 5　阿　　波
11	46	川　　島　15－ 6　貞 光 工	51	23	貞 光 工　14－ 3　脇　　町
12	47	鳴　　門　16－ 7　城　　南	52	24	貞 光 工　26－ 5　徳島市立
13	48	城　　南　26－ 4　川　　島	53	25	貞 光 工　28－26　城　　北
14	49	貞 光 工　12－ 7　徳 島 工	54	26	つ る ぎ　33－12　徳島科技
15	50	貞 光 工　20－ 0　城　　南	55	27	つ る ぎ　7－ 0　脇　　町
16	51	城　　北　25－ 6　城　　南	56	28	つ る ぎ　58－ 7　城　　北
17	52	貞 光 工　13－ 3　川　　島	57	29	城　　東　35－ 5　徳島市立
18	53	川　　島　14－ 4　城　　南	58	30	城　　東　26－ 7　脇　　町
19	54	徳島市立　24－ 3　城　　南			
20	55	城　　南　20－10　城　　北			
21	56	城　　南　6－ 6　徳島市立			
22	57	川　　島　18－ 9　徳島市立			
23	58	城　　北　6－ 4　城　　東			
24	59	城　　東　11－ 6　脇　　町			
25	60	城　　北　6－ 0　城　　東			
26	61	鳴　　門　4－ 0　脇　　町			
27	62	阿　　波　4－ 0　脇　　町			
28	63	貞 光 工　13－ 7　城　　北			
29	Ｈ元	脇　　町　12－ 6　城　　南			
30	2	城　　北　12－ 9　脇　　町			
31	3	貞 光 工　24－ 6　阿　　波			
32	4	城　　北　6－ 0　徳島市立			
33	5	徳島市立　43－19　貞 光 工			
34	6	貞 光 工　14－ 7　徳島市立			
35	7	城　　北　35－23　徳島市立			
36	8	徳島市立　8－ 5　鳴　　門			
37	9	貞 光 工　19－12　脇　　町			
38	10	脇　　町　17－ 0　貞 光 工			
39	11	脇　　町　24－ 5　城　　東			
40	12	脇　　町　17－ 7　徳島市立			

(1) 第４・５・21回大会（Ｓ39・40・56）は両校優勝
(2) ①第１～10回大会（Ｓ36～45）は７人制大会。
②第11～17回大会（Ｓ46～52）は１１人制。
③第18回大会～（Ｓ53～）は１２人制。

（付記４）

全国高等学校総合体育大会

全国高等学校ラグビーフットボール大会徳島県予選決勝戦記録

回数	年度	出場	決勝戦	回数	年度	出場	決勝戦
第14回	Ｓ６	★	脇町中 25－0 徳島中	第56回	51	☆	徳島工 28－10 城南
15	7	★	徳島中 9－0 脇町中	57	52	★	貞光工 21－3 川島
16	8	☆	脇町中 8－3 撫養中	58	53	☆	貞光工 12－10 川島
17	9	☆	徳島中 8－6 脇町中	59	54	☆	城南 26－0 徳島工
18	10	☆	脇町中 20－8 徳島中	60	55	☆	貞光工 ⑱－18 城南
19	11	☆	脇町中優勝	61	56	☆	城南 21－0 脇町
20	12	☆	脇町中 13－6 撫養中	62	57	☆	川島 28－0 貞光工
21	13	★	徳島中優勝	63	58	☆	脇町 ⓪－0 貞光工
22	14		（記録なし）	64	59		城南 10－7 城東
23	15	★	脇町中 13－3 撫養中	65	60		脇町 10－8 城東
24	16	☆	脇町中 8－5 徳島中	66	61		鳴門 ⑬－13 脇町
25	17	☆	脇町中優勝	67	62		脇町 7－6 徳島市立
	18		（大会中止）	68	63		脇町 22－3 鳴門
	19		（ 〃 ）	69	H元		脇町 11－0 貞光工
	20		（ 〃 ）	70	2		脇町 30－11 城北
26	21	★	徳島中 8－3 脇町中	71	3		貞光工 18－0 脇町
27	22	☆	脇町中 12－0 徳島中	72	4		城北 ⑭－14 徳島市立
28	23	☆	脇町 9－3 麻植	73	5		徳島市立 12－9 脇町
29	24	☆	鳴門優勝	74	6		貞光工 22－14 徳島市立
30	25	☆	川島 20－0 阿波	75	7		城北 20－11 徳島市立
31	26	☆	脇町 21－19 鳴門	76	8		城東 49－24 徳島市立
32	27	★	城北 9－0 名西	77	9		徳島市立 33－21 脇町
33	28	☆	鳴門 32－6 城北	78	10		貞光工 13－7 徳島市立
		★	城東 13－6 脇町	79	11		貞光工 ⓪－0 脇町
34	29	★	城東 11－6 鳴門	80	12		脇町 19－17 貞光工
35	30	★	徳島商 12－0 脇町	81	13		貞光工 47－7 徳島市立
36	31	☆	城東 16－15 城北	82	14		城東 ⑤－5 城南
37	32	☆	城東 8－6 徳島商	83	15		脇町 28－7 鳴門
38	33	☆	城東 19－5 川島	84	16		貞光工 13－12 脇町
39	34	☆	城東 14－0 美馬商工	85	17		阿波 22－20 城東
40	35	☆	城東 3－0 美馬商工	86	18		城東 17－13 貞光工
41	36	☆	城東 6－3 美馬商工	87	19		城東 ⑦－7 貞光工
42	37	☆	美馬商工 14－0 城東	88	20		貞光工 34－0 脇町
43	38	☆	美馬商工 35－0 板野	89	21		貞光工 36一0 城東
44	39	☆	美馬商工 8－0 城東	90	22		貞光工 19－14 脇町
45	40	☆	美馬商工 19－0 徳島市立	91	23		貞光工 10－7 脇町
46	41	☆	徳島市立 13－3 川島高	92	24		貞光工 15－0 徳島市立
47	42	☆	貞光工 9－3 鴨島商	93	25		城北 22－20 貞光工
48	43	☆	貞光工 29－0 徳島工	94	26		徳島科技 26－24 つるぎ
49	44	☆	徳島工 33－3 城南	95	27		つるぎ 38－7 城北
50	45	☆	貞光工 13－8 川島	96	28		つるぎ 34－7 城東
51	46	☆	貞光工 34－7 鴨島商	97	29		城東 39－14 つるぎ
52	47	☆	貞光工 16－7 鳴門	98	30		城東 33－19 つるぎ
53	48	☆	徳島工 33－0 川島				
54	49	☆	川島 10－0 貞光工				
55	50	☆	貞光工 16－4 城南				

(1) ☆は中四国・四国・南四国予選を突破し，全国大会出場。★は予選敗退。
(2) ○数字は引き分け両校優勝で，抽選で四国予選または全国大会出場。（Ｈ４はトライ数差）
(3) Ｓ23に旧制中学校から新制高等学校へ。
(4) Ｓ28はＡ・Ｂブロックで優勝校２校。
①Ｓ６・７　中・四国予選
②Ｓ８～30　四国予選（S24は中四国予選，S28～30兼四国選手権大会）
③Ｓ31～58　南四国予選（S31～33は兼四国選手権大会，S45・55・57は南四国予選無し）
④Ｓ59～Ｈ元　県予選優勝校は出場権
⑤Ｈ２～　全都道府県に代表権

平成30年度競技記録（中学生の部）

中学生委員長　野田　雅資

◆四国中学生７人制ラグビー大会

平成29年2月5日　北条スポーツセンター競技場

▽１年生の部

徳島ＲＳ	28- 5	北条北中	
徳島ＲＳ	31-12	高知・香川	
徳島ＲＳ	31-14	城西中	
徳島ＲＳ	43- 0	女子選抜	（1位）徳島ＲＳ

▽２年生の部

Ａグループ

徳島ＲＳ	12-14	北条北中	
徳島ＲＳ	40- 7	四国中央	
徳島ＲＳ	45- 7	高知	

Ｂグループ

鳴門・脇町	7-33	松山RS	
鳴門・脇町	12-21	城西中	
鳴門・脇町	0-40	香川	

順位決定戦

高　知	19-21	鳴門・脇町	（7位）鳴門・脇町
徳島ＲＳ	31-12	松山	（3位）徳島ＲＳ

◆第９回関西スクールジュニアラグビーフットボール新人交流大会

平成30年3月17,18日　淡路佐野運動公園グランド

〈第１日目〉

Ａブロック

徳島県選抜	21-38	大阪北地区Ａ
徳島県選抜	5-61	和歌山スクールＡ

〈第２日目〉

Ａブロック

徳島県選抜	10- 5	京都府合同Ａ
徳島県選抜	22-33	奈良県スクール選抜

◆第14回四国中央市長杯ジュニアラグビー大会

平成30年5月3, 4日　スカイフィールド富郷

〈第１日目〉

Ｂブロック

徳島ＲＳ	38- 7	北条北中
徳島ＲＳ	62- 7	倉吉ＲＳ

Ｃブロック

鳴門・脇町・徳島	0-68	四国中央合同
鳴門・脇町・徳島	7-53	鯉城・福山ＲＳ

〈第２日目〉

カップトーナメント

徳島ＲＳ　7-12　山口ジュニアＲＳ
徳島ＲＳ　17- 5　鯉城・福山ＲＳ

プレートトーナメント

鳴門・脇町・徳島　0-45　高松・香川
鳴門・脇町・徳島　5-45　松山

◆太陽生命カップ第９回全国中学生ラグビーフットボール大会
関西地区予選（スクールの部）

平成29年6月30日　堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター
徳島ＲＳ　12-19　奈良ジュニアＲＳ

◆第39回関西中学生ラグビーフットボール大会　四国地区予選

平成30年5月27日　スカイフィールド富郷
愛媛県選抜　34-14　高知・香川県選抜
徳島県選抜　45-14　高知・香川県選抜
愛媛県選抜　15-19　徳島県選抜

（同　中国四国ブロック第一代表決定戦）
平成30年6月3日　スカイフィールド富郷
徳島県選抜　12-33　岡山県選抜
徳島県選抜は関西大会本戦に中四国第2代表として出場

◆第39回関西中学生ラグビーフットボール大会

平成30年7月27,28,29日　数河高原ラグビー場
▽Ｂグループ
〈7月27日〉
徳島県選抜　17-19　石川県スクール選抜
〈7月28日〉
徳島県選抜　7-38　愛媛県選抜
〈7月29日〉
徳島県選抜　19-21　奈良県スクール選抜
（Ｂグループ8位）

◆第21回中国四国ジュニアラグビー交流会

平成30年8月25,26日　久万高原ラグビー場、他
▽U-15
〈第１日目　カップ戦〉
城西中　12-33　徳島ＲＳ（A）
北条北中（A）　50- 0　徳島ＲＳ（B）
徳島ＲＳ（A）　54-10　広島ラガー
徳島ＲＳ（B）　0-78　鯉城・福山合同（A）
〈第２日目　カップ戦〉
徳島ＲＳ（A）　21-19　鯉城・福山ＲＳ
岡山ＲＳ　27- 5　徳島ＲＳ（A）
徳島ＲＳ（B）　0-71　広島ラガー
徳島ＲＳ（B）　13-19　崇徳中・鯉城ＲＳ

▽U-14

〈第１日目　ジャンボリー〉

徳島ＲＳ（Ｃ）　14- 7　四国中央合同（Ｂ）

広島合同　17-26　徳島ＲＳ（Ｃ）

〈第２日目　ジャンボリー〉

徳島ＲＳ（Ｃ）　 0-41　倉敷・津山・倉吉（Ａ）

徳島ＲＳ（Ｃ）　 0-19　山口（Ｂ）

◆第24回全国ジュニアラグビーフットボール大会　四国地区予選

平成30年10月28日　スカイフィールド富郷

徳島県選抜　36-17　高知・香川県選抜

愛媛県選抜　33- 5　高知・香川県選抜

愛媛県選抜　17- 0　徳島県選抜

（四国地区代表：愛媛県選抜）

平成30年度競技記録（スクールの部）

普及育成委員長　堂前　孝司

◆第3回鳴門ラグビースクールフェスティバル（鳴門大塚パーク球技場）　1月28（日）

〈低学年〉 5人制　7分ハーフ

徳島A　60－ 5　脇　町	鳴門A　90－ 0　徳島B	鳴門B　 0－65　鳴門A
徳島A　70－ 0　さぬき	脇　町　35－25　高　知	脇　町　55－ 0　徳島B
鳴門B　20－ 5　高　知	鳴門A　40－25　徳島A	優勝　鳴門A

〈中学年〉 7人制　9分ハーフ

徳島A　35－ 0　さぬき	鳴　門　50－15　脇　町	徳島A　45－15　高　知
鳴　門　40－ 5　徳島B	脇　町　20－40　さぬき	徳島B　25－30　高　知
徳島A　20－10　鳴　門		優勝　徳島A

〈高学年〉 9人制　11分ハーフ

鳴　門　35－10　徳　島	脇　町　10－45　さぬき	徳　島　70－10　脇　町
鳴　門　80－ 0　高　知	徳　島　70－10　高　知	鳴　門　 0－30さぬき
		優勝　さぬき

◆第10回ヒーローズカップ関西大会（ヤンマーフィールド長居）　2月4日（日）

〈5・6年生〉 12分ハーフ

徳島ラグビースクール　30－25　阿倍野ラグビースクール（大阪）

徳島ラグビースクール　10－70　大阪中央ラグビースクール（大阪）

◆第29回近県小学生ラグビー交流大会　3月4日（日）

（愛媛県松山市北条スポーツセンター球技場・陸上競技場）

参加チーム　6県12団体　48チーム

〈幼児チーム〉5人制　6分ストレート　　10チーム参加

合同A　10－5　小　松	合同A　10－20　さぬき	
合同A…鳴門･脇町･宇摩･高松		優勝　徳　島
徳　島　25－0　合同B	徳　島　20－15　尾　道	徳　島　20－10　さぬき

〈1・2年チーム〉5人制　7分ストレート　　18チーム参加

鳴門A　30－ 0　宇摩A	徳島A　30－ 0　宇摩B	徳島B　 5－30　さぬきA
鳴門A　40－ 0　さぬきB	徳島A　25－15　岡山A	徳島B　25－10　小　松
脇　町　20－10　高　松	脇　町　30－ 0　松山B	

◆決勝トーナメント　　7分ストレート

○1位グループトーナメント	徳島A　30－ 0　さぬきA	鳴門A　35－ 0　徳島A
脇　町　10－ 5　松山A	脇　町　15－35　尾　道	鳴門A　35－ 5　尾　道
		優勝　鳴門A
○2位グループトーナメント	徳島B　20－15　高　知	徳島B 0－35 北　条

〈3・4年チーム〉7人制　10分ストレート　　14チーム参加

脇　町　 0－50　松　山	脇　町　15－20　北　条	徳島B　20－ 0　宇　摩
徳島B　 5－10　高　知	鳴　門　15－ 5　岡山A	鳴　門　35－ 5　高　松
徳島A　35－ 0　さぬき	徳島A　 5－15　尾　道	

◆決勝トーナメント　　10分ストレート

○1位グループトーナメント	鳴　門　50－ 0　北　条	鳴　門　10－25　尾　道
○2位グループトーナメント	徳島A　35－ 5　岡山B	徳　島　15－ 5　高　松
	徳島A　15－ 0　徳島B	徳島A　1位

○3位グループトーナメント　　脇　町　20－10　小　松　　脇　町　5－25　宇　摩
〈5・6年チーム〉9人制　10分ストレート　　11チーム参加
◇予選リーグ
鳴　門　0－15　宇摩A　　鳴　門　45－ 5　高　知　　鳴　門　0－25　さぬき
脇　町　5－30　松　山　　脇　町　5－25　岡　山　　脇　町　40－ 5　宇摩B
徳　島　40－ 0　北　条　　徳　島　35－10　小松･高松
◆決勝リーグ　　7分ハーフ
○カップ決勝リーグ　　徳　島　15－20　岡　山　　徳　島　5－25　さぬき
（1位グループ）
○ボウル決勝リーグ　　鳴　門　30－25　脇　町　　脇　町　45－ 5　北　条
（3位グループ）　　鳴　門　60－ 0　北　条　　鳴　門　1位

◆第20回　徳島県ラグビースクール冬季大会　　3月11日（日）
（貞光道の駅前河川敷グラウンド）
〈1・2年チーム〉5人制　10分ストレート
脇　町　20－25　徳島A　　徳島B　35－15　鳴門A　　鳴門B　40－15　高　知
徳島B　40－25　脇　町　　徳島A　35－20　鳴門A　　徳島B　40－ 5　高　知
脇　町　45－15　鳴門B　　徳島A　30－15　高　知　　脇　町　45－ 5　鳴門A
徳島A　35－ 5　鳴門B　　鳴門A　10－20　高　知　　徳島B　30－20　鳴門B
〈3・4年チーム〉7人制　12分ストレート
徳島A　45－ 0　脇　町　　鳴　門　25－ 5　高　知　　徳島B　20－10　脇　町
鳴　門　25－10　徳島A　　脇　町　 0－60　高　知　　鳴　門　25－ 5　徳島B
徳島A　35－ 0　高　知　　鳴　門　50－ 0　脇　町　　徳島B　 0－35　高　知
〈5・6年チーム〉9人制　15分ストレート
脇　町　25－20　鳴　門　　徳　島　45－ 0　高　知　　徳　島　20－20　脇　町
鳴　門　40－ 0　高　知　　脇　町　30－ 0　高　知　　鳴　門　35－ 5　徳　島

◆第12回　関西ミニ・ラグビージャンボリー交流大会　　6月23日（土）・24日（日）
（兵庫県立淡路佐野運動公園ボールパークあわじ）　2府12県より　60チーム
〈5・6年生チーム〉　9人制　11分ハーフ
（1日目）
徳島ラグビースクール　 5－35　枚方ラグビースクール（大阪府）
徳島ラグビースクール　 0－25　西宮ラグビー少年団（兵庫県）
（2日目）
徳島ラグビースクール　15－ 5　京都西ラグビースクール（京都府）
徳島ラグビースクール　30－ 5　岩出ラグビースクール（和歌山県）

◆第4回　赤穂杯 鳴門市ラグビー祭（鳴門渦潮高校撫養グラウンド）　　9月9日（日）
◇低学年　◎決勝リーグ　　5人制　　11分ストレート　4チーム
鳴　門　15－15　脇　町　　徳島A15－0　さぬき　　鳴　門30－15徳島A
脇　町　10－10　さぬき　　徳島A30－20脇　町　　鳴　門10－0　さぬき
◎交流戦　　5人制　　10分ストレート　　2チーム　　優勝　鳴　門
徳島B15－10合同チーム
◇中学年　◎決勝リーグ　　7人制　　13分ストレート　4チーム
徳島A　25－ 0　さぬき　　鳴門A　55－ 0　脇　町　　鳴門A　15－ 5　徳島A
脇　町　15－35　さぬき　　徳島A　30－ 0　脇　町　　鳴門A　40－ 0　さぬき
◎交流戦　　7人制　　10分ストレート　　3チーム　　優勝　鳴門A

徳島Ｂ　10－5　鳴門Ｂ　　徳島Ｂ　15－15　合同チーム　鳴門Ｂ　5－15　合同チーム

◇高学年　◎決勝リーグ　　9人制　　15分ストレート　4チーム

徳島Ａ　15－ 5　さぬき　　鳴　門　15－15　脇町･小松　徳島Ａ　15－ 0　鳴門

脇町･小松　10－15　さぬき　　鳴　門　15－10　さぬき　　徳島Ａ　55－ 0　脇町･小松

◎交流戦　　9人制　　10分ストレート　　2チーム　　優勝　徳島Ａ

徳島Ｂ　5－ 0　合同チーム　　徳島Ｂ　5－10　合同チーム

◆第12回徳島県ミニ・ラグビー交流大会　　10月21日（日）

（徳島市入田町徳島市球技場）

〈1・2年チーム〉5人制　8分ストレート

鳴　門　20－ 5　中　央　　徳島Ａ　35－ 5　脇　町　　徳島Ｂ　35－ 0　中　央

鳴　門　30－10　脇　町　　徳島Ａ　25－ 5　中　央　　徳島Ｂ　15－ 5　鳴　門

脇　町　10－40　中　央　　徳島Ａ　25－25　鳴　門　　徳島Ｂ　25－20　脇　町

脇　町　20－10　中　央　　徳　島　40－10　鳴　門　　鳴　門　35－ 0　中　央

徳　島　15－15　脇　町　　鳴　門　30－20　脇　町　　徳　島　30－10　中　央

〈3・4年チーム〉7人制　10分ストレート

脇　町　10－5 中央Ｂ　　鳴　門　5－15　徳島Ｂ　　徳島Ｂ　35－ 0　中央Ａ

徳島Ｃ　25－15　脇　町　　鳴　門　45－ 0　中央Ａ　　徳島Ａ　20－ 5　脇　町

徳島Ｃ　15－30　中央Ｂ　　徳島Ａ　10－10　鳴　門　　鳴　門　20－15　脇　町

徳島Ｂ　35－ 0　中央Ｂ　　鳴　門　20－ 0　徳島Ｃ　　脇　町　20－15　中央Ａ

鳴　門　35－ 0　中央Ｂ　　徳島Ａ　25－ 0　中央Ａ

〈5・6年チーム〉9人制　12分ストレート

脇　町　25－15　中　央　　鳴　門　15－ 5　徳島Ｂ　　徳島Ａ　35－10　脇　町

徳島Ｂ　0－55　中　央　　徳島Ａ　35－ 0　鳴　門　　脇　町　25－10　徳島Ｂ

鳴　門　25－10　中　央　　鳴　門　25－ 0　脇　町　　徳島Ａ　25－10　中　央

鳴　門　25－ 0　徳島Ｂ　　脇　町　10－15　中　央　　脇　町　30－ 0　徳島Ｂ

徳　島　30－ 5　中　央

◆SEINANラグビーマガジンCUP 関西ミニ・ラグビー大会2018　　10月27日（土）

（大阪府堺市　Ｊ－GREEN堺）　53チーム参加

〈Gブロック〉（徳島・岡山・城陽・茨木）

徳島ラグビースクール　10－40　岡山ラグビースクール（岡山）

徳島ラグビースクール　30－10　城陽ラグビースクール（京都）

◆第30回　四国ラグビースクール大会　　10月28日（日）

（愛媛県西条市東予運動公園球技場・ビバスポルティア西条）

〈幼稚園チーム〉5人制　5分ストレート　参加チーム5

徳　島　15－ 5　さぬき　　徳　島　0－15　合　同　　徳　島　15－ 5　小　松

徳　島　5－10　高　知

〈1・2年生チーム〉5人制　　参加チーム　15

☆予選リーグ　6分ストレート

鳴　門　10－10　宇摩Ａ　　鳴　門　35－10　高松･北条　　鳴　門　25－ 5　さぬきＢ

脇　町　25－ 0　小松Ｂ　　脇　町　10－15　さぬきＡ　　徳島Ａ　20－ 0　松　山

徳島Ａ　30－ 0　宇摩Ｂ　　徳島Ｂ　5－ 5　小松Ａ　　徳島Ｂ　20－ 0　高　知

☆決勝トーナメント　7分ストレート

脇　町　25－10　小松Ａ　　徳島Ｂ　5－15　さぬきＡ　　徳島Ａ　40－ 0　鳴　門

脇　町　10－25　宇摩Ａ　　徳島Ａ　30－ 0　さぬきＡ　　徳島Ａ　15－15　宇摩Ａ

脇　町　10－10　さぬきＡ　　同点優勝　徳島Ａ　第3位　脇　町

☆交流戦　　7分ストレート

鳴　門　25－15　徳島Ｂ　　鳴　門　20－10　小松Ａ　　徳島Ｂ　10－ 5　松　山

〈3・4年生チーム〉7人制　　参加チーム　12

☆予選リーグ　　7分ストレート

脇　町　 0－25　松　山　　脇　町　 0－25　さぬき　　徳島Ｂ　25－ 0　脇　町
徳島Ｂ　15－10　松　山　　徳島Ｂ　10－ 0　さぬき　　徳島Ａ　 0－ 5　宇摩Ａ
徳島Ａ　25－ 0　高　松　　徳島Ａ　20－ 5　鳴門Ｂ　　鳴門Ｂ　 0－25　宇摩Ａ
鳴門Ｂ　30－ 0　高　松　　鳴門Ａ　15－ 5　高　知　　鳴門Ａ　35－ 0　小　松
鳴門Ａ　30－ 0　宇摩Ｂ

☆交流リーグ　　10分ストレート

徳島Ａ　35－ 5　脇　町　　徳島Ａ　35－ 0　高　松　　徳島Ａ　30－ 0　宇摩Ｂ
脇　町　45－ 0　高　松　　脇　町　25－ 0　宇摩Ｂ　　鳴門Ｂ　15－10　松　山
鳴門Ｂ　 0－15　さぬき　　鳴門Ｂ　20－10　小　松

☆決勝トーナメント　　7分ハーフ

徳島Ｂ　15－25　　高　知　　鳴門Ａ　20－10　宇摩Ａ　　鳴門Ａ　30－15　高　知
徳島Ｂ　 5－ 5　宇摩Ａ　　優勝　鳴門Ａ　第3位　徳島Ｂ

〈5・6年生チーム〉9人制　　参加チーム　9

☆予選リーグ　　7分ストレート

徳島Ａ　 0－10　宇　摩　　徳島Ａ　35－ 0　脇町･小松　　徳島Ａ　20－ 0　高　知
徳島Ａ　35－ 0　高松･北条　　脇町･小松　0－15　宇　摩　　脇町･小松　 5－ 0　高　知
脇町･小松　20－ 0　高松･北条　　鳴　門　 0－ 5　松　山　　鳴　門　 5－15　さぬき
鳴　門　15－ 0　徳島Ｂ　　徳島Ｂ　 0－25　松　山　　徳島Ｂ　 0－20　さぬき

☆決勝トーナメント　　6分ハーフ

脇町･小松　15－15　さぬき　　徳島Ａ　25－ 0　鳴　門　　徳島Ａ　10－15　松　山
徳　島　15－20　さぬき　　鳴　門　25－ 5　脇町･小松

☆交流リーグ　　8分ハーフ

徳島Ｂ　 5－35　　高　知　　徳島Ｂ　60－10　高松･北条

平成30年度競技記録（タグの部）

サントリーカップ　第15回 全国小学生タグラグビー選手権大会　徳島県予選大会　予選リーグ対戦表 No.1

A リーグ	① 一宮ダイヤモンドペガサス	② 大津西Green	③ 箸蔵バラエティーズ	④ 西井川ペネトラール	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
① 一宮ダイヤモンドペガサス		○ 6 － 2	○ 8 － 1	○ 5 － 1	3	0	0	19	4	15	1
② 大津西Green	× 2 － 6		○ 4 － 1	× 2 － 4	1	0	2	8	11	-3	3
③ 箸蔵バラエティーズ	× 1 － 8	× 1 － 4		× 0 － 6	0	0	3	2	18	-18	4
④ 西井川ペネトラール	× 1 － 5	○ 4 － 2	○ 6 － 0		2	0	1	11	7	4	2

B リーグ	⑤ 大津西Blue	⑥ 高越イエローファイヤートルネード	⑦ 一宮ドリームペガサス	⑧ 白地はくっちいず	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
⑤ 大津西Blue		△ 2 － 2	○ 3 － 0	○ 7 － 1	2	1	0	12	3	9	1
⑥ 高越イエローファイヤートルネード	△ 2 － 2		× 1 － 3	○ 5 － 1	1	1	1	8	6	2	2
⑦ 一宮ドリームペガサス	× 0 － 3	○ 3 － 1		× 1 － 2	1	0	2	4	6	-2	3
⑧ 白地はくっちいず	× 1 － 7	× 1 － 5	○ 2 － 1		1	0	2	4	13	-9	4

C リーグ	⑨ 池田ホワイトフェニックス	⑩ 北島南グリーンエース	⑪ 高越レッドファイヤートルネード	⑫ 佐古愛日ブロッサムズ	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
⑨ 池田ホワイトフェニックス		○ 4 － 1	○ 4 － 1	○ 5 － 3	3	0	0	13	5	8	1
⑩ 北島南グリーンエース	× 1 － 4		× 1 － 4	× 0 － 5	0	0	3	2	13	-11	4
⑪ 高越レッドファイヤートルネード	× 1 － 4	○ 4 － 1		× 0 － 4	1	0	2	5	9	-4	3
⑫ 佐古愛日ブロッサムズ	× 3 － 5	○ 5 － 0	○ 4 － 0		2	0	1	12	5	7	2

D リーグ	⑬ アリスマイル神領	⑭ 板東Vortice	⑮ 箸蔵チーターズ	⑯ キタミナレッドファルコンズ	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
⑬ アリスマイル神領		○ 6 － 1	○ 4 － 0	× 1 － 2	2	0	1	11	3	8	2
⑭ 板東Vortice	× 1 － 6		× 3 － 5	× 0 － 3	0	0	3	4	14	-10	4
⑮ 箸蔵チーターズ	× 0 － 4	○ 5 － 3		× 0 － 6	1	0	2	5	13	-8	3
⑯ キタミナレッドファルコンズ	○ 2 － 1	○ 3 － 0	○ 6 － 0		3	0	0	11	1	10	1

E リーグ	⑰ 山城元気っ子	⑱ ~~大津西Yellow~~	⑲ 板東グランツ	⑳ 加茂名ファイターズ	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
⑰ 山城元気っ子		－	○ 5 － 4	○ 6 － 0	2	0	0	11	4	7	1
⑱ ~~大津西Yellow~~	－		－	－	0	0	0	0	0	0	0
⑲ 板東グランツ	× 4 － 5	－		○ 4 － 2	1	0	1	8	7	1	2
⑳ 加茂名ファイターズ	× 0 － 6	－	× 2 － 4		0	0	2	2	10	-8	3

F リーグ	㉑ 箸蔵少年隊	㉒ 北島ナイントライズ	㉓ 池田グリーンＢＡＮＡＮＡ	㉔ 藍北徳島軍司令団だゼーズ	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
㉑ 箸蔵少年隊		○ 3 － 0	△ 1 － 1	△ 3 － 3	1	2	0	7	4	3	2
㉒ 北島ナイントライズ	× 0 － 3		× 0 － 4	× 2 － 3	0	0	3	2	10	-8	4
㉓ 池田グリーンBANANA	△ 1 － 1	○ 4 － 0		△ 4 － 4	1	2	0	9	5	4	1
㉔ 藍北徳島軍司令団だゼーズ	△ 3 － 3	○ 3 － 2	△ 4 － 4		1	2	0	10	9	1	3

G リーグ	㉕ OH！三庄WOW！	㉖ 西井川プロヴォカーレ	㉗ 山城チャールズ	㉘ 藍北ゴールドラグビーズ	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
㉕ OH！三庄WOW！		○ 2 － 1	× 2 － 3	× 1 － 2	1	0	2	5	6	-1	3
㉖ 西井川プロヴォカーレ	× 1 － 2		× 1 － 2	△ 3 － 3	0	1	2	5	7	-2	4
㉗ 山城チャールズ	○ 3 － 2	○ 2 － 1		○ 4 － 2	3	0	0	9	5	4	1
㉘ 藍北ゴールドラグビーズ	○ 2 － 1	△ 3 － 3	× 2 － 4		1	1	1	7	8	-1	2

H リーグ	㉙ 加茂名チーターズ	㉚ 山城ミラクルセブン	㉛ 箸蔵ファイターズ	㉜ 山瀬ＶＩＯＬＥＴ	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
㉙ 加茂名チーターズ		○ 4 － 1	○ 4 － 2	× 3 － 4	2	0	1	11	7	4	2
㉚ 山城ミラクルセブン	× 1 － 4		× 1 － 2	× 0 － 4	0	0	3	2	10	-8	4
㉛ 箸蔵ファイターズ	× 2 － 4	○ 2 － 1		× 2 － 5	1	0	2	6	10	-4	3
㉜ 山瀬ＶＩＯＬＥＴ	○ 4 － 3	○ 4 － 0	○ 5 － 2		3	0	0	13	5	8	1

I リーグ	㉝ 板東フロイデ	㉞ 池田ブラックエンペラーズ	㉟ 神領ブルーアイズ	㊱ 三庄ジャパン	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
㉝ 板東フロイデ		○ 6 － 0	○ 5 － 0	○ 4 － 1	3	0	0	15	1	14	1
㉞ 池田ブラックエンペラーズ	× 0 － 6		○ 3 － 2	○ 3 － 2	2	0	1	6	10	-4	2
㉟ 神領ブルーアイズ	× 0 － 5	× 2 － 3		○ 2 － 0	1	0	2	4	8	-4	3
㊱ 三庄ジャパン	× 1 － 4	× 2 － 3	× 0 － 2		0	0	3	3	9	-6	4

J リーグ	㊲ 北島セブンバッファローズ	㊳ 池田アイアンドッグス	㊴ 北島南ブルーファイターズ	㊵ 高越ブラックファイヤートルネード	㊶ 一宮スカイペガサス	勝	分	負	得点	失点	得失点	順位
㊲ 北島セブンバッファローズ		△ 1-1	○ 3-2	× 0-6	○ 4-0	2	1	1	8	9	-1	2
㊳ 池田アイアンドッグス	△ 1-1		× 0-2	× 0-4	○ 2-0	1	1	2	3	7	-4	4
㊴ 北島南ブルーファイターズ	× 2-3	○ 2-0		× 0-5	○ 3-1	2	0	2	7	9	-2	3
㊵ 高越ブラックファイヤートルネード	○ 6-0	○ 4-0	5-0		○ 4-0	4	0	0	19	0	19	1
㊶ 一宮スカイペガサス	× 0-4	× 0-2	× 1-3	× 0-4		0	0	4	1	13	-2	5

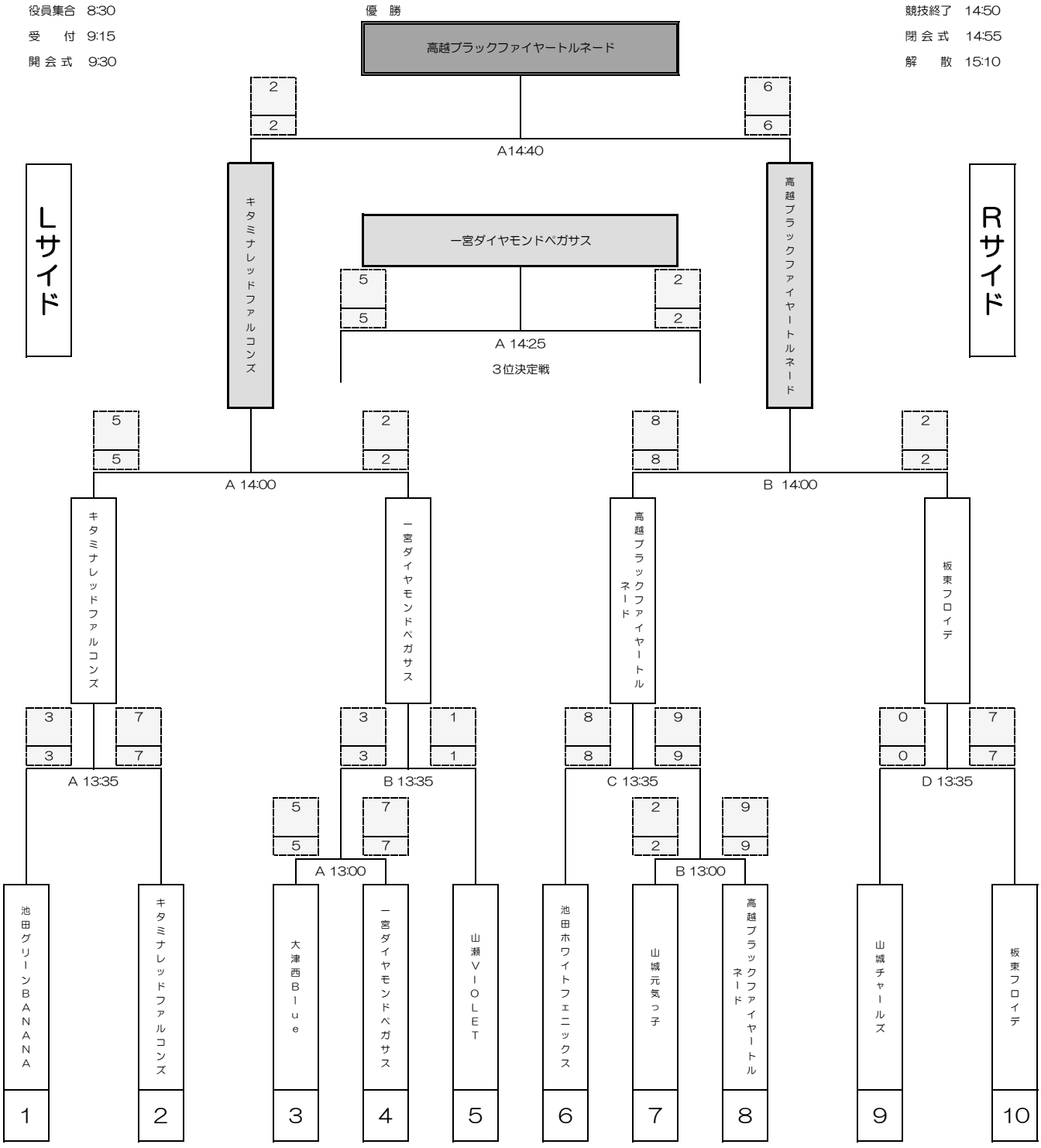
※Jリーグは予選リーグの試合数を４試合、Eリーグは２試合とする。他のリーグの試合数は3試合とする。

サントリーカップ　第15回 全国小学生タグラグビー選手権大会　徳島県予選大会　決勝トーナメント表

平成30年12月9日（日）徳島市球技場

役員集合　8:30
受　　付　9:15
開 会 式　9:30

競技終了　14:50
閉 会 式　14:55
解　　散　15:10



※平成31年1月12日　香川県での四国大会へ
　高越ブラックファイヤートルネード
　キタミナレッドファルコンズ
　一宮ダイヤモンドペガサス

サントリーカップ
第15回全国小学生タグラグビー選手権四国ブロック大会（結果）

1　日 時　　平成３１年１月１２日(土)
2　会 場　　香川県丸亀市 総合運動公園球技場
3　参加チーム
香川県　附属ブラックシューズ１，オレンジ７，多肥レッドスターズ
徳島県　高越ブラックファイヤートルネード､キタミナレッドファルコンズ､一宮ダイヤモンドペガサス
高知県　いのバッツ，南国ＢＬＵＥＳＫＹ　ＲＳ，いのブレイブス
愛媛県　北条スーパースターズ，東温スピードジュニア，東雲グレートファイターズ

☆予選リーグ（７分ハーフ）

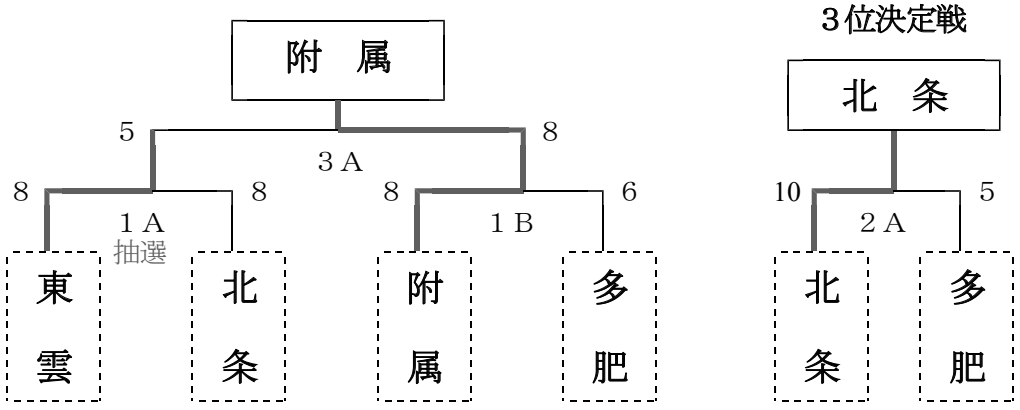
Aプール	附属ブラックシューズ1	東温スピード	いのブレイブス	勝　敗	順位
①附属ブラックシューズ1		９－２	１１－０	２勝０敗	1
②東温スピード	２－９		１０－３	１勝１敗	2
③いのブレイブス	０－１１	３－１０		０勝２敗	3

Bプール	高越ブラック	オレンジ7	東雲グレート	勝　敗	順位
④高越ブラック		５－２	５－６	１勝１敗	2
⑤オレンジ7	２－５		０－８	０勝２敗	3
⑥東雲グレート	６－５	８－０		２勝０敗	1

Cプール	い の バッツ	キタミナレッド	多肥レッド	勝　敗	順位
⑦い の バッツ		６－７	３－６	０勝２敗	3
⑧キタミナレッド	７－６		４－５	１勝１敗	2
⑨多肥レッド	６－３	５－４		２勝０敗	1

Dプール	北条スーパースターズ	南国BLUESKY	一宮ダイヤモンド	勝　敗	順位
⑩北条スーパースターズ		６－３	５－４	２勝０敗	1
⑪南国BLUESKY	３－６		０－９	０勝２敗	3
⑫一宮ダイヤモンド	４－５	９－０		１勝１敗	2

☆決勝トーナメント（７分ハーフ）
（予選リーグ終了後抽選）



優　勝　　附属ブラックシューズ１(香川)
準優勝　　東雲グレートファイターズ（愛媛）
第３位　　北条スーパースターズ（愛媛）

平成30年度競技記録（女子の部）

女子委員長　山中 一剛

◆第 21 回架橋記念ラグビーフットボールカーニバル

平成30年5月3日（木） 四国大学しらさぎ球技場

四国大学	10－12	神戸RYUKA	石見智翠館高校Ａ	10－33	神戸甲北高校
石見智翠館高校Ｂ	40－ 7	大阪緑涼高校	京都成章高校Ａ	44－ 0	鳴門渦潮高校
石見智翠館高校Ａ	25－ 0	神戸RYUKA	神戸甲北高校	7－24	大阪緑涼高校
石見智翠館高校Ｂ	29－ 0	京都成章高校Ｂ	愛媛ラガールＡ	29－10	京都精華学園高校
愛媛ラガールＢ	0－32	神戸甲北高校	京都成章高校Ａ	27－26	PEARLS Jr.
四国大学	15－19	福井県女子選抜	アタッターレ岡山	5－36	神戸RYUKA
京都成章高校Ｂ	24－ 5	京都精華学園高校	石見智翠館高校Ａ	10－21	PEARLS Jr.
愛媛ラガールＡ	0－21	神戸甲北高校	福井県女子選抜	24－ 5	アタッターレ岡山
愛媛ラガールＢ	0－43	鳴門渦潮高校	石見智翠館高校Ｂ	45－ 5	PEARLS Jr.
愛媛ラガールＡ	5－25	アタッターレ岡山	福井県女子選抜	14－38	鳴門渦潮高校
愛媛ラガールＢ	15－24	PEARLS Jr.			

平成30年5月4日（金）鳴門渦潮高校撫養グランド

神戸甲北高校	0－51	PEARLS Jr	福井県女子選抜	26－ 7	アタッターレ岡山
石見智翠館高校Ａ	5－24	京都成章高校Ａ	京都精華学園高校	0－26	PEARLS Jr.
石見智翠館高校Ｂ	29－ 0	神戸RYUKA	愛媛ラガールＡ	17－ 5	京都成章高校Ｂ
福井県女子選抜	17－ 5	神戸甲北高校	アタッターレ岡山	29－ 5	PEARLS Jr.
愛媛ラガールＢ	0－43	京都精華学園高校	鳴門渦潮高校	5－38	PEARLS Jr.
石見智翠館高校Ａ	17－17	福井県女子選抜	アタッターレ岡山	0－25	神戸RYUKA
神戸甲北高校	22－ 0	京都精華学園高校	石見智翠館高校Ｂ	46－ 0	愛媛ラガールＡ
石見智翠館高校Ａ	5－19	鳴門渦潮高校	愛媛ラガールＢ	0－37	神戸RYUKA
石見智翠館高校Ｂ	37－12	神戸甲北高校	愛媛ラガールＡ	0－44	鳴門渦潮高校
愛媛ラガールＢ	0－60	鳴門渦潮高校			

◆第６回　久万高原セブンズラグビーフットボール大会

1 日　　時　平成30年 7月15日(日)・16日(月)
2 会　　場　愛媛県上浮穴郡久万高原町 久万高原ラグビー場
3 結　　果

第1日目・2日目 予選リーグ

Ａプール

愛媛Ａ	20	5－7 / 15－0	7	愛媛Ｂ
愛媛Ａ	0	0－10 / 0－10	20	四国大学
愛媛Ａ	0	0－21 / 0－24	45	岡山県
愛媛Ｂ	5	5－7 / 0－12	19	四国大学
愛媛Ｂ	0	0－24 / 0－17	41	岡山県
四国大学	41	26－0 / 15－0	0	岡山県

第1位	四国大学女子7人制ラグビー部
第2位	アタッターレ岡山
第3位	愛媛ラガールA
第4位	愛媛ラガールB

Ｂプール

広島県	12	7－19 / 5－17	36	Ｒｙｕｋａ
広島県	0	0－12 / 0－19	31	高知県
広島県	33	19－0 / 14－0	0	愛媛Ｃ
Ｒｙｕｋａ	54	35－0 / 19－0	0	高知県
Ｒｙｕｋａ	29	17－7 / 12－0	7	愛媛Ｃ
高知県	27	17－7 / 10－0	7	愛媛Ｃ

第1位	神戸RYUKA
第2位	高知レッドコーラル
第3位	広島女子
第4位	愛媛ラガールC

第2日 順位決定戦

5位・6位・7位・8位決定戦

愛媛Ｂ	10	5－19 / 5－7	26	愛媛Ｃ
愛媛Ａ	25	10－0 / 15－0	0	広島女子

第5位	愛媛ラガールA
第6位	広島女子
第7位	愛媛ラガールC
第8位	愛媛ラガールB

3位・4位決定戦

岡山県	0	0－0 / 0－0	0	高知県

第3位	アタッターレ岡山
第4位	高知レッドコーラル

決勝戦

四国大学	17	5－0 / 12－0	0	神戸Ryuka

第1位	四国大学女子7人制ラグビー部
第2位	神戸Ryuka

◆国民体育大会 第39回四国ブロック大会ラグビーフットボール競技（女子の部）

平成30年8月26日（日）高知県立春野総合運動公園ラグビー場

1回戦　　徳島県　52－ 0　香川県

決　勝　　徳島県　34－ 0　愛媛県　　【優勝】徳島県

◆第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」ラグビーフットボール競技（女子の部）

平成30年10月3日（水）・4日（木）福井県小浜市総合運動場

予選リーグ　徳島県　5－12　埼玉県　　徳島県　10－31　山口県　（0勝2敗）

順位決定戦　徳島県　19－ 0　新潟県

決勝トーナメント【1回戦】徳島県　10－29　山口県　【敗者戦】徳島県　5–27　三重県

結果《7位入賞》

◆太陽生命ウィメンズセブンズ2018入替戦　　2018.11.18 日本体育大学健志台キャンパス

No	K·O	プール	対戦		
1	9：30	プールA	千葉ペガサス	22－ 0	四国大学女子7人制ラグビー部
2	9：50	プールB	自衛隊体育学校　PTS	19－ 7	名古屋レディースR.F.C
3	10：50	プールA	横河武蔵野Artemi-StArs	27－ 7	四国大学女子7人制ラグビー部
4	11：10	プールB	HAnAzono Hollyhocks	15－17	名古屋レディースR.F.C
5	12：10	プールA	千葉ペガサス	0－12	横河武蔵野Artemi-StArs
6	12：30	プールB	自衛隊体育学校　PTS	46－ 0	HAnAzono Hollyhocks
7	13：50	準決勝1	横河武蔵野Artemi-StArs （プールA　1位）	35－14	名古屋レディースR.F.C （プールB　2位）
8	14：10	準決勝2	千葉ペガサス （プールA　2位）	5－28	自衛隊体育学校　PTS （プールB　1位）
9	14：30	5位決定戦	四国大学女子7人制ラグビー部 （プールA　3位）	10－15	HAnAzono Hollyhocks （プールB　3位）
10	15：30	3位決定戦	名古屋レディースR.F.C （準決勝1敗者）	0－38	千葉ペガサス （準決勝2敗者）
11	15：50	決勝戦	横河武蔵野Artemi-StArs （準決勝1勝者）	10－24	自衛隊体育学校　PTS （準決勝2勝者）

※入替戦の結果、自衛隊体育学校PTSと横河武蔵野Artemi-StArsが来年度の「ウィメンズセブンズシリーズ2019」にコアチームとして参加することが決定。

◆徳島ラガールフェスティバル2018

■2018年12月14日（土）四国大学しらさぎ球技場

高知・フェアリーズ	20－12	神戸甲北高校
鳴門渦潮高校	33－ 0	アタッターレ岡山
Seven thrush fukui	38－ 5	京都精華学園高校
PEARLS（A）	17－28	京都成章高校
PEARLS（B）	19－12	アタッターレ岡山
京都精華学園高校	39－ 7	神戸甲北高校
京都成章高校	41－ 0	アタッターレ岡山
Seven thrush fukui	34－ 5	神戸甲北高校
PEARLS（A）	15－24	石見智翠館高校
PEARLS（B）	0－31	鳴門渦潮高校
高知・フェアリーズ	19－29	京都精華学園高校
京都成章高校	29－10	石見智翠館高校
高知・フェアリーズ	5－31	Seven thrush fukui
PEARLS（A）	29－14	鳴門渦潮高校
PEARLS（B）	5－29	石見智翠館高校
四国大イーグレッツJr.	21－19	石見智翠館高校

■2018年12月16日（日）四国大学しらさぎ球技場

京都成章高校	19－ 5	石見智翠館高校
高知・フェアリーズ	5－33	PEARLS（B）
Seven thrush fukui	36－10	京都精華学園高校
京都成章高校	17－12	PEARLS（A）
鳴門渦潮高校	20－17	石見智翠館高校
四国大イーグレッツJr.	24－17	京都成章高校
高知・フェアリーズ	10－22	京都精華学園高校
鳴門渦潮高校	0－32	京都成章高校
Seven thrush fukui	22－10	京都精華学園高校
PEARLS（A）	17－26	鳴門渦潮高校
PEARLS（B）	0－27	京都成章高校
鳴門渦潮高校	0－26	四国大イーグレッツJr.

レフリー委員会より

レフリー委員長　元木　栄作

今年度についても大きなルールについては改正点はないということになります。基本的に昨年度の注意点を踏襲することになります。例年のように夏の合宿等で、情報を収集していただき、９月にレフリーとコーチの合同研修会を実施しました。また、5月3日～ 5日の3日間関西協会Ｂ級レフリー認定講習会を開催しました。

さらに、8月には四国のレフリーでは初めて徳島科学技術高校の佐々木裕司先生が、日本協会公認レフリーとして選出されました。今年度については、8月、長野県・菅平高原で開催された日本協会公認レフリー研修会に参加、シーズン開幕と同時にトップリーグカップ戦、トップチャレンジリーグ戦、関西大学Aリーグ、大学選手権をレフリーとして、また、日本協会主催試合のアシスタントレフリーとして毎週のように担当した。さらには、全国高校大会の準々決勝では大阪桐蔭対報徳学園のレフリーを担当しました。さらなる目的に向かって、今後一層のご活躍を期待いたします。

さらに小松島西高校勝浦校の米倉陽平先生が5月2日から5日まで奈良県天理市で開催された関西ラグビーフットボール協会レフリー研修会に参加し関西協会ディベロプメントスコッド（KDS）に選ばれ、関西大学リーグなどの主要試合、10月に開催された福井国体にレフリー、アシスタントレフリーとして招聘されました。また、県外研修として第98回全国高校大会の12月28日公募アシスタントレフリーとして、翌日の御所実業でのレフリー研修会にも吉田副委員長とともに参加し研修しました。12月15日・16日の2日間に開催された徳島ラガールフェスティバル2018には関西協会の女子レフリーを招き、女子レフリー研修会を昨年同様開催しました。今後も交流研修会などを開催し、さらなる研鑽に努めていきたいと思います。

平成30年度事業報告

○関西協会B級レフリー認定講習会	5月 3日～ 5日	徳島市
○四国地区レフリー研修会	6月15日～ 17日	徳島市
○関西レフリー委員長会議	6月16日	徳島市
○ルール伝達及び安全対策講習会	7月 8日	徳島市
○県外研修会（国体ブロック大会）	8月25日・26日	高知県
○県内研修会（兼ﾚﾌﾘｰ・ｺｰﾁ合同研修会）	9月22日	徳島市
○県内研修会（全国高校大会県予選決勝）	11月17日	徳島市
○県内研修会（徳島ラガールフェスティバル）	12月15日・16日	徳島市
○県外研修会（全国高校大会1回戦他）	12月27日～30日	大阪府他

夢未来育成委員会

第8回徳島県タグラグビー大会

夢未来育成委員会　猪上 翔太

OUR　RUGBY夢未来育成委員会の事業として、本年もタグラグビー大会を開催しました。今回は県内男女合わせて24チームの参加があり、6歳から60歳を越える200名程度の選手が集い開催することができました。世代を超えて、楕円級を通じて交流を深めることとなりました。男子では、小学生や中学生のチームも決勝トーナメントに顔を出し、大学生チームや社会人チームをおさえて勝利したり、女子の部では、3試合で引き分け、6試合で1点差のゲームがあり、大会回数を重ねるごとに年齢問わず、競技のレベルアップが図られていました。

また、他競技に所属している選手も他競技の特性を活かし、活躍している姿もあり、ラグビーの普及や地域間交流の一翼を担ったように思います。今後、県外からの招待チームや、他競技団体にも声をかけ、交流の輪を広げ、人と地域とがタグラグビー競技を通じて繋がっていけたらと考えています。

結びに、当日は保護者・指導者の方から駐車場の整理やさなざまな運営にご尽力いただいた事に感謝申し上げます。特に、グラウンドメイクからレフリー・得点係・低学年選手の誘導など、大会運営全般を手伝ってくれた鳴門教育大学ラグビー部の皆様に感謝申し上げます。

第８回タグラグビー参加チーム一覧

【女子の部】
1　高越ファイヤートルネードJ
2　リンゴ　イチゴ　リス　チーター　レインボー　ユニコーン　ドラゴンズ
3　ザ・こーつ　ママさんズ
4　JK　with　SHO-WA
5　一宮ダイヤモンドペガサス（一宮小学校）
6　一宮ドリームペガサス（一宮小学校）
7　市高マネージャー
8　鳴門渦潮女子A
9　鳴門渦潮女子B
10　石井タグラグビー教室　グリーン
11　石井タグラグビー教室　ブルー
12　脇町ラグビースクール

【男子の部】
1　コスモスクラブ
2　鳴門高校ラグビー部A
3　鳴門高校ラグビー部B
4　徳島市立高校ラグビー部
5　鳴門RS　A
6　鳴門RS　B
7　富田中学校　A
8　富田中学校　B
9　脇町ラグビースクール　Jr
10　鳴門教育大学
11　チーム大会役員
12　ダークホース（徳島市立高校）

【女子の部】

グループＡ	高越ファイヤートルネード	JKwithSHO-WA	市高マネージャー	石井タグラグビー教室ブルー	勝敗	得失点	順位
高越ファイヤートルネード		①　２－２	⑩　１－１	⑯　４－０	１－０－２		２
JKwithSHO-WA			④　１－０	⑬　２－１	２－０－１		１
市高マネージャー				⑦　１－２	０－１－２		４
石井タグラグビー教室ブルー					１－２		３

グループＢ	ザ・こーつママさんズ	一宮ドリームペガサス	鳴門渦潮Ａ	鳴門渦潮Ｂ	勝敗	得失点	順位
ザ・こーつママさんズ		②　１－１	⑪　０－４	⑰　１－５	０－２－１	２－１０	３
一宮ドリームペガサス			⑤　０－４	⑭　１－５	０－２－１	２－１０	３
鳴門渦潮Ａ				⑧　３－０	３－０		１
鳴門渦潮Ｂ					２－１		２

グループＣ	一宮ダイヤモンドペガサス	リンゴイチゴリスチーターレインボーユニコーンドラゴンズ	脇町ラグビースクール	石井タグラグビー教室グリーン	勝敗	得失点	順位
一宮ダイヤモンドペガサス		③　０－１	⑫　２－１	⑱　４－０	２－１	６－２	２
リンゴイチゴリスチーターレインボーユニコーンドラゴンズ			⑥　３－１	⑮　４－０	２－１	７－２	１
脇町ラグビースクール				⑨　４－２	１－２		３
石井タグラグビー教室グリーン					０－３		４

【男子の部】

グループＡ	鳴門RS　A	富田中学校　A	脇町ラグビースクール	ダークホース	勝敗	得失点	順位
鳴門RS　A		①　２－４	⑩　４－１	⑯　３－１	２－１	９－６	2
富田中学校　A			④　５－１	⑬　３－２	２－１	10―７	1
脇町ラグビースクール				⑦　２－３	０－３		4
ダークホース					１－２		3

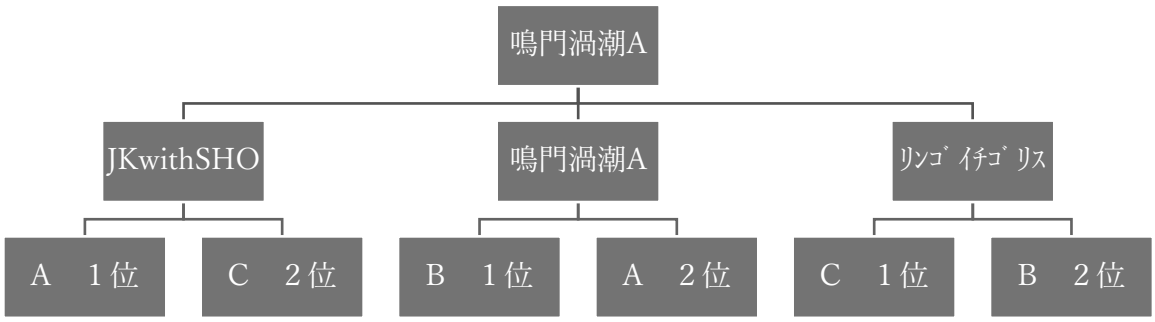
グループＢ	富田中学校　B	徳島市立高校ラグビー部	鳴門高校ラグビー部	コスモスクラブ	勝敗	得失点	順位
富田中学校　B		②　２－５	⑪　０－４	⑰　２－４	０－３	４－13	4
徳島市立高校ラグビー部			⑤　０－２	⑭　１－４	０－３	３―11	3
鳴門高校ラグビー部				⑧　２－３	３－０	２－９	2
コスモスクラブ					３－０	11―５	1

グループＣ	鳴門RS　B	鳴門高校ラグビー部	鳴門教育大学	チーム大会役員	勝敗	得失点	順位
鳴門RS　B		③　２－２	⑫　３－３	⑱　３－１	１－０―２		1
鳴門高校ラグビー部			⑥　２－４	⑮　２－３	０－２－１		4
鳴門教育大学				⑨　４－２	１－１－１		2
チーム大会役員					１－２		3

【女子の部】

決勝トーナメント

※２回戦については、３チームで抽選し、シード１チーム決定する。

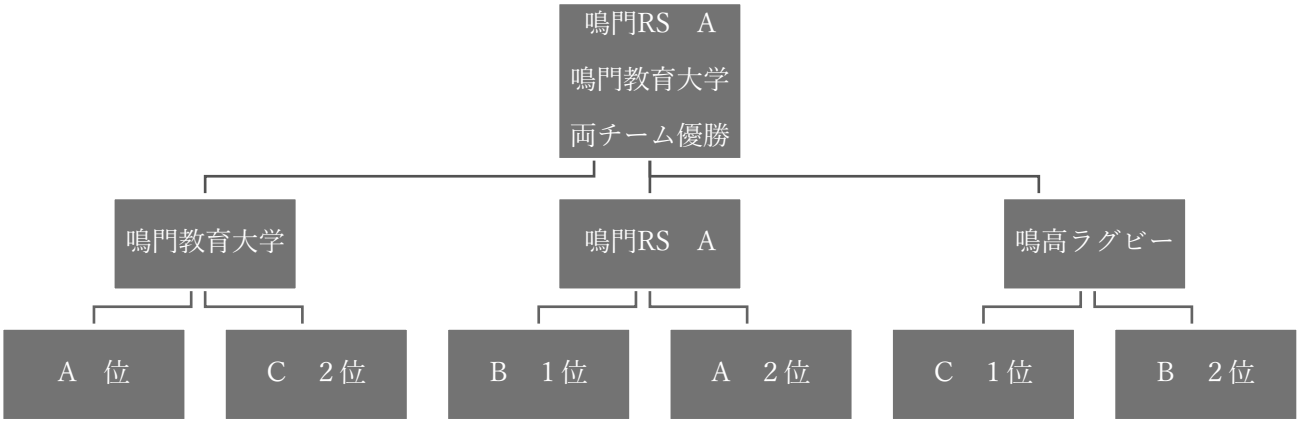


JKwithSHO　一宮ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ　鳴門渦潮 A　高越ﾌｧｲﾔｰ　ﾘﾝｺﾞｲﾁｺﾞﾘｽ　鳴門渦潮 B

【男子の部】

決勝トーナメント

※２回戦については、３チームで抽選し、シード１チーム決定する。



富田中学校 A　鳴門教育大学　ｺｽﾓｽｸﾗﾌﾞ　鳴門 RS　A　鳴門 RS　B　鳴高ﾗｸﾞﾋﾞｰ

○女子の部　優勝　鳴門渦潮高校 A

○男子の部　両チーム優勝　鳴門 RS A　鳴門教育大学

強化委員会

強化委員会報告

強化委員長　國方 正一

昨年度は愛媛国体ということもあり、徳島県のラグビー競技としては初めて成年男子・少年男子・女子の3種別揃って本国体に出場し、各種別健闘したが惜しくも入賞することはできなかった。今年の国体では、昨年のように3種別揃っての本国体出場はならなかったが、四国大学と鳴門渦潮高校の選手で編成された女子チームの活躍で、昨年逃した入賞を果たすことができた。

★国民体育大会第39回四国ブロック大会

（平成30年8月25日・26日、高知県春野総合運動公園球技場）

【少年男子】

台風接近により1回戦の日程を1日繰り下げて、8月25日（土）、26日（日）の2日連戦となった。全徳島は1回戦で全香川に45-0（前半24-0、後半21-0）で完封勝利し決勝戦に駒を進めた。決勝戦の対戦相手となった全高知は、6月の四国選手権Aブロック優勝の土佐塾高校を中心に、インパクトプレーヤーとして高知中央高校の留学生が加わったチームで、1回戦では全愛媛を57-10で圧倒した。

決勝戦は開始早々の前半2分、ゴール前ラックからマークしていた全高知No8にトライを奪われ、苦しい立ち上がりとなった。全徳島もFW・BK一体となった攻撃で再三チャンスを作ったが、全高知のNo8とWTB（11番）の強烈なタックルや、チーム一丸となった粘り強いディフェンスに阻まれトライにつながらなかった。その後も前半12分、16分、32分にトライを追加され、0-26で前半を折り返した。

後半は何としても先に得点しなければならない展開であったが、5分にトライを奪われ逆転は厳しい点差となった。全徳島は後半12分と27分にトライを返したが、14-45でブロック敗退となった。

これまでの四国ブロック大会では、徳島県チームが体格面で劣勢となることはほとんどなかったが、今後は体格の大きな選手への対策も必要であると感じた。また、高校の各チームにおいては、部員数がぎりぎりのチームが多く、強化のためには部員確保も課題となる。

【成年男子】

1回戦は全香川との対戦となり、開始20秒で先制されたが直後の前半1分にトライを返し7-7の同点となった。その後、前半4分に1トライを追加したが12-7と接戦で後半を迎えることとなった。後半は開始30秒でトライを奪いリードを12点に広げ、一気に突き放す展開になるかと思われたが追加点を奪えず、逆に後半6分トライ（ゴール成功）を奪われ再び5点差に詰め寄られた。しかし、試合終了間際に勝利を決定づけるトライを奪い、26-14で決勝戦に勝ち進んだ。

決勝戦は昨年の愛媛国体で準優勝の全愛媛で、1回戦も全高知に46-0で圧勝での決勝進出となった。全徳島は前半1分に先制され、その後も3分に追加点を奪われ苦しい展開となった。粘り強くディフェンスを繰り返したが、体格に勝る全愛媛を止めきれず、後半にも2トライを追加され0-28でブロック敗退となった。

成年の四国ブロックでは愛媛県が本国体でも上位の実力があり、今後、愛媛県を倒して四国ブロックを突破するためには、スピードとパワーを兼ね備えた若手選手の加入が必要不可欠であると感じた。

【女子】

昨年はメンバーのほとんどが高校生のチーム編成であったが、今年は四国大学のメンバーが5名加わり、昨年以上の戦力で四国ブロック大会に臨んだ。

1回戦は全香川に前後半それぞれ4トライ奪い、52-0の完封で決勝戦に進出した。決勝は昨年の愛媛国体で7位入賞の全愛媛となったが開始早々の1分、2分にトライを奪い、落ち着いた試合運びで前半を17-0で折り返した。後半も更に3トライを追加し、34-0で2試合連続の完封勝利で四国ブロック大会を突破し、福井国体の出場権を獲得した。

★福井しあわせ元気国体2018

（平成30年10月3日~4日、福井県小浜市総合運動場）

【予選リーグ】

昨年の愛媛国体3位で今国体でも準優勝した埼玉県と今国体4位入賞の山口県と強敵が揃うⅠブロックとなった。

埼玉県戦では前半0-5でリードされて折り返したが、後半1分に上島選手のトライで5-5の同点に追いつ大接戦となった。しかし、後半4分に勝ち越しのトライ（ゴール成功）を奪われ、5-12の惜敗となった。

続く山口県戦も前半からシーソーゲームとなった。前半1分に井上選手のトライで先制したが直後の2分にトライ（ゴール成功）を奪われ5-7と逆転される。しかし、5分に柴原選手のトライで再びリードするも、前半終了間際に再び逆転され前半を10-14で折り返した。後半は山口県ペースで試合が進み、3トライ1ゴールを奪われ10-31で敗戦となり、予選リーグ2敗で予選プール順位決定戦へ進むことになった。

予選プール順位決定戦では新潟県と対戦し、前半2分に斉藤選手のトライ（ゴール成功）で7-0とリードし、後半も松田選手、日下選手のトライでリードを広げ、19-0で国体初勝利となった。

【決勝トーナメント】

1回戦は予選リーグで敗れた山口県との再戦となった。予選リーグ同様、前半1分に柴原選手のトライで先制し、その後逆転されたが、前半6分に吉田選手のトライで再びリードして前半を折り返した。しかし、後半4トライ（2ゴール）を奪われ、10-29で敗れ、敗者復活戦に進むこととなった。

敗者復活戦は、三重県との対戦となった。三重県は社会人選手が多く、前半からリードを広げられ、0-17で前半を折り返し、後半3分に井上選手のトライで5点を返したが、5-27で敗れた。

今大会では5戦して1勝4敗の結果であったが、徳島県チームは決勝トーナメントに進んだことで、東四国国体以来25年ぶりの入賞となり、競技得点7.5点を獲得した。敗れた相手は今国体で準優勝、4位、5位といずれも入賞チームであり、これらのチームとも互角の戦いができ、来年度以降さらに上位入賞を期待したい。

安全対策委員会

安全対策委員長　松畠　弘地

県内各チームの責任者の方々およびラグビーに携わってくださっている皆様には、日頃から安全対策に関してご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

さて、平成31年度の安全推進講習会は、4月下旬に講習を行う予定です。今年度の安全対策講習会では、テーマ「ラグビーにおける安全対策の徹底とインテグリティの追求」になります。受講に際し、昨年度と同様にWRオンライン講習「Rugby　Ready」と「Concussion（脳震盪一般向け）」の2講習を再度受講していただき、その合格証をご持参ください。これからも安全対策を十分理解した指導者の継続的育成と、重症事故の撲滅とそのための啓発活動を積極的に行ってまいります。今年度同様、チーム登録に関わりますので、チームの関係者の方は必ず受講するようお願いいたします。

［脳震盪が疑われる場合は（2018年6月29日）　日本ラグビー協会からの通達］

脳振盪が疑われる場合は（脳振盪が疑われた場合に注意すべきこと）

初めの24時間まで、さらに48時間までで問題が起こりえるので、受傷した選手はその日は一人にしないこと。次の症状があればすぐに病院に連れて行く。

1. 頭痛が強くなる。
2. 眠気が強くなる、目覚めた状態でいられなくなる。
3. 周りにいる人や自分が今いる場所がわからなくなる。
4. 嘔吐を繰り返す。
5. いつもと違う、混乱している、イライラしている様子がみられる。
6. 痙攣が起こる。
7. 手足に力が入りにくくなる。
8. しっかり立てなくなる。話す言葉が不明瞭になる。
9. 首の痛みが続く、または増してくる。（特に小学生の場合）

プレーへの復帰

脳振盪ガイドラインの段階的復帰プロトコール (GRTP) に従ってください。

その他の注意点として

・飲酒は禁止。（症状が改善するまで禁止）
・医学的に必要とされている以外の薬は飲まないこと
・特に、睡眠薬は禁止。（意識障害と区別しにくくなるため）
・アスピリン、痛み止めなども使用しないこと。（出血を悪化させる事があるため）
・運転はしないこと。（運転は医師の許可を受けてから）

小学生の場合の注意点

小学生は低学年ほど自分の病態を示すことができず、対応が後手に回ることがあります。練習後も普段と比べてなにか気になることがあるようならばすぐに病院で受診してください。

・症状が悪化したら、コンピューターゲーム、インターネットゲーム、その他のテレビゲームなどはやらないようにすること。
・診察した医師が処方した薬以外は、たとえ痛み止めでも親の勝手な判断で薬を飲ませないこと。
・受傷後少なくとも 24 時間は休息をとる様にしますが、学校で勉強に集中できないようなら1-2日は休んで様子をみることも理にかなっています。但しこれ以上長引くとなると普通ではありません。

（以上 SCAT3、child SCAT3 より）

平成30年度　安全推進講習　関西協会ブロック伝達講習会 報告資料

１．日　時　平成30年2月4日（日）13時～15時　興国高等学校　8Fメインホール　実施

２．主　催　日本ラグビーフットボール協会・関西ラグビーフットボール協会

３．テーマ　「ラグビーにおける安全対策」

４．目　的

ラグビー競技においての重症事故を撲滅するため、日本協会に報告された事故を安全対策推進委員で分析し、そのデータ-に基づいた安全対策講習会を計画し、その内容を各都道府県協会所属チームのグランドレベルまで落とし込むため安全推進講習会を実施する。

５．内容及び時間

（１）挨拶（10分）

（２）安全対策に関する情報提供（30分）

（３）医務事項（20分）

（４）コーチング事項（30分）

（５）各都道県における安全推進講習会の開催・運用について

配布資料　「第１１回安全推進講習会運用マニュアル」について

① 実施計画の策定（チームで必ず実施し、安全推進を啓発する）

② 講義･実技等講習を計画に基づき実施するよう啓発

③ 都道県協会所属チームの責任者が安全推進の取組を徹底し、報告する

④ 受講できなかったチームに対応する三地域協会実施の臨時講習会等の紹介講習会

（６）質疑応答

普及育成委員会

平成30年度 普及育成委員会報告

普及育成委員長　堂前 孝司

今年は、2019ワールドカップ、2020東京オリンピックに向けてラグビーの普及発展の好機と捉え、このチャンスを生かすためにも指導者の資質向上が不可欠であると考えました。またこの度、小学生のミニラグビーの競技規則が低学年においてタグラグビーに改定されたのを機に、スクール生の獲得とラグビーファミリーの増加に全力を注いでいきます。

各スクールでは，毎年スクール生の獲得に向けて日々努力して頂いています。少子化の中でスクールを継続していくためには、一人でも多くのスクール生が必要です。単独でチーム編成ができないスクールが出ている中で、徳島県内のスクールはよく頑張っています。また、交流試合も各スクールでたくさん計画して頂き、子ども達は試合を経験する毎に上手になっています。練習だけでは理解できない場面も、試合の場を設定することによって理解が得られています。大会でも練習試合の成果が存分に発揮され、それぞれのカテゴリーで子ども達はすばらしい活躍をしています。四国大会では、低学年の部で、鳴門・脇町・徳島スクールが決勝トーナメントに進出し、優勝が徳島、3位に脇町が入りました。中学年の部では、鳴門スクールが優勝、3位が徳島でした。高学年の部では、残念ながら決勝トーナメントに進めず、県勢のヒーローズカップ連続出場が止まりました。

タグラグビーでは四国大会に、高越ブラック･キタミナレッド･一宮ダイヤモンドの3チームが出場し、予選リーグはよく健闘しましたが，全国の切符を手に入れるまでには至りませんでした。

1月28日（日）	第3回鳴門ラグビースクールフェスティバル（鳴門大塚パーク球技場）
2月 4日（日）	第10回ヒーローズカップ関西大会（ヤンマーフィルド長居） 徳島ラグビースクール
2月17日（土）	ラグビースクール指導者セミナー（奈良県天理市）
～ 18日（日）	5名参加
3月 4日（日）	第29回 近県小学生ラグビー交流大会 （愛媛県松山市北条スポーツセンター球技場･陸上競技場） 徳島・鳴門・脇町ラグビースクール参加
3月11日（日）	第20回徳島県ラグビースクール冬季大会 （貞光道の駅前河川敷グラウンド）　県内3スクールと高知スクールが参加
6月23日（土）	第12回関西ミニ・ラグビージャンボリー交流大会
～ 24日（日）	（兵庫県淡路市佐野運動公園）徳島ラグビースクール参加
8月 4日（土）	四国ラグビースクール協議会総会
～ 5日（日）	（高知県土佐町　おこぜハウス）　6名参加
9月 1日（土）	第5回四国小学生タグラグビー選抜大会 （愛媛県ビバ・スポルティアSAIJO） 高越R・高越Y・山瀬小タグの3チームが参加
9月 9日（日）	第4回赤穂杯鳴門市ラグビー祭　（鳴門渦潮高校撫養キャンパスグラウンド） 鳴門・徳島・脇町ラグビースクール参加
10月21日（日）	第12回 徳島県ミニ・ラグビー交流大会 （徳島市球技場）　徳島・鳴門・脇町・小松・神戸中央参加
10月27日（土）	ラグビーマガジンCUP関西ミニ・ラグビー交流大会2018 （大阪府堺市　J-GREEN堺 ）　徳島ラグビースクール参加
10月28日（日）	第30回 四国ラグビースクール大会　（愛媛県西条市　東予運動公園球技場） 鳴門・徳島・脇町スクール参加
12月 2日（日）	第6回近県ミニ・ラグビー交流大会 （徳島市球技場） 徳島・鳴門・脇町・神戸中央・西神戸参加
12月 9日（日）	第15回 全国小学生タグラグビー選手権大会徳島県予選 （徳島市球技場）　41チーム　参加
1月12日（土）	第15回 全国小学生タグラグビー選手権四国ブロック大会 （香川県丸亀総合運動公園球技場） 高越ブラック,キタミナレッド,一宮ダイヤモンドの3チームが出場

高専委員会

阿南高専ラグビーフットボール部活動休止のお知らせ

阿南高専ラグビー部顧問　一森 勇人

阿南高専ラグビー部は今年度をもって活動を休止することになりました。

最後の試合として四国地区高専総体ラグビーフットボール大会（2018年11月18日、阿南高専ラグビー場）に7人制で参加しました。弓削商船に0-35で敗退しましたが、最後の試合を楽しむことができました。

多くの方々に支えられてラグビー部は存続してきましたが、前向きに意志をもって活動を休止したいと思います。ありがとうございました。

高校委員会

高校委員会より

ラグビーフットボール専門委員長　天羽 誠二

平成30年度（2018）は、新人大会（2月）・春季大会（4月）・総合体育大会（6月）・全国大会予選（11月）全ての県内大会で、城東高校が優勝しました。城東高校が頭一つ突き出ていた印象です。

城東高校は10番、伊東汰歩君が司令塔として、他の選手を生かしテンポの良いゲーム運びで、得点を重ねました。今年は、他のチームの追随を許すことはありませんでした。また、四国新人大会では土佐塾高校（高知）を破り2年連続2回目の全国選抜大会出場を果たした試合も素晴らしいゲーム内容でした。全国選抜大会において札幌山の手高校（北海道）に僅差で敗戦しましたが全国の舞台で大きな可能性を掴むことができた大会となりました。是非、冬の全国高等学校体育大会（花園大会）でも、その闘志あふれるプレイで二回戦突破を達成してもらいたいと願います。

さて、今年の明るい話題としては、鳴門渦潮高校女子ラグビー部が3年ぶり2回目の優勝に輝きました。徳島県高等学校総体で試合が行えたことに大きな可能性を感じました。新人戦のエントリー数も10チームとなり、今後の各チーム、女子ラグビー、徳島選抜チームなどそれぞれの関係者の方々に期待をします。

1年間ご協力ありがとうございました。

中学生委員会より

中学生委員長　野田 雅資

昨年度のこの稿の最後に「2018年では、徳島、鳴門、脇町の3拠点の各現場を一層解放し、各スクール・学校関係者とジュニア保護者の方々とのバインドある有機的な連携を以て、貴重なジュニア層の普及育成に努めていきたい」と記しました。

2018年のトピックスの一つとして､村岡先生による呼び掛けで脇町にて交流会を12月に開催し、富田中学校としての試合実績の機会創出をはじめ、徳島県内各スクールおよび近県からも多くの賛同チームが参集いたしました。脇町スクール保護者、地元の方々や医師にも支えていただき、各新チームの走り出しの場を創っていただきました。

この交流会以前を振り返ってみても本年度ジュニア層は、保護者の方々の熱くて厚い助勢をベースに、指導者の側面支援スタイルも定着した環境下で、期待レベルの達成をみたと所見しています。選手間においては、キャプテンを軸とする活動体であることを一貫し、濃淡あれどメンバーがそれぞれの役割に気付きながら、その時々のチームと自身が設定した目標へのチャレンジを繰り返すことで、一定の層が形成できたのではないかと思います。

毎年この時期には、風物詩の如く中３生の自覚と体幹の成長角度の大きさに感心し、選手を取り巻くラグビーファミリーの一員としてラグビーのお蔭という念を抱かせてもらっています。彼らが次のステージに上がり、楕円球を通じてこれから出向いていく「社会での立ち方」を体感してほしいと願うところです。

方や、選手以外にあっても成長のための新陳代謝は必要で、適材に活躍いただく適所の開発も絶えず進めていくべきことと考えます。選手とファミリー、集まり散じて人は変われど仰ぐは同じき理想の光、でこの2019年一生に一度のラグビーイヤーに感動や刺激を享受しながら、持続的な活動への基盤作りに協業してまいりましょう。

広報委員会

広報委員長　松下 則之

ラグビーワールドカップ日本大会前年の今年度も、様々な広報活動を行いました。ジョージア事前キャンプ誘致活動PR事業については、今年度初めには、ほぼ実施事業は終えており、あとは決定の報を待つばかりとなっていましたが、無事実施の調印へと至りホッとしているところです。

年が明けまして、いよいよワールドカップイヤーとなりました。ジョージアの事前キャンプの情宣活動や、当協会としてのキャンプサポートについても引き続きご協力をお願いいたします。

○ 2月下旬　　OUR RUGBY発刊
○ 4月27日　　報道機関情報交換会
○ 9月17日　　徳島スポーツフェスティバル ブース出展（徳島青年会議所主催）
○10月28日　　全国高校大会（花園）県予選メンバー表の発行･配布（創生クラブ実施事業）
○12月29日・31日　全国高校大会（花園）城東高校の試合へカメラマン派遣

［徳島スポーツフェスティバル］

［全国高校大会（花園）県予選メンバー表］

規律委員会

FakeでなくFair!

規律副委員長　中田 寛志

先日、トップリーグのレフリー反省会でゲーム中のファウルプレイが激減してきたことが話題になったらしい。大変喜ばしいことで、ラグビーの理念がチームや個々の選手に浸透してきていることやレフリーがハイタックル等のコンタクト時の危険なプレイに厳しく対応してきたことなどが話に出ていたようだ。本県でも、何年か前までは、ファウルプレイや不行跡な行為、観客までがレフリーを批判したりするゲームもあった。本県独自の「徳島ラグビー宣言」や指導者・選手・観客の個々の意識向上もあり、今は、あらゆる所でフェアプレイに終始し、レフリーに判定を委ね、勝っても負けてもノーサイドで互いを称えている姿がある。県内で、初めてラグビーを見る人に好印象を持たれていることにも表れている。指導者や選手がグラウンドの内外問わずラグビー精神を体現していることに敬意を表し、これからも永遠に継続してほしいと思う。

世間に目を向けると、隣国との真実と正義が通じない外交問題、ウェブやSNSを利用したフェイクニュース、セクハラ・パワハラ、猟奇殺人など、虚偽や虚構にあふれた情報の中で、真実が見えにくい日常が続いている。だからこそ、ラグビー界はフェアであり、スポーツマンシップの備わった人材を育成しなければならないと強く思う。ラグビーに関わる時だけでなく、社会でもラグビー精神のある社会人でなければならない。あらゆる場面で、フェアで勇気と思いやりのある人であってほしいと願うのは、ラグビー関係者一同の思いでもある。

さて、ここで、N大アメフト部の危険なタックル問題に、あえて一言述べたい。背後からノーボールタックルをしたA君、あなたは、苦悩の末、記者会見に出てきて周知にさらされても、自分らしく自分の意見を言ったと思う。監督、コーチらの保身と品位のなさは言うに及ばないが、卑怯な行為に至ったのはA君であり、B君は、瀕死の重傷事故になっていたかもしれないことは事実である。あの状況でもA君は、自分で監督の指示（命令）に従わない選択肢はあったわけだから、そこはしっかり受け止めていると思う。これからのA君は、失敗と挫折からの反省と勇気により人間的に成長していく。Fake（偽）のない潔い判断と行動をとったからきっとやり直せる。Fair play（公正な行い）を大事にする人として活躍していることを願っている。

ただ、あの時、あの瞬間、KG大の部員で見ていた者や肌で危険を感じた者はいなかったのだろうか。仲間が、そんな危険な状況に追い込まれて、その時に行動を起こさないことに、違和感を覚えたのは自分だけだろうか。ラグビーでは、それはないと思う。今は昔、ラグビーのラフプレイの中で味方が危険なことをされた時、味方のために殴りかかっていった仲間を思い出しながら考えた。そんな時は、暴力を振るえとは言わない。「味方を守れ」「詰め寄れ」そして、ぎりぎりまで顔を寄せて「守れ」。悪い行為は悪い。しかし、何かを本気で伝えなければならない時は、タイミングと方法を考えた行動は必要である。本当は、あのタックルの後、映像にはならなかった何かがあったかも知れないと思いたい。もし、なかったのなら、B君はどんな思いでいたのだろう。そこには乾いた空気が流れていた気がする。そう思うのは、昭和の人間の古い偏った想像かも知れないが。

平成も終わろうとしているこの時期に、物事はいろいろな視点で見て考えるきっかけになればと思い、ご批判を覚悟で書いたことにお許しを。

徳島ラグビースクールだより

心も体も強くしてくれた　徳島ラグビースクールでの6年間

徳島ラグビースクール　森本あゆみ

息子は小さい時から喘息があり、毎年、何回か入院するほどでした。そんな息子を小学生になったらすぐにお義父さんがラグビースクールに連れて行きました。主人やお義父さんがラグビーをしていたのは知っていましたが、私には興味がなく、喘息もあるしラグビーをしなくてもと思っていました。でも、河川敷に練習に行くとすぐに友達もでき、楽しそうにボールを持って走っていたので嫌がったら辞めたらいいと思い入部させることにしました。

低学年の頃は「次は僕がボール持って走る」とボールの取り合いをしたり、ぶつかって泣いてコーチに撫でてもらっていたり、自分を全て出して、ルールも分からないままにラグビーを楽しんでいました。

そんな時、あるコーチが「この子達が一つのチームになって本当にラグビーをしだした時にはすごく感動するよ」と話してくれたことを覚えています。その時は深く思っていませんでしたが、中学年、高学年となり家でもラグビーの話をしたり、暇があったらボールを触ったり、動画を観たり、知らない間に私も息子もラグビーに夢中になっていました。そして、あんなに小さかった仲間たちが大きくなり、声をかけあって、コーチ達もみんなで一緒に喜んだり涙を流したりしているのを見て、「チームになる」の意味が理解でき、本当のチームになった事を感じ、感動で涙がでました。

ラグビースクールで息子は体も大きくなり、喘息もほぼなくなって、心も成長させてもらい、仲間もできました。

ミニラグビーもあと少しですが、全力で徳島ラグビースクール、息子を応援し、これからもラグビーと共に成長してくれたらと思います。ラグビーと出会えて本当によかった。

最後になりましたがラグビースクールに連れて行ってくれたお義父さん、徳島ラグビースクールの事務局、コーチ、保護者の方々、仲間たちに感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願いします。

徳島ラグビースクールだより

キャプテンとして

徳島ラグビースクールジュニア　主将　坂東 立基

私がラグビーを始めて今年で10年目になる。兄が私より先にラグビーをしていて、私も父親に誘われてラグビーを始めた。初めてグラウンドに行ったときはとても緊張したことを覚えている。

中学三年生の時、私はキャプテンになった。私は一年間チームを引っ張っていく人間として自分に何ができるかを考えた。そして、私は練習を一番頑張るようにした。一番先に動き、一番声を出すことは、常に意識するようにしていた。また、練習以外でもラグビーのことを考える時間が増えた。今のチームの課題、そしてそれをどうやって克服していくのかなど、様々なことを考えるようになった。そうすることで自分自身のプレーも一年間で成長できた。

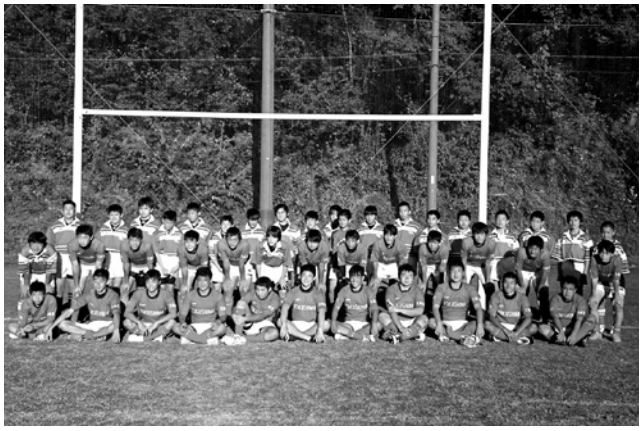
徳島のラグビー人口は少なく、いろいろな所から仲間が集まらないと、練習や試合をすることができない。また、このような状況で全国のチームに勝つことは難しい。しかし、今年のチームには、体の大きい選手や足の速い選手がいて、全国のチームに勝つことができるポテンシャルがあった。そして夏、関西大会に出場が決まった。この大会で勝つことはチームの大きな目標の一つだった。だが、私たちは関西大会で勝つことができなかった。試合に勝つポテンシャルはあったはずだが、勝つことができない。全国で勝つ難しさと、自分のキャプテン力のなさを痛感した。

引退して客観的に自分のラグビーを見られるようになった。私はもっとチームメイトとチーム作りのためのコミュニケーションをとった方がよかった。キャプテンは一人でチームをまとめる役ではなく、チームをまとめるために仲間と相談し、仲間を頼る役だということが分かった。今年はキャプテンをして、ラグビー人生のなかで一番悔しい思いをした年だ。試合で思うようにプレーができなかった時や、大会で勝てなかった時、また、最後の試合を足首のけがで出場できなかったことが一番悔しかった。しかし、そのぶん嬉しい思いもたくさんした。試合や大会で勝てたときはもちろん、チームとして練習してきたことが試合で出来たときは、本当にうれしかった。もうあの12人で試合できないと思うととても悲しい。しかし、高校でもみんなラグビーを続けると言っている。試合で対戦することや、徳島県選抜としてみんなと試合に出るのが今から楽しみだ。

最後に、これまでラグビーを続けてこられたのは、家族のおかげだ。ラグビーが上達することができたのは、監督やコーチのおかげだ。きつい練習を乗り越えられたのは、仲間のおかげだ。私はたくさんの人に支えられてラグビーができている。だからこれからも感謝の気持ちを忘れずラグビーを続けていきたい。

［徳島ラグビースクールジュニアおよび徳島県選抜　成績］

○第14回四国中央市長杯ラグビー大会　第三位
○第39回関西中学生ラグビー大会四国予選　優勝
○第39回関西中学生ラグビー大会Bグループ　第８位
○第22回中国四国ジュニアラグビー大会　準優勝
○第24回全国ジュニアラグビーフットボール大会四国予選　準優勝



脇町ラグビースクールだより

『保護者から指導者へ』

脇町ラグビースクール　折目 真太郎

僕がミニラグビーに出会ったのは5年前長男が始めたのがきっかけで現在は1男2女がラグビーをしている。当時存在は知っていたが無関心で我が子にはサッカーを勧めたのを覚えている。自身が経験者であり練習や試合に参加しては罵声を浴びせ経験論から理想を押し付ける事が多く、愚かな保護者のお手本であったと思う。

しかし一人の指導者との出会いが転機となった。その人の指導で選手が楽しくラグビーを行い躍動するプレーをするようになったのを目の当たりにし当時の僕には衝撃的であった。僕はその人と言葉を交わすようになり指導理念等も含め多くの事を教えていただき指導者として歩もうと思うようになり、資格の取得や指導に関する勉強に時間を使えるようになった。今はその人の熱意のおかげでもう一度ラグビーをしようと思うようになった感謝の気持ちと、ハメられた感でいっぱいである。

こうして始まった指導者として僕が最初に目を向けたのは「人間性の構築」をラグビー競技を通じて学ぼうと取り組んだ。まず「挨拶」。挨拶はコミュニケーションツールの基本で歩きながらではなく立ち止まって一礼までを挨拶とし、道具の扱い方や整理整頓、使う前より綺麗にして返し靴はきちんと並べる、人の話は目を見て聴くなど当たり前のことが当たり前にできるように声をかけていった。即座に習得までは至らないが、ラグビー上達のヒントが多く隠れておりラグビーが上達する事より価値があり数ある競技共通の魅力だと思う。また少年期における試合や大会の成績にこだわらなくなり、保護者の皆様へは成績より我が子が出来なかったことが出来るようになったプレーに一喜一憂し成長を楽しんでほしいと伝えた。

少年期における結果が今後の選手生活に何の影響があるのだろうか？「勝たないと面白くない」確かにそうだ、勝敗に楽しさを見出すことも楽しみ方であり親子ともに熱くなれる競技の良き部分である。

しかし、この「勝つ楽しみ」は曲者だと僕は思う、ミニ・ジュニアラグビーで勝利に近づく方法はいくつかあり対戦相手やチームの戦力に合わせたゲームマネジメントを行い「徹底」すれば勝つ確率がぐんと上がる。ミニラグビーに関しては発達段階の違いが勝敗に直結しやすく競技規則上少ないフェイズで得点が可能で戦術にハメれば簡単に得点でき勝利しやすいが、勝敗にこだわるあまり徹底しすぎると本来少年期に習得しなくてはいけないスキル・テクニックや心の成長が不足する可能性がある。

競技で勝つことは悪い事ではないが勝ちにこだわった指導を行った時、そこに選手の自主性や判断はあるのだろうか？少年期にそんな事をして選手は楽しいのだろうか？僕はそんな指導で得た勝利や栄光に何の魅力も感じない、勝敗より「どう戦ったか」という内容を重要視したい、試合では日々の練習で得た力を仲間と協力しノーサイドまで力を出し切ることが大切だと思うからである。出し切っているからこそ自分に不足しているスキル・テクニックが課題として現れ競技に対する喜びや悔しさ仲間の大切さが理解でき選手の「心・技・体」の成長を助長し、今、選手たちが得られる物の中で真に価値のあるものになると思う。

僕はミニ、ジュニア期でラグビーにピリオドを打とうと思っている選手に栄光という花は持たせてやれないだろうが「早熟」や「バーンアウト」することほど残念なことはないと思うのであえて未成熟な部分を残し、少年期で得た物を糧とし青年期で大きな成長をしてもらいたい。

これからも選手たちが次のステージでラグビーを続けてくれることが最大の喜びではあるが他のスポーツに関わったとしてもラグビーから学んだ事をベースに良き指導者に巡り合い、育成⇒強化され手にしたい栄光を手に入れてもらいたいと思う。

今、僕は指導者として生活や時間に余裕ができた時にまたラグビーに関わりたいと思える選手の育成、次のステージで「勝負したい」と思える選手の育成やラグビーの魅力を伝えることが使命だと感じている。

人として、ラガーマンとしてまだまだ成長させていただける場を与えてくれている選手、関係者、保護者の皆様に感謝しており、今後も大切な時間を共有させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

鳴門ラグビースクールだより

ラグビーが教えてくれたこと

鳴門ラグビースクール　主将　佐藤 晃羽

私は、「ラグビー」というスポーツを鳴門ラグビースクールに所属するまで知りませんでした。2年生になる前、父に「ラグビーの体験に行ってみる？」と聞かれ、私はすぐに「行きたい。」と答えました。体験に行く日、私は少し緊張していました。しかし、チームのみんなが優しく迎えてくれて、コーチも温かくわかりやすく指導してくれたのを覚えています。とてもワクワクして「楽しいな。頑張ってみよう。」という気持ちになりました。その日をきっかけに、私は鳴門ラグビースクールに所属しました。

私が鳴門ラグビースクールに所属して、一番大変だった学年は6年生です。6年生の4月、主将が発表され、私が選ばれました。私はとてもびっくりして、喜びと不安の半々でした。でも、主将はとてもやりがいのある仕事だと思い、頑張ろうと心に決めました。朝、練習の準備をし、時間になればスクール生みんなを集合させて体操をします。そして、各カテゴリーに分かれて練習が始まります。高学年チームはもめごとがよくあり、コーチに度々叱られました。私は何をやっているのか分からなくなり、「主将を辞めたい。」と思うこともありました。でも、「今、私が辞めたら、みんなに迷惑がかかる。自分が苦しいからといって、鳴門ラグビースクール全体に迷惑をかけるわけにはいかない。」と思い、頑張って続けました。今になって、主将を辞めなくてよかったと思います。主将になったおかげで自分自身が強くなれたからです。

卒業まで後、2カ月。仲間とともにラグビーを楽しく続けていきたいです。そして、笑顔で卒業したいです。

友惑クラブだより

徳島友惑ラグビークラブ　主務　加藤 陽

我々「徳島友惑ラグビークラブ」は、昨年（2018年）ついに創立50周年を迎えました。これは徳島県協会はもとより、県内各チーム、四国をはじめとする県外の各惑クラブの皆様方のお陰様と只々感謝申し上げるばかりです。特に、今般、50周年記念誌を編纂するにあたり、手元に昔の記録等が無く困っていましたが、「徳島県のラグビー～ 40年のあゆみ～」「徳島県ラグビーフットボール60年史」の県協会記念誌と県協会機関誌「OUR RUGBY」に大いに助けられ完成することが出来ました。「徳島県のラグビー～ 30年のあゆみ～」も含め、昭和4年に旧制脇町中学校でラグビーが徳島で始まって以来の記録が残っている徳島県協会は、本当に素晴らしい協会だと改めて感激した次第です。

さて、我々の2018年の活動についてですが、創立50周年を迎え、だいぶ充実したものになって参りました。日曜日の11時から吉野川南岸グラウンドで行っている練習は、悪天候とか県外での交流戦がある場合などを除き、毎週実施することが出来ました。

我々が主催している「徳島友惑ラグビー交流会」（四国・近畿・中国の9つの惑クラブとの交流戦）は第7回目を、「シニア惑交流会」（四国・兵庫・中国の60歳以上のラガーの交流戦）は第4回目を今年も継続して実施することが出来ました。

毎回参加している「ねんりんピック」や久々に実施した東京遠征（東京・不惑倶楽部交流戦）も含め、年間で10回、県外チームとの交流戦を実施することが出来ました。12月2日には「創立50周年感謝の集い」を開催し、他府県から8つのクラブがご参加頂き、我々も含め、交流戦には171名が、懇親会には161名が参加して頂きました。2018年12月現在、正会員71名、ＳＳ会員（試合に出ない応援だけの会員）46名と100名を超える大所帯となって参りました。

2019年には初めてワールドカップが日本で開催され、徳島にはジョージアが事前キャンプにやって来ます。まさにラグビーイヤーとなりそうです。我々「徳島友惑ラグビークラブ」は県内ラガーの年長者として、ラグビーの普及はもちろん、フェアープレーやノーサイドのラグビースピリットと何よりもラグビーを楽しむということを後輩ラガー諸君に後ろ姿で示せる様に一層励んで参りたいと思います。

今回は50周年と言うことで誌面を1ページ多く使わせて頂きましたことをお許し下さい。

徳島県内の40歳以上のラガーの皆さん、我々とともにラグビーを楽しみましょう！また、応援団としてＳＳ会員も募集しています。是非、一度、日曜日の11時に吉野川南岸グラウンドに遊びにお越し下さい。お待ち致しております。

ねんりんピック富山（2018.11.4） 対愛知県

ねんりんピック富山（2018.11.4） 参加者全員

第7回徳島友惑ラグビー交流会（2018.12.2）

第7回徳島友惑ラグビー交流会（2018.12.2）

創立50周年感謝の集い（2018.12.2）

創立50周年感謝の集い（2018.12.2）

惑惑ラグビークラブ定期戦＆第7回徳島友惑ラグビー交流会（2018.12.2）

《平成３０年　徳島友惑ラグビークラブ・試合結果》

2月25日　名古屋・東惑倶楽部定期戦　　名古屋・瑞穂球技場

黄パン	友惑・讃惑	10	(5－5, 5－10)	15	東惑	10分ハーフ
赤パン	友惑・讃惑	7	(0－17, 7－7)	24	東惑	15分ハーフ
白紺パン	友惑・讃惑	0	(0－5, 0－12)	17	東惑	20分ハーフ

3月24日　三田・酔惑交流戦　　徳島科学技術高校・第二グラウンド

白紺パン	友惑・讃惑	26	(12－14, 14－0)	14	酔惑	20分ハーフ

4月15日　第13回関西惑大会 ※ＡＬＬ四国で参加　　大阪・J-GREEN堺　　各15分
～16日

黄パン(1)	ＡＬＬ四国	15	－	15	東海・びわこ・ｼﾞｪﾝﾄﾙﾏﾝ・狐・米子
黄パン(2)	ＡＬＬ四国	15	－	10	伊丹・酔惑・BIG・芦屋・宝塚・参丁目
黄パン(3)	四国・東海・びわこ	5	－	10	酔惑・BIG・芦屋・宝塚・参丁目・堺市協会
赤パン(1)	ＡＬＬ四国	38	－	5	東海北陸
赤パン(2)	ＡＬＬ四国	14	－	20	狐惑・びわこ・ｼﾞｪﾝﾄﾙﾏﾝ
赤パン(3)	ＡＬＬ四国	0	－	35	BIG・宝塚・山惑・奈良
赤パン(4)	ＡＬＬ四国	20	－	19	芦屋・ｼﾞｪﾝﾄﾙﾏﾝ・参丁目
白紺パン(1)	ＡＬＬ四国・宝塚	17	－	10	東海連合
白紺パン(2)	ＡＬＬ四国・宝塚		記録なし		東海連合
白紺パン(3)	ＡＬＬ四国・BIGWAV		記録なし		ザ・ジェントルメン
白紺パン(4)	ＡＬＬ四国・BIGWAV	25	－	15	ガッツライオンズ

5月12日　東京遠征　赤以上　　あいおいニッセイ同和損保　二宮グラウンド
～13日

黄パン	ＡＬＬ四国	7	(0－28, 7－14)	42	東京・不惑倶楽部	15分ハーフ
赤パン	ＡＬＬ四国	0	(5－35, 0－40)	75	東京・不惑倶楽部	20分ハーフ

5月2～3日　淀鋼交流戦　　記録なし　　岡山・美作ラグビー場

6月11日　第4回シニア惑交流大会　　四国大学しらさぎ球技場

黄パン	ＡＬＬ四国	19	(7－17, 12－14)	31	ＡＬＬ兵庫・城北	10分ハーフ
赤パン	ＡＬＬ四国	5	[5－10, 0－5, 0－5, 0－5]	25	ＡＬＬ兵庫・城北	15分×4

7月28～29日　城北合宿　　記録なし

8月26日　友惑クラブ・夏合宿　　香川・みろく公園グラウンド
～27日

9月8日　第２３回 解惑ラグビーフェスタ　　新見千屋温泉　いぶきの里　ふれあい広場
～9日　　記録なし

11月3日　ねんりんピック２０１８富山　　魚津桃山運動公園　陸上競技場、運動広場
～6月日

赤パン	徳島県（友惑）	5	(0－5, 5－21)	26	愛知県	15分ハーフ
赤パン	徳島県（友惑）	0	(0－7, 0－22)	29	秋田県	15分ハーフ

12月2日　大阪・惑惑ラグビークラブ定期戦　　四国大学しらさぎ球技場

赤パン	友惑・讃惑	0	(0－19, 0－26)	45	惑惑ラグビークラブ	15分ハーフ
白紺パン	友惑・讃惑	33	(14－12, 19－15)	27	惑惑ラグビークラブ	20分ハーフ

第7回徳島友惑ラグビー交流会　　四国大学しらさぎ球技場

	BIG WAVE	10	－	5	思惑・城北	
赤パン以上	BIG WAVE	17	－	0	桃惑・鯨惑	15分×3
	桃惑・鯨惑	0	－	19	思惑・城北	
白紺パン	BW・京都B・桃惑・城北	24	(7－12, 17－0)	12	思惑・鯨惑（讃惑・友惑）	15分ハーフ

タグラグビーだより

タグラグビー委員長　遠藤 芳治

○タグラグビーフレンドシップフェスティバル（レフリー講習を兼ねて）

平成30年11月23日、徳島市球技場にて、タグラグビーフレンドシップフェスティバルを開催しました。今年は12校31チームが参加し、多くの子どもたちがタグラグビーを通して交流を深めることができました。

鳴門教育大ラグビー部員のレフリングレベルも年々向上し、継続的な関わりが実を結んできていることを実感できました。今後も鳴門教育大学ラグビー部のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

熱心な保護者や観客が多く詰めかけ、駐車場の運営などに関して関係者の皆様に大変お世話になりました。今後の運営改善に努めていきたいと思います。

○第１５回サントリーカップ徳島県予選

平成30年12月9日（日）、晴天の冬空のもと、徳島市球技場にて、第15回サントリーカップ徳島県予選大会が開催されました。40チームが集う盛大な大会となりました。本大会は、10の予選リーグの中から1位チームが決勝トーナメントに進み、抽選によって対戦相手が決める方式で進めました。

ベスト4に残ったのは、『キタミナレッドファルコンズ』、『一宮ダイヤモンドペガサス』、『高越ブラックファイヤートルネード』、『板東フロイデ』の4チーム。決勝戦は『キタミナレッドファルコンズ』と『高越ブラックファイヤートルネード』の対戦となりました。試合は、校名が新しく『高越小学校』となった『高越ブラックファイヤートルネード』が優勝に輝き、四国大学から寄贈されているカップを手にしました。準優勝の『キタミナレッドファルコンズ』と3位決定戦を制した『一宮ダイヤモンドペガサス』の3チームが四国ブロック大会に進出します。

タグラグビーフレンドシップフェスティバル、サントリーカップの開催にあたり、例年、スタッフとして協力していただいている鳴門教育大学ラグビー部のみなさんに深くお礼を申しあげます。ともに徳島県ラグビーを支え、発展させていくパートナーとして今後もご協力よろしくお願いいたします。

○サントリーカップ四国ブロック大会

平成31年1月12日、香川県丸亀市総合運動公園球技場にて、第15回サントリーカップ四国ブロック大会が開催されました。本県からは、『高越ブラックファイヤートルネード』『キタミナレッドファルコンズ』『一宮ダイヤモンドペガサス』の3チームが出場しました。

昨年度は徳島県の『大津西R』が四国ブロック大会を制し、見事に全国大会出場を果たしました。今年は２年連続の徳島県勢全国大会出場を目指して会場に乗り込みました。

しかし、『高越ブラックファイヤートルネード』は『東雲グレートファイターズ（愛媛県）』に1点差で敗れ、予選敗退となりました。『キタミナレッドファルコンズ』は『多肥レッドスターズ（香川県）』に1点差で敗れ、予選敗退となりました。『一宮ダイヤモンドペガサス』は『北条レッドスターズ（愛媛県）』に1点差で敗れ、予選敗退となりました。今年度は愛媛県、香川県の代表チームが立ちはだかり、1点の壁に阻まれ、残念ながら決勝トーナメント進出はなりませんでした。

今大会は、香川県の『附属ブラックシューズ1』が優勝、愛媛県の『東雲グレートファイターズ』が準優勝となり、全国大会出場を果たしました。残念ながら、徳島県勢の全国大会出場はなりませんでした。しかし、3チームとも1点差の惜敗、あと1歩の成長に向けて徳島県内の取り組みを活性化していきたいと思います。2019年はワールドカップが開催されます。たくさんの子どもたちや指導者、観客のみなさんがラグビーの魅力に触れ、グラウンドに足を運んでくださるような地道な取り組みを続けていきたいと思います。今後もご協力よろしくお願いいたします。

第1回U18全国女子ラグビー大会に参加して

鳴門渦潮高校　日下 寧子

私たち女子ラグビー部は、9月15日に渦潮高校で開催された四国予選にて愛媛県勢2チームを破り、見事全国大会の切符を手に入れました。

全国大会は10月26日・27日に埼玉県熊谷市ラグビー場にて開催されました。このラグビー場は来年のW杯ラグビーの試合会場となっており、完成したばかりの競技場での試合となりました。初日はグループリーグで、関西代表の追手門学院と長崎レディースとの対戦となりました。初戦の追手門学院は両校硬さが見られ点数もなかなか入らない状況でしたが、ディフェンスの空きをつかれトライを奪われ、自分たちの力の出ないまま22－0で負けてしまいました。続く長崎レディースは走力で走り勝ち29－5で勝利し、翌日のボウルトーナメントへの進出を決めました。

ボールトーナメント1回戦は日本代表選手を含めスター軍団の國學院栃木でした。ディフェンスでなんとか粘り、得意の展開ラグビーで仕掛けましたが、相手の個人の能力で点数を重ねられ、36－12となりました。3位決定戦に回った渦潮高校は、北海道・関東学院六浦との対戦になりました。両校疲れの見える中、最後は逆転のトライで15－17で競り勝ち、第1回大会プレートトーナメント3位全国7位で終わりました。目標のベスト8に入ることができ、来年はさらに上位を目指して欲しいと思います。

最後に校長先生はじめ多くの先生や関係者保護者の皆様に暖かいご声援やご支援いただきましたことに感謝して参加の報告とします。

福井国体に出場して

徳島県女子選抜コーチ
徳島大学総合科学部3年　山中 みゆ

私は、平成30年度徳島県女子選抜チームのスタッフとして福井国体に参加させていただき、沢山のことを学ぶことができました。

2013年6月、徳島県初の女子ラグビーチーム徳島セブンフェアリーズが誕生しました。その当時はまだ選手も少なく、女子の普及が精一杯で、強化して国体出場そして入賞、なんて事は遠い目標で思ってもいなかったのが現実でした。一昨年、徳島県女子チームとして初めて戦った愛媛国体では、予選リーグ敗退で決勝トーナメントには進めず、残念な結果に終わりましたが、その当時、ほぼ鳴門渦潮高校で構成されたチームは国体の舞台でよく健闘したと思いました。あれから1年、今では、四国大学女子7人制ラグビー部が誕生し、高校日本一の強豪校、島根県の石見智翠館高校の4名をはじめ、全国から経験豊富な選手8名が四国大学に入学しました。その中から5名（石見智翠館4名、神戸甲北1名）の選手が徳島県代表として戦ってくれることになり、四国大学と鳴門渦潮高校の選手で構成された徳島県女子選抜チームは、国体四国予選の2試合（香川県、愛媛県）を危なげなく勝利し、福井国体出場を決めました。そして本番では、初めての決勝トーナメント進出を果たし、国体7位入賞という結果で大会を終え、徳島県女子に新たな歴史を刻んでくれました。

私は、このチームのコーチに携わらせて頂いてから、国体入賞という目標は、1年間の目標でもありました。それは徳島県女子選抜チームでも絶対条件として掲げられていたものであり、その目標を達成できてとても嬉しかったです。

私がラグビーをはじめた頃に比べて、今では徳島県の女子ラグビー人口も増え、国民体育大会をはじめ全国的な大会で上位入賞するまでに成長した徳島県の女子チームを凄く誇らしく、頼もしく思います。そして今、そのような強い女子チームに携わらせていただける環境に感謝し、この貴重な経験を今年の茨城国体に活かして昨年以上の成績を残せるように、精一杯、頑張っていきたいと思います。

福井国体に出場して

徳島県女子選抜
四国大学経営情報学部1年　柴原 慈

私は昨年、福井元気国体に出場しました。一昨年は兵庫県代表として愛媛国体に出場しました。私にとって二度目の経験となった国体ですが思うようにいくことばかりではありませんでした。私にとって初めての国体であった愛媛国体ではスタートメンバーに入れず、試合に出場しても緊張で体が思うように動かせず今までで一番悔しい試合でした。愛媛国体での悔しさをバネに福井国体ではスタートメンバーを目指しました。

高知で行われた国体予選では福井国体の出場権を獲得したものの右足を負傷してしまい一ヶ月後の国体本戦に間に合うかどうかのギリギリの状態でした。走りが武器である私にとって足の怪我はかなり精神的ダメージが大きくありました。足の固定がはずれ、走れるようになっても以前の自分の走りはすぐには戻りません。少しでも戻れるようにトレーニングと試合にでれるのかという不安との戦いでした。練習に参加して走れないことは覚悟していましたが、走ること以外にも相手との間合い、ステップのタイミング、パスのスキルなど、試合で必要になるスキルが落ちていることを痛感しました。体力や判断力も鈍っていて試合にでれるのだろうかと思いつめる日々でした。

そんな私を助けてくれたのは周りの存在でした。トレーニング内容を考え指導してくれたトレーナーの千晶さん、自主練習に付き合ってくれたチームメイト、相談に乗ってくれた先輩、応援してくれるたくさんの人たち。そして、コンディションを戻してくると信じてくれた監督。私は改めて、ラグビーは一人ではできない、たくさんの人に支えられ、そして助けられて、自分はプレーすることができるんだと実感しました。

福井国体本番、私は足に不安を抱えながらも、なんとか出場することができました。久しぶりのプレーに緊張はありましたが、それよりも出場できたことに対しての感謝の気持ちの方が大きくありました。対戦相手は強敵ばかりでしたが、徳島県として初めて決勝トーナメントに進出し、そして7位入賞という結果が残せてとても嬉しかったです。私は兵庫県代表で出場した愛媛国体の4位より、徳島県代表として出場し7位入賞を果たしたことを誇りに思っています。福井国体は私にとって一生心に残る大会になりました。自分のプレーの成長を感じることができた以上に周りの大切さを実感させてくれた大会でした。

今年の茨城国体でも福井国体以上の成績を残せるように、これからも感謝の気持ちを持って、精一杯プレーし、頑張っていきたいと思います。

第78回国民体育大会福井しあわせ元気国体に参加して

鳴門渦潮高校　松田 愛理

私たちはALL徳島として四国大学から5名、渦潮高校から5名（日下、佐古、松田、村松、徳永）とリザーブメンバーとして、泉優、松井、横山の合計13名が福井国体に参加しました。

8月26日（日）に高知県春野運動公園での四国予選では、香川、愛媛を破り昨年に引き続き2年連続の出場となりました。昨年は高校生主体のチームで国体本戦では悔しいおもいでしたが、今年は四国大学の学生も加わりALL徳島は大きな戦力アップし、国体に臨むことができ見事7位入賞することができました。初戦のグループリークでは埼玉、山口、新潟との対戦で新潟には勝つことができ、3位通過で決勝トーナメントに進むことができました。決勝トーナメントでは山口、敗者戦では三重に善戦むなしく負けてしまいましたが、結果を残せたのが大きな前進であったと思います。

ここまでこれたのは、監督を始め多くのスタッフが関わってくれた人、応援してくださる人々、そして家族の支えのお陰だと思っています。本当にありがとうございました。

第19回全国高校選抜ラグビー大会に出場して

城東高校副主将　久次米 航希

今年の新チームは、花園での2勝を目標として始動しました。昨年度は花園出場を果たしたものの、一回戦で敗れ全国の壁の高さを感じました。新チームになってすぐ始まった新人戦で優勝し、続く四国大会でも高知県の土佐塾高校を破り選抜大会に出場することが出来ました。メンバーが16人、助っ人も含めた18人で挑んだ全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会。初戦の相手は岐阜県の関商工高校。序盤からボールを回し、いくつかチャンスは作れたものの、それをトライまで繋ぐことができず、逆にカウンターでトライをされ、そのまま試合終了まで相手の勢いを止めることができずに33-0で敗北。

2試合目の相手は桐蔭学園。全国トップクラスのフィジカルやスピードを相手に、トライを重ねられ、後半にはインターセプトから1トライ返しましたが、得点は83-7で敗北。

最終戦の相手は札幌山の手高校。前半を12-10の僅差で終え、もう少しのところまで迫ることができましたが、19-17で敗北。試合展開によっては勝てていた試合だっただけに、1番悔しく、課題の残る試合となりました。

昨年度も合わせて2年連続で選抜大会では1勝もすることができず､とても悔しかったのですが､来年のチームは僕らの代よりも体重も重く、フィジカルも強いので、次こそ選抜での初勝利を達成してほしいです。

第5回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会に出場して

城東高校　遠藤 岳歩

今年のチームは、去年のカップトーナメントベスト16の成績を超えることを目標にして練習に取り組んできました。「ALLOUT」と「笑顔」をスローガンに練習に励んできました。県大会では練習で培ってきたフィットネスと粘り強いディフェンスで自分たちのラグビーができ、勝ち進むことができました。

本大会での予選リーグでは、愛知県代表の西陵高校と栃木県代表の国学院栃木高校と対戦しました。初戦の西陵高校戦では、初戦ということで緊張もありましたが、初めから自分たちのアタックができ、先制トライをあげ一度は逆転を許しましたが、勝利をあげることができました。しかし、国学院栃木戦では、サポートが遅れ思うようにプレーができずに敗戦しました。その結果、一勝一敗でプレートトーナメントに進出しました。敗戦の反省を活かし、ミーティングでは二人目のサポートを速くしようと話し合いました。プレートトーナメントの一回戦では、大分県代表の大分東明と対戦しました。留学生が二人いるチームでしたが、粘り強いディフェンスからリズムを作って逆転し、勝利することができました。その後も、アタックを継続し自分たちのペースで試合を進め、青森県代表の三本木農業、高知県代表の土佐塾高校に勝利し、決勝戦まで進出することができました。決勝戦では島根県代表の強豪石見智翠館高校と対戦しました。序盤からアタックの継続ができ、19対7といい流れで前半を終えることができました。しかし、後半は足が止まり、相手の速い展開についていけずに同点に追いつかれ19対19の両校優勝に終わりました。優勝することができ今までにない嬉しさでした。しかし、勝ちきれた試合を勝ちきれなかったことに悔しさが残りました。

七人制の全国大会に出場して、全国の舞台で優勝することができ、たくさんの経験を積むことができました。来年には、日々支えてくださっている方々に感謝して、今年の成績を超えられるように今まで以上に練習に励んでいきたいと思います。

第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場して

城東高校主将　伊東 汰歩

今年のチームは、昨年度達成できなかった「花園で勝利する」ということを目標に掲げ新チームをスタートしました。昨年度は花園で日川高校と対戦し7対47で敗戦し、全国の壁を感じることとなりました。実際に試合に出場してこの経験をした選手がたくさんいる状況で新チームをつくり始めることができました。新チームになってからすぐに始まった新人戦では四国大会で優勝することができました。そして選抜大会に出場し、強豪チームと試合することで、課題をたくさん見つけることができました。

春から夏にかけてはその課題を克服するように練習してきました。7月にあったセブンズ大会ではプレートトーナメントで優勝することができ城東のラグビーは全国に通用すると実感し、自信を持つことができました。

夏から秋にかけては常に全国レベルの強度の練習を意識して取り組んできました。そして、花園では、二、三年生は二度目の花園ということであまり緊張せずに臨むことができました。一回戦の相手は福島県代表の聖光学院でした。序盤からディフェンスが続く試合でしたが、自分達のリズムをつくり、点を重ねることができ24対7で勝利しました。

二回戦の相手は滋賀県代表の八幡工業高校でした。二回戦は、今秋ラグビーワールドカップで世界中の選手がプレーすることになるメイングランドで試合することができました。序盤はディフェンスでリズムを作ることができ、継続したアタックで先制点を取り、いいリズムで戦えました。しかし後半には、ディフェンスが悪くなり14対24で負けてしまいました。最後まで諦めずディフェンスし続けましたが、相手のアタックを止めきることができませんでした。

応援してくださった沢山の方々の期待に応えることができず、とても悔しい思いをしました。花園という大舞台で最後まで全員で戦えたことはとてもいい思い出になったと思います。今までお世話になった先生、保護者、OBの方々、ラグビー関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。来年のチームには「花園で2勝する」という僕達三年生の見えなかった景色を見てほしいと思います。

第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場して

城東高校ラグビー部監督　伊達 圭太

来る12月27日に今年度の聖地「花園」での「全国高等学校ラグビーフットボール大会」が開幕いたしました。昨年に引き続き2年連続12回目の出場となりました。今年はリニューアルされた第1グランドでの「勝利」を目標に準備を重ねてまいりました。

1回戦は28日に第2グラウンドで福島県代表の聖光学院高校との対戦となりました。序盤から前に出てしっかりとコンタクトし、粘り強いディフェンスから自分たちの持ち味としている展開ラグビーで得点を重ねることができました。練習で意識して準備してきたこと、これまでの全国大会での経験値などが生き、前半を19－0で折り返すことができました。後半に入ると、相手チームの持ち味でもある強力フォワードが前に出て、バックスに展開されるシーンが目立つようになり、反則数が増え出すことで、劣勢に立つシーンが多くなりました。改めて全国大会で「勝利」することの難しさを感じていましたが、城東の選手たちは慌てることなく、自分たちのやってきたことを信じ、考えて行動しプレーし続け、その結果1回戦を24－7で「勝利」することができました。県勢では3年ぶり、城東高校としては、自身が選手の時以来12年ぶりの「勝利」を得ることができました。

2回戦は30日に滋賀県代表の八幡工業と対戦となり、1回戦の相手と同様に強力なフォワードを武器にテンポを上げて、得点を重ねることが相手の強みでした。2回戦までの短い準備期間では、相手を研究し自分たちの強みを出し切ることができるよう準備しました。相手がどんなチームであれ、すべての力を出し切り、チャレンジすることで結果はついてくるものだと選手たちと共有し、元旦を花園で迎えられるように試合に臨みました。試合では白熱したゲーム展開となり、得点をお互いが、繰り返し取り合う展開となりましたが、その中で選手たちは「城東ラグビー」の持ち味を存分に発揮し、見る者を引きつけるような気持ちの入ったプレーで正々堂々と闘いきることができました。結果は終盤に突き放され14－24と敗退し、今シーズンの締めくくりとなりましたが、選手たちはこの大舞台で最高のパフォーマンスを発揮し、城東らしさをフルに見せてくれました。結果はどのようであれ、指導者としてこれほど嬉しいことはありません。選手たちにはこのような経験をさせてもらい、また次につなげていくことができることに感謝しています。花園を終えて、新たなチームとなりますが、この大きな舞台で得た「経験」と3年生の与えてくれた「財産」を胸に、またこの晴れ舞台に上ることができるよう、選手・スタッフ一同邁進して参りたいと思います。

最後になりましたが、この4月より監督として、この城東高校ラグビー部に関わらせていただく中で、この1年間が良きものとなったことに関しまして、徳島県ラグビー関係者の皆様や、城東高校ラグビー部を応援し支えて下さった皆様に感謝申し上げます。また、指導者として若い自分を指導・支援して下さった方々にも本当に感謝いたしております。本当にありがとうございました。微力ながらではありますが、これからも徳島県ラグビーの発展に尽力して参りたいと思います。皆様方、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ニュージーランドへ留学して

鳴門渦潮高校　松井 香保理

私は、この夏、スポーツ庁委託事業「2019ラグビーワールドカップ普及啓発事業～ラグビーを通じた国際交流プログラム～」に参加しました。そして8月5日から8月25日にかけて、日本中から集まった12名で、ラグビー大国であるニュージーランドへ3週間の短期留学をしました。

語学研修では、地元にあるタウランガガールズカレッジというところに通いました。そこでは主に三つの研修を受けました。まず、ESOLではニュージーランドについての事柄や英語を学習しました。そしてクラスエクスペリエンスでは、現地の学生とペアになって授業を受け、科学や数学を学びました。数学は日本ですでに習っているところがでたので、分かるところも多かったのですが、科学は数字が少なくて、専門用語の英語ばかりだったので、聞くことに集中していました。三つ目はPEです。ほとんどの生徒が裸足で授業を受けていました。スポーツクラスのPEでは、私が日本の部活動でやっている「ラン」などを行いました。

ランチタイムはクラスエクスペリエンスとPEの間にあります。よく英語の教科書で見られるようなランチボックスに、リンゴやオレンジが丸々一個入っていたり、サンドウィッチが入っていたりしました。月曜日から金曜日まではこのようなスケジュールで研修を受けていました。

このプログラムの最大の目的はラグビーです。私は朝の7時15分から8時15分まではジムトレーニング、学校での研修が終わってからはラグビーのスキルトレーニングを行っていました。ジムのコーチはワイカト大学でストレングスとコンディショニングコーチをされているFrancesco sellaさんでした。午後からのトレーニングでは、ジムコーチがアップをしてくださった後に、コーチが交代します。ラグビーはNZ女子代表ブラックファーンズで現役でプレーされているKelly Brazier 選手がコーチをしてくださりました。ハンドリングスキルやコンタクトスキルの練習やビーチセッションなどを行いました。その三週間の中で、現地の選手と三回試合を行いました。少しずつしか出られませんでしたが、現地の選手のすごさを知れ、自分自身の課題も見つかったので、良かったです。

ホームステイは、デッキからの眺めがすごく良い家で、少ししか英語が話せなかった私に対して、私が理解しやすいように英語を変えてくれるなど、ホストファミリーもとても優しく対応してくださりました。その対応も嬉しかったし、英語ばかりの環境に対応できて良かったです。

ホストファミリーはパン屋さんをしていたので、何回か朝にお店に寄ってパンを食べさせてもらいました。日本のパンもおいしいけれど、ホストファミリーのお店で食べさせてもらったパンはすごくおいしく感じました。また、現地のパン屋さんは夜中の2時や3時くらいから開店していることが多いと聞いてびっくりしました。ホストファミリーには、泥温泉やショッピングにも連れて行ってもらって、すごく充実したホームステイになりました。

日本から参加した12名全員でもロトルアというところに観光と試合観戦に行きました。最初に行った時は、ゴーカートのような乗り物である「ルージュ」を体験しました。他にも、マオリ族の儀式を見学させてもらったり、有名なキウイバードを見たりと、現地でしかできないことを体験できたので良かったです。二回目に訪れた時は、ハカを体験しました。ハカには深い意味があるということを初めて知りました。試合観戦では、レベルの高い試合が見られて、学ぶことも多く、とても良い経験になりました。

私にとって、この三週間は自分を大きく成長させてくれるものとなりました。ホストマザーは別れる時に「来たときよりも英語が話せるようになったね。」と言われました。たったの三週間かもしれなかったけど、すごく濃いものとなりました。そして特にラグビーで教わったことは忘れずに、今後のプレーに生かしたいと思っています。さらに、自分だけで終わらせるのではなく、多くの人にも伝えていきたいと思っています。

筆者中央右側↑

タグラグビー四国大会

「届かなかった夢」

高越ブラックファイヤートルネード　主将　豆成 由衣

私たち「高越ファイヤートルネード」は、高越小学校開校に伴い、新たに結成されたタグラグビー部です。新しい仲間とともに全国大会出場を最大の目標として､限られた時間の中で厳しく･楽しい練習を積んできました。そして､「高越小学校初のチームとして全国大会に出場し、強豪チームとの対戦で自分たちの力を試したい。」との強い気持ちで一致団結して日々努力してきました。

徳島県予選では見事優勝し、四国大会には、徳島県代表のプライドや共に戦ってきた仲間や応援してくださった方々のすべての思いを背負い挑みました。

予選リーグ1試合目では、香川県2位の国南オレンジとの対戦で、初戦という緊張感がありましたが、勝利することができ、課題であったディフェンスが成長していること、今まで練習してきたことが間違ってなかったことが証明でき、自信となりました。予選リーグ2試合目では、愛媛県3位の東雲グレートと対戦しました。緊張もありましたが、決勝トーナメントに進出するとの強い思いで挑みました。試合が進むにつれ、徐々に自分たちのペースで試合ができ、前半は3-1で折り返しました。後半は自分たちのチームのミスなどから相手チームに追い上げられ、自分たちのペースで試合が進められませんでした。結果、5-6で敗れ、予選敗退が決定し、全国大会出場という夢を逃してしまいました。予選敗退が決まった瞬間、悔しい気持ちとともに、今まで指導してくださった先生方や支えてくれた仲間、応援してくれた方々に申し訳ない気持ちで いっぱいになり、涙があふれて止まらなくなりました。

高越ファイヤートルネードとして、新たな歴史に名前を刻むことはできませんでしたが、この思いは来年の新しいチームに託したいと思います。

たくさんの人に支えられ、たくさんの思いを胸に戦えたこと、大きな試練やプレッシャーに立ち向かえたこと、そして、最高の仲間とともに1つの目標に向かってタグラグビーができたことを本当に幸せに思います。タグラグビーを通じて様々な経験ができ、一人一人が大きく成長できました。これからも新たな目標に向かって最後まであきらめない「不退転」の精神で頑張っていきたいと思います。

タグラグビー四国大会

四国大会を通して

キタミナレッド　武市 雄哉
田村 洛人

僕達8人は、先生と一緒にクラブ活動や放課後にたくさんの練習を積んできました。僕達のチームは、オフェンスが得意なので、タグを取られても攻撃を止めないことを心がけて、四国大会に出場しました。

1試合目は、ディフェンスが上手なチームだったので、なかなかトライすることができませんでした。でも、何とか6-5で勝つことができました。

2試合目は、1試合目とは逆でオフェンスが上手なチームでした。初めは、いい感じでしたが、相手に攻め方が読まれ、点数が追いついてきました。そして、結果、5-6で負けてしまいました。しかし、すごくいい経験ができたので、よかったです。

応援してくださった先生方や家族、そして仲間に感謝しています。

タグラグビー四国大会

「タグラグビーを通して」

一宮ダイヤモンドペガサス　主将　松浦 遊葉

僕たちは､3年間タグラグビーをしてきました｡4･5年生の時には､よい結果を残すことができず､悔しい気持ちでいっぱいでした。しかし、今年はこれまで積んできた経験と保護者や先生方の支えで、徳島県大会では6勝1敗の成績を収め、四国大会に出場することができました。

夏から徳島市陸上運動記録会の練習とともに、タグラグビーの基礎練習を始め、記録会が終わってから本格的にタグラグビーの練習に励みました。厳しい練習もありましたが、仲間と励まし合いながら乗り越えてきました。

目標としていた四国大会では「絶対に全国大会へ」という気持ちで挑みました。僕たちは徳島県3位だったので、愛媛県1位と高知県2位との対戦でした。1試合目は、高知県2位の「南国ブルースカイ」と対戦しました。初戦だったので緊張の中での試合でした。先制点を取ったことで緊張も緩まり、9対0と快勝することができました。

2試合目は、愛媛県1位の「北条スーパースターズ」と対戦しました。先制点を奪われ、相手の勢いを止めることができず､前半終了時は4対1と3点差をつけられていました｡僕は｢もう無理だ｡｣とあきらめかけていましたが、チームメイトや先生からの励まし、保護者や同じ徳島県チームからの応援で立ち直ることができました。後半では、気持ちを切りかえて、みんなで声をかけ合い最高のチームワークを武器に戦い、4対4の同点まで追いつきました。その後、両チーム共に一歩も引かない戦いが続きましたが、試合終了間際で与えてはいけない得点を与えてしまい、5対4で負けてしまいました。

この時、応援してくださった保護者の方や先生方への申し訳ない気持ちと、決勝トーナメントにあと1歩およばず敗れてしまった悔しさでいっぱいでした。その反面、目標としていた四国大会に出場し、その舞台で自分たちの力を出し切ることができたという喜びもありました。

タグラグビーと出会い、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちとプレイしている時の幸せな時間は一生忘れません。中学校へ行くと新しい仲間との学校生活が始まりますが、タグラグビーで学んだチームワークと絆を胸にがんばっていきたいです。

徳島育ち普及育成事業

普及育成委員会　村岡 陽平

育成世代トレーニング講習会・指導者講習会

東京都世田谷区立千歳中学校ラグビー部監督の長島章氏を招聘し、中学生対象に実技講習会を開催した。ご紹介いただいたメニューは、平日練習3日間、練習スペースは、校庭4分の1という限られた環境から生み出された知恵と工夫が詰まったものであった。全てが状況判断や連動性を伴うもので、プレーヤーが内発的に取り組む様子が見られた。指導者講習会では、千歳中学校ラグビー部のチームづくりや、同氏が都中学選抜の総括をされているご経験から部活動とスクール活動、それぞれの強みや弱みなどをお話しいただいた。また、ラグビーという教材が中学生期の人間形成にも影響を与える可能性から、心身両面においてプレーヤーをサポートしていくことも指導者の大切な役割であることをお示しいただいた。

ジュニアセブンズ育成交流会

本事業は、中学生プレーヤーのゲーム機会を創設し、県内外の同世代プレーヤーの交流、競技の普及育成を図ることを目指して実施した。競技方式は、7人制ラグビー（以下：セブンズ）を採用した。セブンズは、オリンピック正式種目や国体成年競技としても採用されている。競技特性としてスキル・スピード・フィットネスを求められること、コンタクト強度もそれほど高くないことからジュニア世代のゲームとして有用であったように感じる。

県内は、徳島RS、鳴門RS、脇町RSと富田中学校ラグビー部の4チーム、県外は岡山県、高知県、香川県からの参加があり、全10チームによる交流試合を行った。7人制のため、普段は、少人数で活動しているチームも単独でゲームを行うことができた。競技方法や時間は、U15ジュニアラグビー競技規則を基準に、実態に応じてローカルルールを採用した。どのチームもアグレッシブなプレーで、見応えのあるゲームを展開していた。

第10回「徳島育ちラグビーフェスティバル2019」

広報委員長　松下 則之

このイベントは、高校卒業後もラグビーを継続的にしている22歳以下の大学生や社会人が集まり、ラグビースクールの子供達や女子ラグビーチーム、オール徳島成年チームとの練習会で交流したり、試合をすることによって世代間を越えた相互の親睦を深め、徳島の良さを再認識することを目的としています。また、それぞれの選手が、徳島育ちの誇りを持ち、郷土徳島を基盤にラグビーの普及・発展に寄与することを支援しています。

今年度は、ジョージアの事前キャンプを見据えた鳴門球技場のリニューアルのお披露目イベントも同時開催されました。

日　時　平成３１年１月６日（日）午前９時より
場　所　鳴門・大塚スポーツパーク　球技場
参加者　オール徳島成年、徳島育ち選抜U22、鳴門ラグビースクール、
徳島ラグビースクール、脇町ラグビースクール、四国大学女子ラグビー部
フェアリーズ、鳴門渦潮高校女子ラグビー部、友惑クラブ

日　程　［球技場エリア］
9：00～　受付
10：00～　キックオフセレモニー
10：30～　新春・福招き持ち投げ
10：50～　芝生で遊ぼう！芝生に触れよう！芝生でスポーツ体験会！
11：35～　目指せ徳島県代表ラグビー教室
〈11：50～14：00 「うずしお鍋」タイム〉
※試合に出ないスクール生は食べながら観戦
12：10～　TOKUSHIMAドリームマッチ（交流試合）
①女子徳島選抜　vs　スクール選抜（7分×1）
②徳島育ち選抜U22　vs　オール徳島成年（7分×2）
③徳島育ち選抜U22　vs　スクール選抜（7分×1）
④オール徳島成年　vs　スクール選抜（7分×1）
13：00～　アフターファンクション
［駐車場エリア］
○ジョージアフェア
・ジョージア紹介、ジョージアワイン試飲
○飲食ブース
・でり・ばりキッチン阿波ふうど号　徳島県産食材を使ったジョージア風料理の試食
・うずしお鍋無料サービス
○PRブース
・ラグビーワールドカップ2019関連ブース
・3大スポーツ大会PRコーナー
○展示ブース
・競技場で「働くくるま」芝刈り機、スイーパー、ターレットトラック

［徳島育ちラグビーフェスティバル・鳴門球技場リニューアルイベント］

徳島中･西部ラグビーフットボール協会だより

徳島中･西部ラグビーフットボール協会
理事　村岡 陽平

田んぼラグビー in美馬2018

5月12日（土)、福永晃大実行委員長を中心に、ジャパントップリーグ所属クボタスピアーズの選手・スタッフ参加のもと、田植え前の水田でラグビーを楽しむ「田んぼラグビー in美馬」（実行委主催）が美馬市穴吹町で開催された。世代やラグビー経験を問わず、約150人の参加者が泥田に足をとられて、派手な転倒やダイビングトライで全身泥だらけになる姿に、会場は、終止歓声と笑い声に包まれていた。本事業は、多くのメディアにも注目され、ラグビーの普及に留まらず、地域活性イベントとしての「田んぼラグビー」の魅力と可能性を感じさせられるものであった。

ラグビーフェスティバルinにし阿波2018美馬ロータリークラブ杯

ラグビーフットボール競技の普及、四国ラグビー発祥地の文化継承、地域活性化を目指し、2016年から始まった美馬ロータリークラブ杯も3回目を迎えた。今年も多くの地元企業の皆様にご支援いただき、ミニ・ジュニアラグビー交流ゲームやタッチラグビーが盛大に開催された。脇町高校ラグビー部によるラグビー教室は大変好評で、参加した小・中学生は目を輝かせながらパスやコンタクトなどのトレーニングメニューを楽しんでいた。

《参加団体》

小学生の部　　徳島RS　鳴門RS　脇町RS　高知RS
中学生の部　　鳴門RSジュニア　脇町RSジュニア　生光学園中学校ラグビー部
高　校　生　　脇町高校ラグビー部
タッチの部　　クローバーズ　メイプル　パグ

ウーマンズエッセイ

ラグビーというスポーツに出会って

徳島県体育協会
スポーツコーディネーター（医科学担当）
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
今川　千晶

私がラグビーというスポーツと出会ったのは、約6年前のことです。トレーナーの専門学校時代、実習先を悩んでいる時に担任の先生から「ラグビーは怪我が多いから勉強になる。行ってこい。」と言われました。それまで、ラグビーをしたことも見たことも無く、楕円球を使うスポーツであることすら知らない私が、当時トップイーストリーグDiv.2に属していた社会人ラグビーチームに学生トレーナーとしてお世話になることになりました。このラグビーとの出会いが、私にとって大きな出来事となりました。

初めてグラウンドでラグビーを見た第一印象は、「痛そう、怖そう、怪我しそう」の三拍子でした。しかし、練習や試合の回数を重ねていくと少しずつラグビーというスポーツに魅了されていきました。大きな選手から小さな選手までそれぞれに適したポジションで個人の特徴を活かし、全員で身体を張り、時には自分が犠牲になりながらもボールを繋ぎ全員でトライを取りに行くのが面白いなと感じるようになりました。トレーナーの勉強をしながら、どんどんラグビーが好きになっていきました。

現在、女子ラグビーに深く関わらせていただいています。鳴門渦潮高校と四国大学で週1 ～ 2回のトレーニングやリハビリ指導、遠征帯同などを行っています。ありがたいことに、鳴門渦潮高校女子ラグビー部には全国U18女子セブンズ大会、四国大学女子7人制ラグビー部には太陽生命ウィメンズセブンズ入替戦と大きな舞台にも連れて行ってもらいました。選手や関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいですが、それと同時に全国で勝てるチームにしたいと強く思いました。全国という舞台で対戦すると、簡単に吹き飛ばされ、華麗なステップに対応できず、抜けても捕まえられ、力の差を痛感しました。また、緊張からいつも通りのプレーが出来ない弱さも見つかりました。その差を少しでも埋められるよう、コツコツと努力を積み重ねていくサポートをしたいと思います。

怪我のリスクが高いといわれるラグビーですが、選手全員が安全にプレーできる環境をつくることが重要であると感じています。生死に関わるような怪我や病気が発生しないように予防し、それらが発生した際の緊急時の対応計画を明確にしておくことが最重要課題であると思います。また女子選手に注目すると、男子選手よりも発生が多いと言われる前十字靭帯損傷の予防が重要となります。

今年度関わったチームの中で、前十字靭帯損傷が発生したのは2名でした。怪我の予防トレーニングの更なる徹底を心掛けていきたいです。

徳島県のラグビーの更なる発展に役立てたらと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

遠くでトーク

「目標」は桜のジャージ

宗像サニックスブルース　森林 啓斗

私は、九州の福岡県にある、トップリーグの宗像サニックスブルースに所属しているプロラグビー選手です。

私がラグビーに出会ったのは城東高等学校に入学してからでした。入学当初は、ラグビーのルールも分からず不安ばかりでしたが、当時ラグビー部の顧問の川真田先生や稲垣コーチとの出会いがあり、ラグビーの基礎となる技術面や精神力を教わりました。そこから徐々にラグビーというスポーツが好きになり、「もっとラグビーを知りたい！極めたい！！」という気持ちが強くなりました。

高校生の時、夢であった全国大会の聖地「花園」へ出場することが出来なかったのが悔しい思い出として残っています。そんな悔しさもあり「もっとラグビーでチャレンジしたい！！！」という気持ちが、さらに強くなり大学でのラグビーを続けることを決意しました。

大阪体育大学へ進学し、ラグビー部へ入部しましたが、当初は環境の変化や大学ラグビーのレベルの高さに戸惑う場面も多くありました。私自身、負けず嫌いな性格もあり、とにかくすべての選手に負けないよう日々練習に励みました。大学二年時には、関西大学Aリーグの舞台「13番CTB」として出場することができました。達成感や嬉しい気持ちがあったことを、今でも鮮明に覚えています。

しかし、チームとしては結果が出ず、入れ替え戦にて関西大学に敗戦し、大阪体育大学ラグビー部創部初のBリーグ降格という苦い経験をしました。そこから、ラグビー部を再び関西Aリーグへ昇格させるという責任感が芽生え、日々練習にて自分を追い込んでいましたが、度重なる怪我をしてしまいました。怪我人生活が長くなり、大事な試合への出場が出来ず、悔しい気持ちで過ごす毎日でした。しかし、体のリハビリ、ケアの大切さに気付かされ、自分自身の身体を見つめなおし弱点を克服する機会となりました。

大学四年時にシーズンインしてからは、順調にプレイすることができましたが、入れ替え戦一週間前の練習で足首の大怪我をし、入れ替え戦はスタンドで見守る形になり結果は同点でノーサイドとなり、リーグ規定によりBリーグ残留という非常に悔しい結果となりました。

このままでは、目標とするトップリーグへの道や、大学ラグビーを終えることが出来ないと考え、もう一年大阪体育大学で過ごすことを決意しました。努力の甲斐もあり、チームをAリーグに昇格させるという目標を達成し、夢あったトップリーガーになる事が出来ました。

この一年は、チームも個人としても本当に辛い事、苦しい事が多々ありました。何事もやりきることの大切さを学ぶことも出来ました。そして、周りの方々の支えがあったからこそ達成できたと気づき、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。また、この時期に徳島県成年代表として愛媛国体に参加したのも、いい思い出となっております。

現在社会人になり一年が経とうとしています。プロ選手として世界で活躍する選手と一緒に練習や試合をすることで、彼らから多くの事を学び、自身の成長へとつながっていることを今実感しています。また、スーパーラグビーに所属するサンウルブズや、日本代表の強化合宿に参加する機会もいただきました。そして、サンウルブズや日本代表に選ばれたいという新たな目標をもつことができました。その目標に向かって日々努力し、徳島県出身選手として桜のジャージを着て多くの人に勇気、希望、感動を与えられる選手になろうと思っております。

最後になりますが、皆様に応援いただけることが私自身の励みになりますので応援よろしくお願いいたします。

練習で汗を流すサンウルブズの選手たち＝25日、
別府市実相寺多目的グラウンド、撮影・仲道裕司

大分合同新聞(朝刊)　2019年1月26日　　筆者中央

2018年を振り返って

日本協会公認レフリー　佐々木 裕司

はじめに

2018年は花園第1グランドから始まった。ラグビーに携わるものとして、お正月のピッチに立てたことは、大変光栄なことだ。私が担当した佐賀工業対國學院久我山はBシード同士。高校ラグビー界きっての強豪校だ。ほぼ満員の観客席。笛が鳴るたびに会場が沸いた。

この試合を皮切りに、私の日本協会公認レフリーへの挑戦が始まった。

○春シーズン

・天理大学　対　関西学院大学（兵庫県西宮市）
・帝京大学　対　慶應大学（富山県富山市）
・九州電力　対　リコー（福岡県福岡市）
・ＮＥＣ　対　栗田工業（千葉県我孫子市）
・三菱重工相模原　対　パナソニック（神奈川県相模原市）

以上5試合を日本協会から割り当てられ、私のレフリングが査定された。7月に出された結果は昇格。長年の夢であった日本協会公認レフリーになることができた。

日本協会より
戴いたワッペン

○夏シーズン

夏はシーズンインに向けての研修が主になる。私は網走と菅平の研修に参加した。網走では、トップリーグチームが合宿しており、そのトレーニングマッチをレフリーした。担当したヤマハ対NTTコミュニケーションズは、トップリーグで上位にランクするチーム。スクラムをうまくマネジメントできず、たくさんの課題が残る試合となってしまった。菅平では、有力大学の試合をレフリーした。夜は、同じにA2レフリーとトップチャレンジリーグでのレフリング方針を話し合い、スクラムとゲームマネジメントについて考えを深め、開幕に向けて準備した。

○秋・冬シーズン

日本協会レフリーの1週間のスケジュールは次のようになる。

（土・日）　レフリー・アシスタントレフリー、
（月）　ゲームレビュー
（火）　ゲームレビューをもとにレフリーレポートの作成と提出
（水）　スカイプミーティング
（木）　週末の試合に向けて目標シート提出　スカウティング
（金）　試合会場へ移動　宿泊

レフリーをした試合は、トップリーグカップ戦2試合、トップチャレンジリーグ7試合、関西大学Aリーグ2試合、大学選手権1試合。また、日本協会主催試合関係のアシスタントレフリーは8試合担当した。ラグビーシーズンが始まると息つく暇もなく忙しい毎日になった。毎週末県外へ出張し全国各地を飛び回った。徳島県は移動手段が少なく、日曜25時や月曜の早朝に帰宅することも多々あった。

○海外レフリーとの交流（10月30・31日）

今年もニュージーランド・カンタベリー協会と交流する機会を得た。レフリーのサム、レフリーコーチのアランは1泊2日の日程で来県した。渦の道や阿波踊り会館、藍の館を案内した。懇親会は、徳島県レフリー委員会のメンバーが海外レフリーの興味深い話を聞き、大いに盛り上がり、そして学びの多い時間になった。

ネクタイ・ピンバッジの交換

おわりに

2019年も花園第1グランドから始めることができた。1月3日準々決勝。私の担当した大阪桐蔭対報徳学園は近畿勢対決ということもあり、観客席は満員だった。このピッチに立てたのも2018年が充実した1年だったからだ。日本協会公認になってから環境は激変し、本当に忙しい毎日だった。レフリー中心の生活にも関わらず、毎週末快く送り出してくれる職場の方々や家族には本当に感謝している。時間を大切にし、努力とチャレンジを続け、いつかはトップリーグのレギュラーシーズンを担当するという『新しい夢』を叶えたいと思う。

タッチラグビーだより

タッチラグビー2018

徳島県タッチ協会　大矢 大佐久

日頃は徳島県タッチ協会の活動にご理解およびご支援、誠にありがとうございます。徳島県タッチ協会における2018年の話題を3つご報告いたします。

★話題①：ワールドマスターズゲームズ2021関西

2018年3月、タッチラグビーがワールドマスターズゲームズ2021関西（以下、WMG2021関西）のオープン競技として大会組織委員会の承認を受けたという連絡を徳島県県民スポーツ課よりいただきました。

このきっかけを作ってくださったのは、徳島県ラグビーフットボール協会でした。WMG2021関西は2021年5月に近畿２府４県および福井県・鳥取県・徳島県で開催予定の30歳以上の選手を対象とした世界的なスポーツイベントで、ラグビーはすでに公式競技として大阪府の花園ラグビー場で開催されることが決定しております。他地域でも同様の競技をオープン競技として開催できることから、徳島県ラグビーフットボール協会よりタッチラグビーを推薦していただき、県スポーツ課より申請書類が送られてきたというのがことの始まりでした。資料によりますと、前回大会は2017年ニュージーランドのオークランドで開催され、タッチラグビー競技も実施されておりました。その規模は大きく、76チームがエントリーし、1,000名を超える選手が参加したとのこと。会場はタッチフィールド11面を使用し、多くの運営スタッフが大会に携わったそうです。

そういった大規模な大会運営を徳島県タッチ協会単独で実施するのは到底不可能ですので、申請前にジャパンタッチ協会（以下、JTA）の事務局担当者を徳島に招き、国際大会開催の準備についてのレクチャーを受け、WMG2021関西のオープン競技としてタッチラグビーがエントリーすべきかどうかの判断を仰ぎました。結論として、JTAを運営主体としてWMG2021関西にエントリーすることとなり、上記の通り、オープン競技として開催の承認を受けました。現在、徳島県県民スポーツ課・国際スポーツ大会室およびJTAと協力し、三好市と美馬市にまたがる徳島県西部健康防災公園を会場として準備を進めております。

2019年ラグビーワールドカップ日本大会のキャッチコピーにある「ONCE IN A LIFETIME」同様、WMG2021関西は私たち徳島のタッチラグビー関係者にとって国際スポーツ大会に携わる「一生に一度」のチャンスです。開催まであと2年ほどしかありませんが、関係各所の皆様からのお知恵を拝借しながら、しっかりと準備に取り組みたいと思います。

★話題②：徳島スポーツフェスティバル

上記イベントに参加するきっかけも徳島県ラグビーフットボール協会に作っていただきました。昨年のゴールデンウィークに小林理事長と齋浦書記長と面談し、徳島青年会と徳島県県民スポーツ課が9月に開催を企画している「徳島スポーツフェスティバル」についてのご説明を受けました。イベントはアスティとくしまを会場として行われ、その中でラグビーワールドカップ日本大会のＰＲをはじめ､ホール内外で様々なスポーツの紹介が行われるという内容のものでした。その後、書記長より「タッチラグビーの体験会をやってみませんか？」というご提案がありました。せっかくのご提案であり、一般の方々に競技を紹介する良いチャンスだと思ったので、徳島スポーツフェスティバルに参加させていただくことにしました。

本番までの間、徳島青年会や県のご担当者と打ち合わせを数回行い、体験会ではタッチラグビーのゲームを参加者に体験してもらうという方針が決まりました。その趣旨により、体験ブースではタテ22m×ヨコ11mという区画を割り当てていただき、他競技に比べ広い場所を確保できました。おかげさまで参加のお子さんたちにとって十分走り回るスペースができ、ゲームを楽しんでいただけたように思います。

イベント本番では、約１時間の体験会を午前2回・、午後2回の計4回行い、合計で100名ほどの子供さんが参加してくれ、予想以上の盛況ぶりでした。また、想定よりも若い（未就学児が多く、最年少は3歳）参加者が多く来てくれましたが、実技指導をしてくれた四国大学タッチラグビークラブのスタッフがうまく年齢別にチーム分けをしてくれて、混乱なく体験会を進行してくれました。

反省点も多々ありますが、何千人も集まる

徳島スポーツフェスティバルより

大きなイベントに参加させていただき、無事体験会を終了できたことは私たちにとっては大きな収穫であり、参加の子供さんのみならず保護者の方々にも競技のアピールができたと思います。保護者の中には「タッチラグビーを教えてくれる『スクール』のようなものはないのですか？」との問い合わせをされる方もあり、楕円球文化を広げるためにも、今後子供さんがプレーする場を積極的に提供する必要があると感じました。実際に、Ｊ2のFC町田ゼルビアを中心として運営されている東京のスポーツクラブではタッチラグビースクールが開校されております。そういう前例を参考とし、将来的に徳島においても具体的な活動ができればと考えております。

このような良い経験となるチャンスをくださった徳島県ラグビーフットボール協会、徳島青年会、徳島県県民スポーツ課に対し、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

★話題③：徳島県タッチ協会20周年

1998年に日本タッチ協会（現・ジャパンタッチ協会）の徳島県支部として徳島県タッチ協会はスタートしました。昨年、おかげさまで、20年という節目を迎えることができました。2018年9月23日（日・祝）には、グランドパレス徳島にて徳島県タッチ協会20周年祝賀会を開催し、県内外より約60名の方にお集まりいただきました。徳島県ラグビーフットボール協会からは、佐野会長、小林理事長にご出席いただき、お祝いをしていただきました。

日本タッチ協会より徳島県支部のお話を引き受けた当初は、タッチラグビーはラグビーリーグから派生したスポーツであり、日本ラグビーフットボール協会に認められた競技ではないという理由から、私の身を案じた先輩方より「悪いことは言わん、タッチラグビーなんぞやめとけ。」など、ご心配のお言葉を頂戴しました。しかしながら、当時コスモスクラブでプレーしていたニュージーランド出身のアンソニー・トロッター氏に勇気づけられ、また交流のある阿波クラブ・コスモスクラブの皆さんのご参加もあり、徳島でのタッチラグビーがスタートしました。その後、四国大学タッチラグビークラブの発足や徳島県ラグビーフットボール協会のご理解およびご支援のおかげもあり、徐々にではありますが、県内において楕円球競技としての市民権が認められるようになったと感じております。ご存知の通り、今ではリーグとユニオンの垣根が低くなり、前回のラグビーワールドカップ優勝メンバーでパナソニックでもプレー経験のあるソニー・ビル・ウイリアムス選手、現日本代表のヘンリー・ジェイミー選手、神戸製鋼のアンダーソン・フレイザー選手など両方のラグビーで活躍した選手が日本でもおなじみとなりました。リーグ・ユニオンの分け隔てなく、この国において楕円球文化をともに創造していく姉妹競技としてこれまでタッチラグビーを見守ってくださった徳島県ラグビーフットボール協会の先見性および包容力に対し本当に感謝しております。

個人の経験から、ニュージーランドの夏の風物詩の1つがタッチラグビーであり、町の「パーク」と呼ばれるラグビーフィールドで毎週行われるタッチラグビーのトーナメントでは、その町のラグビークラブのトッププレーヤーがお世話役を務め、年配者から子供まで老若男女がタッチラグビーを楽しみ、プレーの後はクラブハウスでグラスを傾けながら社交を楽しんでおり、その姿がいまだに目に焼き付いております。競技だけでなく、社交も含めた楕円球文化がこの国にも根付くことを祈念してやみません。

20周年はあくまでも通過点です。今後も地道に活動を続け、30周年、40周年と歴史を積み重ねることができるような息の長い団体になり、タッチラグビー普及活動を通じて楕円球競技に対する理解者を増やす一助となれるよう努力していきたいと思います。これからもより一層のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

徳島県タッチ協会20周年祝賀会

平成30年度優秀選手

ミニ

氏　　名	チーム名
森本　蓮	徳島ラグビースクール
佐藤　晃羽	鳴門ラグビースクール
折目　真咲	脇町ラグビースクール

中学生（男子）

氏　　名	学　校　名
坂東　立基	上板町立上板中学校
逢坂　侑大	徳島市立国府中学校
佐藤　壮馬	藍住町立藍住中学校
河野　瑠偉	徳島市立国府中学校
竹原　悠真	徳島市立国府中学校
吉田　圭吾	徳島市立国府中学校
多田　翔一朗	徳島市立国府中学校
山本　一颯	徳島市立津田中学校
生越　滉佑	藍住町立藍住中学校
亀岡　凌多	藍住町立藍住中学校
前坂　梨空	つるぎ町立貞光中学校
髙野　晋平	藍住町立藍住中学校

女子

氏　　名	学校名・勤務先
元木　菜緒	徳島セブンフェアリーズ
安部　穂乃佳	徳島セブンフェアリーズ
井上　藍	四国大学
吉田　萌香	四国大学
上島　美紗子	四国大学
斉藤　琴音	四国大学
柴原　慈	四国大学
日下　寧子	徳島県立鳴門渦潮高等学校
佐古　成実	徳島県立鳴門渦潮高等学校
松田　愛理	徳島県立鳴門渦潮高等学校
村松　星	徳島県立鳴門渦潮高等学校
泉　光優	徳島県立鳴門渦潮高等学校
松井　香保里	徳島県立鳴門渦潮高等学校
徳永　結羽	徳島県立鳴門渦潮高等学校
横山　友香	徳島県立鳴門渦潮高等学校

高校生（男子）

氏　　名	学　校　名
増田　弘太郎	徳島県立つるぎ高等学校
中嶋　丈留	徳島県立城東高等学校
臼田　伊織	徳島県立城東高等学校
久次米　航希	徳島県立城東高等学校
登　大晟	徳島県立城北高等学校
伊藤　優汰	徳島県立城東高等学校
下川　純矢	徳島市立高等学校
磯﨑　錬太郎	徳島県立城東高等学校
遠藤　岳歩	徳島県立城東高等学校
伊東　汰歩	徳島県立城東高等学校
近名　巧真	徳島県立つるぎ高等学校
三木　海芽	徳島県立城東高等学校
春木　篤司	徳島県立城東高等学校
板羽　真弘	徳島県立城北高等学校
山田　健太郎	徳島県立城東高等学校
近藤　圭太	徳島県立徳島科学技術高等学校
上原　倫法	徳島県立脇町高等学校
原田　悠輝	徳島県立城北高等学校
新藤　一樹	徳島県立脇町高等学校
蔭山　奏	徳島県立城北高等学校
岡田　丈至	徳島県立つるぎ高等学校
下大寺　凜	徳島県立つるぎ高等学校
古林　碧斗	徳島県立城北高等学校
安藤　主馬	徳島県立脇町高等学校
金崎　陽太	徳島県立脇町高等学校
須浪　優作	徳島県立城北高等学校
渡辺　開世	徳島県立城東高等学校
藤坂　寿貴	徳島県立城北高等学校
関　真拓	徳島県立城東高等学校
福井　優太	徳島県立つるぎ高等学校
山口　里玖	徳島県立つるぎ高等学校
藤本　港	徳島県立つるぎ高等学校
石堂　嵩明	徳島市立高等学校
松田　琉哉	徳島県立城北高等学校
亀井　凛太郎	徳島県立城北高等学校
山上　智広	徳島県立城東高等学校
岡　直輝	徳島県立城東高等学校

平成31年度　主要行事（案）

○安全推進講習会	4月	
○定期会員総会	4月	
○第11回徳島育ちラグビーフェスティバル	1月5日	鳴門球技場

平成31年度　レフリー委員会事業計画（案）

○関西協会B級レフリー認定講習会	5月3日～5日	徳島市
○四国地区レフリー研修会（四国高校大会）	6月	高知県
○関西レフリー委員長会議	6月中旬	高知県
○ルール伝達及び安全対策講習会	7月上旬	徳島市
○県外研修会（国体ブロック大会）	8月下旬	愛媛県
○県内研修会（兼レフリー・コーチ合同研修会）	9月下旬	徳島市
○県内研修会（全国高校大会県予選決勝）	11月中旬	徳島市
○県内研修会（徳島ラガールフェスティバル）	12月	徳島市
○県外研修会（全国高校大会1回戦）	12月27日～30日	大阪府

平成31年度　クラブ競技事業計画（案）

○第43回四国クラブ大会	4月28日･5月19日	愛媛県四国中央市
○第10回関西・一宮セブンズ大会	5月11日・12日	愛知県一宮市
○第67回徳島県春季一般選手権大会	4月～6月	徳島科技高第2G
○第40回国体四国ブロック予選（成年男子）	8月25日	愛媛県
○第31回関西クラブ大会	9月上旬	岡山県美作市
○第74回国民体育大会（成年男子）	9月30日・10月1日	茨城県水戸市
○第27回全国クラブ大会予選会	10月27日	岡山県倉敷市
○第68回徳島県一般選手権大会	11月～3月	徳島科技高第2G
○第10回徳島県一般7人制大会	1月12日	鳴門球技場
○第9回四国セブンズ大会	3月8日	愛媛県四国中央市

平成31年度　クラブ競技事業計画（友惑）（案）

○東惑倶楽部定期戦	4月7日	香川県・みろく自然公園
○第14回　関西惑大会	4月13日・14日	大阪府堺市・J-GREEN堺
○東京遠征・不惑倶楽部交流戦	5月11日・12日	あいおいニッセイ同和損保　二宮G
○第5回　シニア惑交流戦　（四国vs兵庫vs中国/黄色&赤）	6月23日	四国大学・しらさぎ球技場
○第23回　解惑大会	9月7日・8日	岡山県・千屋温泉
○第16回　黒豆カップ	9月26日・27日	兵庫県三田市
○第8回　徳島友惑ラグビー交流会	11月3日	鳴門球技場
○惑惑クラブ定期戦	12月1日	香川県

平成31年度　大学競技事業計画（案）

○第30回徳島県大学・高専リーグ戦	2月	鳴門渦潮高校G
○第61回関西医歯薬系大会	5月	大阪府
○第70回四国地区大学総合体育大会競技	5月	愛媛県
○第71回西日本医科学生総合体育大会競技	8月	兵庫県
○第70回全国地区対抗大学大会	10月	四国各県

平成31年度　中学競技事業計画（案）

○第15回四国中央市長杯	5月	スカイフィールド富郷
○第10回全国中学生大会関西地区予選	6月	J-GREEN 堺
○第40回関西ジュニア大会	7月	数河高原ラグビー場
○第23回中四国ジュニア大会	8月	（会場未定）
○第25回全国ジュニア大会四国中国予選	10月	（会場未定）
○四国中学生7人制大会	2月	北条スポーツセンター
○第10回関西スクール ジュニア新人交流大会	3月	淡路佐野運動公園

平成31年度　高校競技事業計画（案）

○第20回全国選抜大会	3月30日	熊谷ラグビー場（埼玉県）
○第60回県春季大会	4月6･13･20･27日	徳島科学技術第2グランド
○第22回架橋記念ラグビーカーニバル	5月3 ～ 5日	徳島市立高・徳島市球技場
		四国大学しらさぎ球技場
○第6回全国7人制大会徳島県予選	5月25日	四国大学しらさぎ球技場
○第59回県高校総合体育大会	5月31日～ 6月3日	四国大学しらさぎ球技場
		徳島市球技場
○第67回四国高校選手権大会	6月14・16日	春野総合運動公園（高知県）
○第6回全国7人制大会	7月19 ～ 21日	菅平高原サニアパーク（長野県）
○第15回コベルコカップ大会	8月1日～ 8月4日	菅平高原サニアパーク（長野県）
○第74回国民体育大会四国ブロック大会	8月23日～ 25日	（愛媛県）
○第32回1年生強化大会	9月21日	四国大学しらさぎ球技場
○茨城国体	9月28日～ 10月3日	茨城県
○第99回全国高校ラグビー徳島県予選	10月27日･11月3･10･16日	徳島市球技場
○第99回全国高校ラグビー大会	12月27 ～ 1月7日	東大阪市花園ラグビー場（大阪府）
○第68回県高校ラグビー選手権大会	1月5･18･25日･2月1日	
		鳴門総合運動公園･徳島市球技場
○第20回四国高校新人大会	2月15・16日	徳島県
○西日本TIDユース	3月6 ～ 8日	山口県
○四国U16トレセン	3月7日	久万高原（愛媛県）
○四国10人制大会	3月14・15日	久万高原（愛媛県）

平成31年度　ラグビースクール事業計画（案）

○第24回四国少年ラグビースクール祭	6月	愛媛県四国中央市
○第13回関西ミニ・ラグビージャンボリー交流大会	6月	兵庫県淡路市
○四国ラグビースクール協議会･レフリング講習会等	8月	高知県土佐町
○鳴門スクール主催交流会	9月	鳴門渦潮高校撫養グランド
○第13回徳島県ミニ･ラグビー交流大会	10月	徳島市球技場
○徳島スクール主催交流会	10月	吉野川河川敷ラグビー場
○ラグビーマガジンCUP関西ミニ・ラグビー交流大会2019	10月	大阪府堺市
○第31回四国ラグビースクール大会	11月	香川県
○第8回ミニ・ラグビー交流大会	12月	徳島市球技場
○第12回ヒーローズカップ	2月	大阪府
○第31回近県小学生ラグビー交流大会	3月	愛媛県松山市北条
○第21回徳島県ラグビースクール冬季脇町大会	3月	貞光道の駅河川敷グラウンド

平成31年度　タグラグビー事業計画（案）

○タグラグビーフレンドシップフェスティバルタグラグビー大会	11月23日	鳴門球技場
○タグラグビーサントリーカップ徳島県予選大会	12月14日	鳴門球技場
○タグラグビーサントリーカップ四国ブロック大会	1月18日	鳴門球技場

平成31年度　女子ラグビー事業計画（案）

○四国大学ラガールフェスティバル2019	5月3日・4日	四国大学しらさぎ球技場
○Regional Women's Sevens 2019 関東大会	5月11日・12日	麗澤大学（千葉県）
○Regional Women's Sevens 2019 関西大会	6月1日・2日	中部大学（岐阜県）
○第6回大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会	6月	立正大学（埼玉県）
○太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ入替戦	7月	日本体育大学（神奈川県）
○第2回ながとセブンズ	7月	山口県長門市
○KOBELCO CUP2019　第9回全国高等学校女子15人制大会	8月	長野県菅平
○オッペンカップ2019 高校生女子セブンズ	8月	長野県菅平
○国民体育大会四国ブロック予選	8月	愛媛県
○第4回女子セブンズ交流会in美作	9月	岡山県美作市
○第2 回全国U18女子ゼブンズラグビーフットボール大会四国予選	9月	未定
○第74回国民体育大会	10月	茨城県
○第2 回全国U18女子ゼブンズラグビーフットボール大会	11月	埼玉県熊谷市
○第5回SCIXカップ女子7人制大会	11月	神戸製鋼灘浜G
○徳島ラガールフェスティバル2019	12月14日・15日	四国大学しらさぎ球技場
○第2回女子7人制ラグビーフットボール熊野市長杯	2月	三重県熊野市
○第27回久万高原町長杯 第5回女子7人制大会	3月	愛媛県久万高原町

平成30年度徳島県ラグビーフットボール協会　役員及び委員

（顧　　問）　林　雄司　　平尾隆信　　藤井　治　　湯村雅彦
（会　　長）　佐野義行
（副　会　長）　岩崎修司　　中田寛志
（アドバイザー）　清家政信　　都築吉則　　山下勝也
（理　事　長）　小林信行
（副理事長）　加藤　陽　　國方正一
（書　記　長）　齋浦邦樹
（副書記長）　米倉陽平
（理事会計）　長尾辰彦
（理　　事）　天羽誠二　　猪上翔太　　遠藤芳治　　高野知己　　高瀬尚則　　伊達　圭太
都築謙治　　堂前孝司　　成瀬　章　　野田雅資　　林　計二　　樋口英昭
日高耕作　　富加見泰輝　　松下則之　　松畠弘地　　村岡陽平　　元木栄作
山中一剛
（会計監事）　藤川雅弘　　森本誠治
（総務委員会）◎小林信行　○齋浦邦樹　　岩崎修司　　梶崎裕之　　加藤陽　　國方正一
中田寛志　　松下則之　　長尾辰彦　〈関係理事及び委員〉
（医務委員会）◎成瀬　章　○山上貴司　　近藤直樹　　酒巻忠範　　玉木克佳　　中野俊次
森根裕二　　森本篤志　　和田佳三
（レフリー委員会）◎元木栄作　○佐々木裕司○吉田　靖　〈B級及びC級レフリー有資格者〉
（コーチ委員会）◎都築謙治　○都築吉則　○中嶋宏彰　○日高耕作　○富加見泰輝
〈コーチ及びスポーツ指導員有資格者〉
（普及育成委員会）◎堂前孝司　○遠藤芳治　○村岡陽平　林　計二　山下伸二
〈ﾀｸﾞﾗｸﾞﾋﾞｰ担当〉　遠藤芳治　　大岩秀次　　田村祥馬　　辻　智哉　　松下寛興　　向井大輔
〈ﾐﾆﾗｸﾞﾋﾞｰ担当(小学生)〉　堂前孝司　　緒方通友　　岡山敬治　　窪北貴志　　加地昭博　　都築謙治
林　計二　　福永恵美子　米田豊一
（女子委員会）◎山中一剛　○天羽誠二　○虎尾百記　　猪上翔太　　堂前孝司　　中嶋宏彰
元木栄作　　山中みゆ
（強化委員会）◎國方正一　○齋浦邦樹　○福田道章　○山中一剛　　阿部雄也　　井手広大
都築吉則　　東條　淳　　日高耕作　　富加見泰輝　藤本哲男　　真先　健
村岡陽平　　山中一剛
（安全対策委員会）◎松畠弘地　○猪上翔太　○元木栄作　　天羽誠二　　一森勇人　　田中弘之
樋口英昭　　野田雅資　　堂前孝司　　山中一剛　　米倉陽平
（社会人委員会）◎樋口英昭　○高瀬尚則
（クラブ委員会）◎樋口英昭　○井手広大　○出原　誠　○松下則之　　齋浦邦樹　　坂田和則
佐々木誠　　澤野雄太　　中岡　慎　　坂東永充　　山崎　剛　　吉口輝彦
（大学委員会）◎田中弘之　○松畠弘地　○山中一剛　〈各大学チーム代表者〉
（高専委員会）◎一森勇人
（高校委員会）◎天羽誠二　○猪上翔太　○松畠弘地　川真田洋司　　佐々木裕司　　白川恭久
坂東永充　　米倉陽平　〈各高校チーム代表者〉
（中学生委員会）◎野田雅資　○都築謙治　　折目慎太郎　石川克也　　高野知己　　十川一彦
野口正樹　　平井　聡　　藤本修嗣　　三木宏司　　道上幸将　　村岡陽平
（傷害見舞金）◎米倉陽平　○齋浦邦樹　○坂田和則
（広報委員会）◎松下則之　○都築謙治　　阿部義徳　　上野照文　　加地昭博　　梶崎裕之
國方正一　　高野知己　　高岡慶子　　立石秀久　　堂前孝司　　中嶋宏彰
樋口英昭　　三好勇治　　矢部純也　〈関係理事及び委員〉
（規律委員会）◎小林信行　○中田寛志　　天羽誠二　　一森勇人　　田中弘之
野田雅資　　樋口英昭　　松下則之　　元木栄作　　山中一剛
（事務局）　齋浦邦樹　　米倉陽平　　坂田和則　　高橋沙織

※各種委員会の◎印は委員長、○印は副委員長、その他は委員。（五十音順）

参与　石川　雅一　　岩田　忠男　　岩野　哲治　　遠藤　貴巳　　笠井　　聡　　北島　　弘
北島　義貴　　笹倉　泰治　　高岡　　敏　　竹内　憲二　　立石　孝夫　　津田　一弘
徳永　　誠　　土佐敏太郎　　新宮　　隆　　原田　　喬　　平尾　雅信　　藤田憲治郎
真先　　毅　　水谷　重行　　美馬　浩一　　山下　国士

徳島県ラグビーフットボール協会規約

最終改正　平成30年４月15日

第１章　　総　　則

第１条　本協会は徳島県ラグビーフットボール協会と称する。
第２条　本協会は徳島県下のラグビー競技を行う団体を持って会員とする。
第３条　本協会は徳島県内におけるラグビーフットボールに関する中枢機関となり、競技の健全な発展及びその普及を図ることを目的とする。
第４条　本協会は前条の目的を達するために次の事業を行う。
１．競技会の開催及び主管
２．競技会の指導及び斡旋
３．競技規則の解説及び普及徹底
４．レフリーの養成、指導及び派遣
５．競技施設、資料及び資材の配給、入手斡旋
６．ラグビーフットボールに関する調査、研究及び情報の収集
７．資料、記録の収録及び保存
８．競技者の保健、安全対策に関する事項
９．ラグビーフットボールの宣伝及び普及
10．市・町・村協会の事業についての指導、管理
11．その他本協会の目的を達成するに必要な事項

第２章　　会　　員

第５条　会員は日本ラグビーフットボール協会の規約が定めるチーム種別に則り、本協会にチーム登録をしなければならない。本協会に登録できるチームはラグビーフットボールを競技する団体であって、その団体の本拠が徳島県内にあるものに限る。
第６条　会員がチーム登録をするときは、下記の事項を本協会を経て関西ラグビーフットボール協会に届出て承認を得なければならない。これに変更があった場合も同様とする。
１．チームの名称
２．チームの所在地
３．チーム管理者の氏名・メールアドレス等その他必要事項
４．部長、監督、主将、主務等チームスタッフの氏名
５．チーム役員及び選手（チームを構成する個人）の情報（個人登録）
６．本協会より直接連絡を受ける場所（連絡先）
７．ユニフォームの色彩および配合
８．その他本協会の指定した事項
第７条　本協会は会員を下記のカテゴリーに区分する。
１．第１部　社会人
２．第２部　一般クラブ・大学ＯＢ・高校ＯＢ・大学・学生クラブ・女子
３．第３部　高専・高校・中学校・小学校・ジュニアクラブ・スクール
第８条　チームないし選手・役員が本規定に違反した場合、又はラグビー精神に反した行為があった場合には本協会はチームないし選手・役員に対して告知聴聞の機会を与えた上で処分を科することができる。
第９条　会員で退会しようとするものは、本協会に届出て、理事会の承認を得なければならない。本協会はこれを直ちに関西ラグビーフットボール協会に報告しなければならない。

第３章　　役　　員

第10条　本協会に次の役員を置く。
会　　長　　１名
副 会 長　　２名以内
理　　事　　２５名以内（但し、理事長、副理事長、書記長、副書記長、および会計を含む）
会計監事　　２名以内
但し、関西ラグビーフットボール協会の承認を受けて上記と異なる定数を定めることができる。
前項のほかに次の役員をおくことができる。
名誉会長　　１名
顧　　問　　若干名
第11条　理事及び会計監事は定期会員総会で選出する。その他の役員は理事会で選出する。
第12条　役員の任期は次の通りとする。但し、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。
会長・副会長　　２年
理事　　１年
その他の役員　　１年
役員はいずれも再任を妨げない。
第13条　会長、副会長、名誉会長、顧問は理事会で推薦し、会員総会で選出する。

第４章　　理事及び理事会

第14条　理事は互選により理事長、書記長および会計役を定める。
第15条　理事長は理事会を統率しこれを代表する。
第16条　書記長は理事会の決議に従い、本協会の一般事務を掌る。
第17条　会計役は本協会の会計事務を掌る。
第18条　理事は理事会を組織し、本協会の会務の一切を企画、実行する。
第19条　理事会は、原則として毎月１回開催するものとし、理事長が少なくとも５日前までに開催日時を告知して招集する。
第20条　理事会は理事の過半数が出席しなければ議事を開き決議を行うことができない。理事会の議事は出席理事の過半数で決定する。可否同数のときは会長が裁決する。

第５章　　会員総会

第21条　会員総会は会員の代表者で組織し、会長が招集し議長となり次の事項を審議決定を行う。
　　Ａ．役員の選任
　　Ｂ．予算及び決算の承認
　　Ｃ．規約の改廃
　　Ｄ．事業の計画並びに報告
　　Ｅ．その他重要な事項
第22条　会員総会は少なくとも毎年１回開催するものとし、定期会員総会は５月末日までに開催するものとする。
第23条　理事の３分の１以上もしくは会員代表者の３分の１以上から理由を附して会員総会の招集の請求があったときは、会長はこれに応じなければならない。
第24条　会員の代表でない役員は会員総会に出席して意見を述べることができ、議決権を持つが、役員選出の投票権を持たない。
第25条　会員総会は会員の２分の１以上の出席（委任状出席を含む）がなければ議事を開き決議することはできない。会員総会の議事は出席した会員の過半数で議決する。可否同数の場合は、議長が決する。

第６章　　事務局及び委員会

第26条　本協会は総会及び理事会において審議決定された事項を円滑に遂行するため次の事務局長及び委員会を設け、それぞれの会務を処理する。
　　Ａ．事務局（本協会の事務全般を統括する）
　　Ｂ．委員会　１）総務　　（理事長があたる）
　　２）医務
　　３）レフリー
　　４）強化
　　５）コーチ養成
　　６）普及　　（タグラグビー担当）（ミニラグビー担当）
　　７）安全対策
　　８）社会人
　　９）クラブ
　　10）大学
　　11）高専
　　12）高校
　　13）中学
　　14）女子
　　15）傷害見舞金
　　16）広報
　　17）規律

第７章　　会　　計

第27条　会員が本協会に入会する時には下記の入会金を各支部に納付しなければならない。
　　１．第１部会員（社会人チーム）　　１５，０００円
　　２．第２部会員（クラブ・大学チーム・女子チーム）　１０，０００円
　　３．第３部会員（高専・高校・中学校・スクール）　　５，０００円
第28条　会員は規定会費として次の金額を、会員総会までに本協会へ納入するものとする。
　　１．第１部会員（社会人チーム）　　３７，０００円（内、関西協会会費　１０，０００円）
　　２．第２部会員（クラブ・大学チーム）　３５，０００円（内、関西協会会費　８，０００円）
　　（女子）　　３０，０００円（内、関西協会会費　８，０００円）
　　３．第３部会員（高専・高校）　　３０，０００円（内、関西協会会費　３，０００円）
　　（中学校・スクール）　　３，０００円（内、関西協会会費　３，０００円）
　　但し、有料試合（トップ・トップウエスト・大学各リーグ）に参加している会員　　５０，０００円

第29条　会員はチームを構成するメンバーに対し、日本ラグビーフットボール協会の定める競技者個人登録を行わなければならない。また、チーム構成員は下記区分に従って、関西ラグビーフットボール協会個人会費を納入しなければならない。

１．第１部会員	（社会人チーム）	５，０００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）
２．第２部会員	（クラブ・大学チーム）	４，０００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）
	（女子（スタッフ・高校生以上））	３，０００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）
	（女子（中学生））	２，５００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）
３．第３部会員	（高専・高校）	３，０００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）
	（中学校・スクール（小・中））	２，５００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）
	（スクール（未就学））	２，０００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）
	（中学校・スクール指導者）	３，０００円（傷害見舞金・機関誌代を含む）

第30条　本協会の会計年度は４月１日より始まり、翌年３月３１日に終わる。
第31条　理事会は、毎会計年度収支決算報告書に会計監事の監査報告書を添付して会員総会に提出し、その承認を得なければならない。
第32条　毎会計年度末において剰余金はすべて翌年度会計に繰り入れるものとする。

第８章　競 技 会

第33条　会員の競技は日本ラグビーフットボール協会の定めた競技規則に拠る。
第34条　会員は競技の予定日および場所を本協会に通知しなければならない。
第35条　本協会はチームの試合期日を特に定めることがある。試合期日は理事会で決定し､本協会より発表する。
第36条　チームは未登録の団体と競技することはできない。但し、理事会が認めた場合はその限りではない。また、チ-ムは本協会より忌避された団体と競技することはできない。
第37条　大会は全て本協会が主催または主管することを原則とする。但し、本協会で承認を得たものはその限りでない。
第38条　本協会の主催する大会に参加する団体は関東、関西、九州ラグビーフットボール協会のいずれかに加入しているチームでなければならない。
第39条　本協会の加入の団体は本協会の承認しない大会に参加することはできない。

第９章　賞　　罰

第40条　本協会は理事会の決議により本協会の目的達成に功績のあった加盟団体又は個人対し、これを表彰することができる。
第41条　本協会は理事会の決議により加盟団体又は個人に対して告知聴聞の機会を与えた上で処分を科することができる。

第10章　忌慰・見舞

第42条　役員他が次の各号に該当するときは、会長の決裁にて忌慰・見舞を行う。
Ａ．死亡又は不慮の事故があったとき
Ｂ．本協会の役員又は功労者の同居の父母、配偶者、子が死亡したとき
Ｃ．その他、会長が必要と認めたとき

第11章　参与・評議員

第43条　会長は必要に応じて参与・評議員を任命することができる。
第44条　参与会、評議員会は会長が必要に応じて招集する。
参　与　　チーム指導者並びに協会役員として貢献した者
評議員　　有識者で協会活動に協力していただける方

内規

10条により特に設けられる役職について
名誉会長　　特に功績を挙げた会長
顧　　問　　会長・副会長長期経験者及び特に功績のある理事長
（任務は会長の諮問に答える）

編集後記

いよいよワールドカップイヤーが幕開けとなりました。チケット争奪戦が様々なところで話題となっていますが、われらがジャパンの道のりは決して楽観視できない状況にあることは間違いないようです。

徳島においては、今年の9月にジョージア代表が鳴門で事前キャンプを行います。

地域との交流も計画されており、来徳が待ち遠しいですね。それを踏まえ、4月からは、様々なジョージアのキャンプの情宣活動が本格化していきます。まだまだ、徳島県民への認知度は低く、われわれ徳島ラガーマンの頑張りがひいては徳島のラグビー文化の醸成にもつながって行くことと思います。

今年度も、小誌編集にあたりご協力をいただいた皆様には、大変感謝申し上げます。今年度で第30号となります。年々ページ数が増してくる中で、一人一人のラガーマンの足跡がここに凝縮されていると考えると、感慨深いものがあります。

来年は、ジョージアキャンプをはじめ、様々なカテゴリーの選手たちの活躍が、大きく誌面を踊ることを期待して、締めたいと思います。

広報委員長

2019年度　グラウンド利用予定

2019年2月17日現在

期　　日	曜日	会　　場	時間	大　　会　　名	主管	責任者	備考
2019年 4月 6日	土	徳島科技高２G	9：00 ～ 17：00	第60回県高校ラグビー春季大会（予備）	高校	天羽	
2019年 4月 7日	日	しらさぎ球技場	10：00 ～ 14：00	対名古屋・東惑クラブ定期戦	クラブ	加藤	
2019年 4月13日	土	徳島科技高２G	9：00 ～ 17：00	第60回県高校ラグビー春季大会（1回戦）	高校	天羽	
2019年 4月20日	土	徳島科技高２G	9：00 ～ 17：00	第60回県高校ラグビー春季大会（準決勝）	高校	天羽	
2019年 4月27日	土	徳島科技高２G	9：00 ～ 17：00	第60回県高校ラグビー春季大会（決勝）	高校	天羽	
2019年 5月 3日	金	しらさぎ球技場	9：00 ～ 18：00	第22回架橋記念ラグビーカーニバル（女子）	女子	山中	
2019年 5月 3日	金	徳島市立高校G	12：00 ～ 17：00	第22回架橋記念ラグビーカーニバル	高校	中田・松畠	
2019年 5月 4日	土	しらさぎ球技場	9：00 ～ 18：00	第22回架橋記念ラグビーカーニバル（女子）	女子	山中	
2019年 5月 4日	土	徳島市立高校G	9：00 ～ 17：00	第22回架橋記念ラグビーカーニバル	高校	中田・松畠	
2019年 5月 4日	土	徳島市球技場１・２（両方）	9：00 ～ 17：00	第22回架橋記念ラグビーカーニバル	高校	中田・松畠	
2019年 5月 5日	日	徳島市球技場１・２（両方）	9：00 ～ 17：00	第22回架橋記念ラグビーカーニバル	高校	中田・松畠	
2019年 5月19日	日	徳島科技高２G	8：00 ～ 17：00	徳島ラグビースクール創立記念大会	中学	都築	
2019年 5月25日	土	徳島市球技場１	9：00 ～ 17：00	第6回全国高校7人制大会徳島県予選	高校	天羽	
2019年 5月31日	金	徳島市球技場２	9：00 ～ 17：00	第59回高校総体ラグビー競技（1回戦）	高校	天羽	
2019年 6月 1日	土	しらさぎ球技場	9：00 ～ 17：00	第59回高校総体ラグビー競技（2回戦）	高校	天羽	
2019年 6月 2日	日	徳島市球技場２	9：00 ～ 17：00	第59回高校総体ラグビー競技（準決勝）	高校	天羽	
2019年 6月 3日	月	徳島市球技場２	9：00 ～ 17：00	第59回高校総体ラグビー競技（決勝）	高校	天羽	
2019年 6月23日	日	しらさぎ球技場	9：00 ～ 15：00	第4回シニア惑交流会	クラブ	加藤	
2019年 6月28日	金	ポカリスエットスタジアム	15：00 ～ 17：00	ジャパンラグビートップリーグ（準備）	その他	宇山	
2019年 6月29日	土	ポカリスエットスタジアム	8：30 ～ 21：00	ジャパンラグビートップリーグカップ2019（仮称）	その他	宇山	
2019年 7月13日	土	徳島市球技場１・２（両方）	8：00 ～ 17：00	徳島市ラグビーフットボール協会長杯	普及・育成	都築	
2019年 7月14日	日	徳島市球技場１・２（両方）	8：00 ～ 17：00	徳島市ラグビーフットボール協会長杯	普及・育成	都築	
2019年 9月21日	土	しらさぎ球技場	9：00 ～ 17：00	第32回1年生強化大会	高校	天羽	
2019年 9月21日 or22日	土or日	鳴門渦潮高	9：00 ～ 17：00	赤穂杯（鳴門市ラグビー祭）	普及・育成	遠藤	
2019年 9月29日 （調整中）		調整中	8：30 ～ 17：00	2019とくとくタッチイベント	その他	大矢	
2019年10月14日	月	鳴門球技場	12：00 ～ 17：00	第55回全国大学選手権四国地区予選	大学	田中	
2019年10月20日	日	徳島市球技場１・２（両方）	8：00 ～ 17：00	第13回徳島県ミニラグビー交流大会	普及・育成	都築	
2019年10月20日	日	鳴門球技場	12：00 ～ 17：00	第55回全国大学選手権四国地区予選	大学	田中	
2019年10月27日	日	徳島市球技場１	9：00 ～ 17：00	第99回全国高校ラグビー大会徳島県大会（1回戦）	高校	天羽	
2019年11月 3日	日	徳島市球技場１	9：00 ～ 17：00	第99回全国高校ラグビー大会徳島県大会（2回戦）	高校	天羽	
2019年11月 3日	日	鳴門球技場	9：00 ～ 15：00	第8回徳島友惑ラグビー交流会	クラブ	加藤	
2019年11月10日	日	徳島市球技場１	9：00 ～ 17：00	第99回全国高校ラグビー大会徳島県大会（準決勝）	高校	天羽	
2019年11月16日	土	徳島市球技場１	9：00 ～ 17：00	第99回全国高校ラグビー大会徳島県大会（決勝）	高校	天羽	
2019年11月23日	土	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	第9回徳島県タグラグビー大会	普及・育成	猪上・村岡	
2019年12月 1日	日	徳島市球技場１・２（両方）	8：00 ～ 17：00	近県交流大会	普及・育成	都築	
2019年12月 7日	土	しらさぎ球技場	9：00 ～ 18：00	徳島ラガールフェスティバル2019	女子	山中	
2019年12月 8日	日	しらさぎ球技場	9：00 ～ 18：00	徳島ラガールフェスティバル2019	女子	山中	
2019年12月14日	土	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	サントリーカップ小学生タグラグビー大会県予選	タグ	遠藤	
2019年12月21日	土	脇町河川敷	9：00 ～ 17：00	徳島育ちジュニアセブンズ交流会	タグ	村岡	
2020年 1月 5日	日	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	第11回徳島育ちラグビーフェスティバル	その他	松下	
2020年 1月11日	土	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	第68回県高校ラグビー選手権大会（1回戦）	高校	天羽	
2020年 1月12日	日	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	第10回徳島県一般7人制ラグビーフットボール大会	クラブ	樋口	
2020年 1月18日	土	徳島市球技場１	9：00 ～ 17：00	第68回県高校ラグビー選手権大会（2回戦）	高校	天羽	
2020年 1月18日	土	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	第16回全国小学生タグラグビー選手権四国ブロック大会	普及・育成	堂前	
2020年 1月25日	土	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	第68回県高校ラグビー選手権大会（準決勝）	高校	天羽	
2020年 2月 1日	土	鳴門球技場	9：00 ～ 17：00	第68回県高校ラグビー選手権大会（決勝）	高校	天羽	
2020年 2月 8日	土	徳島科技高２G	9：00 ～ 17：00	第69回県高校ラグビー選手権大会（予備日）	高校	天羽	
2020年 2月 9日	日	鳴門球技場	13：00 ～ 17：00	第31回徳島県大学・高専ラグビーフットボールリーグ	大学	田中	
2020年 2月15日	土	徳島市球技場１・２（両方）	9：00 ～ 17：00	全国高校ラグビー選抜大会四国予選	高校	天羽	
2020年 2月16日	日	徳島市球技場１	9：00 ～ 17：00	全国高校ラグビー選抜大会四国予選	高校	天羽	
2020年 2月16日	日	徳島市球技場２	8：00 ～ 17：00	中国四国ジュニアラグビー新人交流大会	中学	都築	
2020年 2月16日	日	鳴門球技場	13：00 ～ 17：00	第31回徳島県大学・高専ラグビーフットボールリーグ	大学	田中	

※予定は変更となることがありますので、ホームページ等でご確認ください。

イツモスマイル
ITSUMOSMILE

サービス付高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・在宅介護

徳島市佐古二番町5-11
tel.088-611-3131（戸高）

http://itsumosmile.jp
イツモスマイル　検索

※当店はラグビーALL徳島、サッカーヴォルティス徳島のユニフォームをクリーニングさせて頂いてます。

あなたの街のすぐれもの

seagull Japan

**クリーニング
シーガルジャパン**

〒770-0863
徳島市安宅（とくしまし あたけ）1丁目4－36

クリーニング **シーガルジャパン**

TEL&FAX（088）**655-5340**

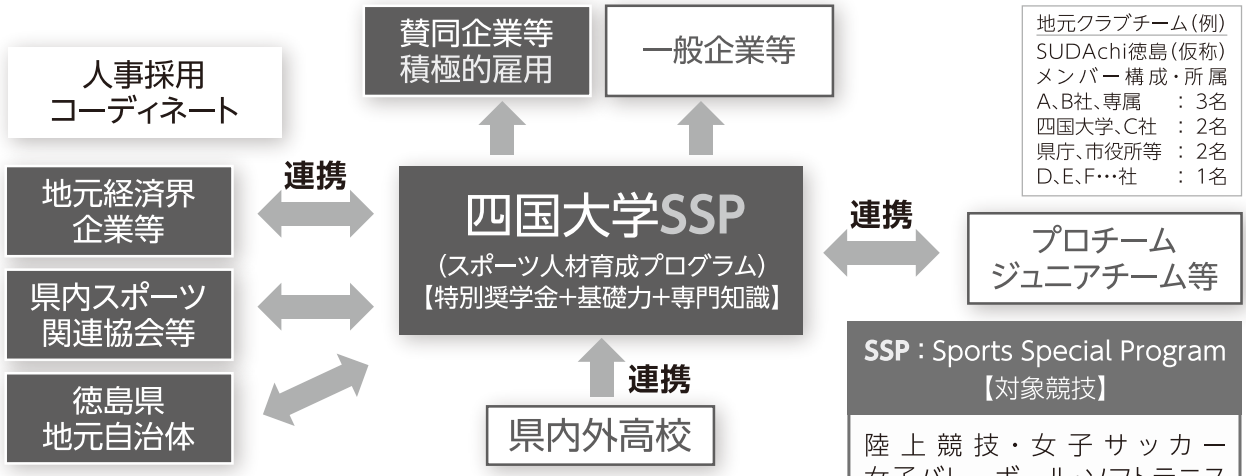
（営業時間）平日／AM 8：00～PM 8：00
日・祭日／AM 10：00～PM 6：00
年中無休

スポーツ分野で優れた能力と情熱をもつ学生を
四国大学は応援します

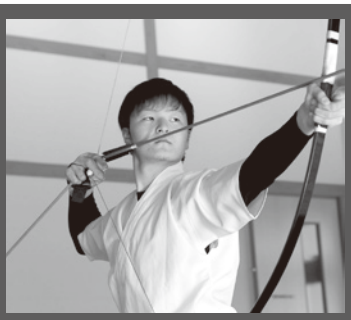
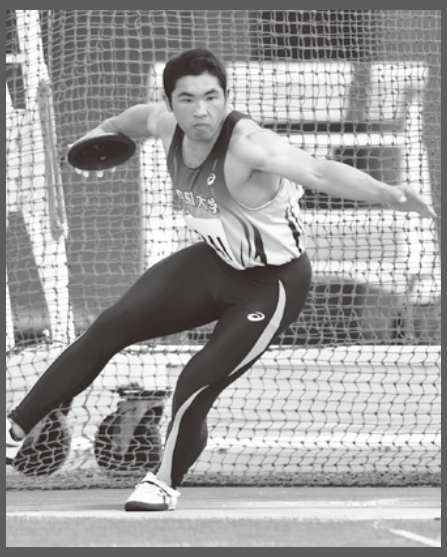
四国大学トップアスリート育成
STARプロジェクト

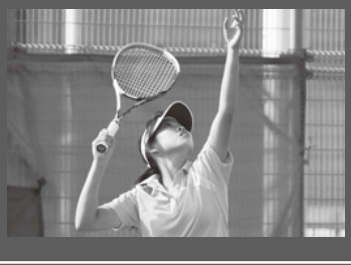
Shikoku University Top Athletes Rearing Program

オリンピック等で活躍するアスリートを!!
スポーツを通した人材育成・地域振興



【主な事業概要】
四国大学スポーツ選手の地元企業等への就職促進に関する企画・実施
登録選手等の情報提供(本人の希望も含めて)、採用依頼／就職等に関する問合せ受付、など



本プロジェクトにご賛同いただける団体、企業を募集しております。
事務局:四国大学大学広報戦略室(山中・今出) TEL088−665−9578

SHIKOKU UNIVERSITY 四国大学
〒771-1192　徳島市応神町古川字戎子野 123-1
https://www.shikoku-u.ac.jp/

C-HR

For your Style.　個性あふれるC-HR.

2018年上半期
SUV販売台数
No.1

G“Mode-Bruno”
車両本体価格

2,979,200円

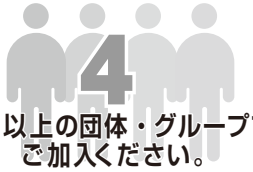
SUV：自販連区分ジープ型の四輪駆動車でワゴンとバン・トラックを含む（2WDを含む）の国産車。
販売台数は自販連調べ＜2018年1-6月＞

トヨタカローラ徳島
■本　社：徳島市論田町本浦下 67-1　TEL.088-662-2055
■ホームページアドレス：http://corolla-tokushima.co.jp

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故



4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

保険期間

**2019年4月1日午前0時から
2020年3月31日午後12時まで**

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金(1人当たり)	傷害保険金額 死亡	傷害保険金額 後遺障害(最高)	傷害保険金額 事故の日からその日を含めて180日以内 入院日額(1日目から/180日限度)	傷害保険金額 事故の日からその日を含めて180日以内 通院日額(1日目から/30日限度)	賠償責任保険支払限度額(免責金額なし)	突然死葬祭費用保険支払限度額
子ども(中学生以下) ※特別支援学校高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人 1億円)	180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段:団体活動中およびその往復中の補償額 下段:上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償合算1事故 5億500万円 (ただし、対人賠償は1人 1億500万円)	180万円
				熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同額					
				100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償合算1事故 500万円	対象外
				熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。					
大人(高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ※右記年齢の判断は、「2019年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人 1億円) ⚠ 自動車事故によって賠償責任を負った場合は、補償の対象となりません。	180万円
		B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象となりません。	A2区分は65歳以上の方も加入できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 徳島県支部 〒770-0942 徳島市昭和町三丁目35番地1
〈(公財)徳島県体育協会内〉

TEL 088-655-3660 電話受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険 検索

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(2019年4月予定)〉
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

2018年12月作成 18-T07915